

創立15周年記念誌



学校法人 北都健勝学園
新潟看護医療専門学校

目次

巻 頭 言

創立15周年を迎えて	学校長 的場已知子 ……	2
創立15周年記念誌発行に寄せて	副校長 鈴木 光江 ……	3

■本校設立までの経緯と校名の変更	学校長補佐 浦壁 英紀 ……	4
■新潟看護医療専門学校 将来の展望	看護学科教務主任 小栗 妙子 ……	6
■最近の学生を指導していて気になる点	東洋医療学科実習調整者 白野 吉明 ……	6
■現学校職員		7
■歴代学校職員		9

写真で見る15年の歩み	11
-------------------	----

■卒業生のクラス写真	27
------------------	----

創立15周年に寄せて	35
------------------	----

資 料

●本校の概要	68
●教育課程	69
●科目担当講師と担当年度	71
●学生の入学状況	76
●就職・進学状況	77
●国家試験合格者数	78
●卒業記念品寄贈一覧	79
●歌詞「春になったら」	79
●協賛企業一覧	80
●同窓会会則	81
●編集後記	84

巻頭言



創立15周年を迎えて

新潟看護医療専門学校 学校長 的 場 已知子

開校から15年。その節目として本記念誌を発行することとなりました。

看護学校設立の念願を果たす為には、10年ほどの歳月を要しました。看護教育へ真摯に取り組んだ先人たちの思いを伝え、今日までの道筋を振り返ることが、未来へと続く礎になると考えております。お力添えいただいた先生方の中には、既に鬼籍に入られた方もいらっしゃいます。どのお方が欠けても、今は無かったはずでしょう。着実に歩みを進めるのを大事にさせていただき、「新潟看護医療専門学校には、こんな生徒さんが合うのではないかと、高等学校の進路指導の先生方から、推薦していただけるような関係性ができつつあります。このような暖かなご支援をくださいます、高等学校の先生方をはじめ、実習病院、行政機関、地元である西区及びみずき野地区の皆様方…他にも数え上げればきりのないほど多くの皆様に支えられております。この場を借りて、心からの御礼を申し上げさせていただきます。また開校に際し、特に大きなご支援をいただきました日本看護学校協議会名誉会長の山田里津先生は、本校の母のような存在です。謹んで感謝を申し上げますとともに、お名前を記させていただきます。

本校の学校長に就任してから、医師としては垣間見ることのできない、看護師・鍼灸師の教育現場をまざまざと目の当たりにし、私にとっても人生の転機となる貴重な体験となっています。専門学校における看護師・鍼灸師教育の厳しさは、教員が専門の教育課程を経ており、そこには他の医療職にもない、大学での教育とも異なる確固たる理念と信念が貫かれています。傍から見ながらも言葉を失うほど、本校の教員は学生を育てるために骨身を削っています。決して、できないから落第という安直な姿勢ではなく、最後の最後までやらせてくださいと話す教員の熱意と人柄によって、本校独自の学びが形成されています。入学式で新入生を迎え、ともしびの灯をはじめ年間を通じて行われる行事、そして卒業式、春には新入生と、1年また1年と思いを紡ぎ織りなすことが、校風となり歴史になりはじめてきたと感じています。本記念誌も、本校の歩みに似た個性的な風合いを感じていただけることでしょう。楽しんでいただけたら幸いです。

末尾になりましたが、本校の育ての父ともいうべき、長きにわたり事務局長を務めていただきました近貴司理事が、ご事情により2019年2月末にて本学園を去られることとなりました。本校同窓会つばさ会の育ての親としても、ご尽力いただきました。誠に残念ですが、益々のご活躍を祈念しつつご報告させていただきます。そして、10年20年とこれからも成長してゆく本校の現在と未来の学生・教職員へのメッセージとして「創立15周年記念誌」に、根底を流れる学園機関紙「ゆめ」の編集の中心でありました石橋政雄先生の想いを乗せ、皆様のお手元に僭越ながらお届けいたします。今後ともご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。



創立15周年記念誌発行に寄せて

新潟看護医療専門学校 副校長 鈴木 光 江

越後赤塚駅前に2004年（平成16年）新潟看護専門学校として開校した本校は、2010年（平成22年）に東洋医療学科を増設し現在の新潟看護医療専門学校と改称した後も地域の皆さまに見守られながら今年度で15周年を迎えることができました。

この時を迎えることができましたのも関係するすべての皆さまと卒業生のご支援あつてのことと心より感謝いたしております。

節目の区切りとして、このたび『新潟看護医療専門学校創立15周年記念誌』を発行する運びとなりました。

じゅうねんいちじつ
十年一日のようでありながら決して同じではなかった15年間の学校教育活動の記録を整理して残し、これからの本校の発展につなげたいという思いが実りました。

この15年間を振り返ると、看護師不足で医療界は混迷を極めそれが教育界にも波及した時代だったといえます。2006年度の診療報酬の大改定により、手厚い看護師配置7対1入院基本料算定のために、大病院が数百名単位で看護師の募集を始めたことに端を発し、未曾有ともいえる看護師の大移動が始まりました。その狂乱的な看護師確保の煽りを受けた中小病院は、流出した看護師の補充ができないまま病棟閉鎖や閉院あるいは体制変更を余儀なくされました。その後も供給が追いつかず看護師不足は解消されないまま現在に至り、需要を満たす一環として県内で続々と養成校が新設されています。

本校は15年間このような時代の流れと競合の波にさらされながらも、社会のニーズに応え現代医療に対応できる専門職業人を育成してきました。

そのかいあって、『人間尊重』の教育理念のもと、さまざまな背景や価値観をもつ学生一人ひとりを大切にしながら真剣に向き合い成長を信じて関り続けてきた本校の全人的教育の実践には定評をいただき、受験生に信頼され選ばれる学校になりつつあります。

これからの時代は、だれも経験したことがない超高齢社会に対応するため他職種連携・協働のできる人材育成が必須となっています。本校においては看護学科・東洋医療学科が日常連携しあう環境で学修していることを強みに、伝統と特色を生かし今後も社会に貢献できる有能な専門職業人を育成していく所存です。なにとぞ今後も変らぬご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、この場をお借りして記念誌発行に際しご理解いただき寄稿してくださいました皆様、主旨に賛同し寄附をお寄せいただいた企業様そして同窓会「つばさ会」に改めて深く感謝申し上げます。

本校設立までの経緯と校名の変更

新潟看護医療専門学校 学校長補佐 浦 壁 英 紀

1 設立の経緯と認可

長年の念願であった看護学校設立が理事長はじめ関係者のご努力で平成15年12月に厚労省より承認され、平成16年4月に開校いたしました。承認までの経緯は、学校長の巻頭言を始め、法人本部事務局長が書いておられますが、長年の苦労と大変な作業があって開校し、今日の15周年を迎えることが出来ました。

とりわけ、開校準備室の方々は、実習施設や教員の確保、教育内容の検討等申請書類の作成で大変なお仕事をされました。ここに、衷心より敬意と感謝を申し上げます。

参考までに、開学までの詳細は次の通りです。

平成14年11月	設立準備室設置
平成15年12月24日	看護師養成所の指定を受ける（厚労省承認）
平成16年1月16日	専修学校（専門課程）認可（新潟県）
平成16年3月27日	開学式
平成16年4月5日	新潟看護専門学校第1回入学式挙行

2 学校周辺の環境

本校は、新潟駅より越後線で30分余りの越後赤塚駅前にあります。この地に校舎を建てようとするまでには、かなりの年月がかかったようです。既に国際情報大学が開学されていましたが、それ以外は大きな建物はなく、“みずき野ニュータウン”として売り出された土地も空地が目立つ郊外でした。

しかし、電車の本数こそ少ないものの現在は、コンビニが2件、食堂やカフェ、パン屋、写真屋、花屋そして学生アパートも多くでき、学生生活を送るには、静かで環境には恵まれています。

3 教育理念

新設校では、“まずどんな学生を育てたいか”ということが問われます。本校の教育理念は、当初から「人間尊重」であり、これが15年経った今日でも変わりません。

具体的には、「人間尊重を理念とし、医療に必要な知識、技術の修得はもとより、ケアリングを追求できる高い倫理観を持った専門職を育てる」ということです。

4 校章の制定

校章は、理事長の指示で開設準備室のスタッフにより考えられました。スタッフがそれぞれの案を持ち寄り検討した結果、事務長の案が一番良いことになり、法人本部の決裁を得て決まったとのことです。そして、この校章が校名の前に印刷されたリーフレットやパンフレットを使って学生募集が行われました。

現在では、入学式、卒業式等の学校行事にはステージ正面に日章旗と共に掲げられ本校のシンボルとなっています。

毎年の入学式では新入生代表に「校章授与」が行われていますが、由来は次の通りです。

校章の由来

本校のイニシアル n・n・c より n の文字を重ねて「躍動」を表し、c は外枠にして活動の場を表現しました。また、広く世界に羽ばたくよう願いを込めて羽がついています。色はどのような場面でも「調和」がとれるミストグリーンとなっており、この色が本校のスクールカラーでもあります。



5 学生の確保 ～創立当時の資料より～

新しく学校をつくる場合、いくつかの大きな課題があります。それは、教員や実習病院・施設の確保に加え、学生の確保も重要な課題です。当時、県内の看護3年過程の志願状況は、平成14年度調査で、定員の約5.5倍でした。

学生募集に際し、まず新設校のポスターやリーフレットを作成し、県内135の高校を始め、山形、秋田、福島、群馬、長野、富山、石川の各県高校に配布されました。更に、新潟市内、村上市内の指定校予定の高校やその他県内の高校を訪問し、学校説明会の開催、インターネットによる学校紹介もやられたようです。

このような努力で定員をオーバーする学生が確保されました。

6 校名変更

法人本部のある村上市の新潟リハビリテーション専門学校が平成22年4月に大学となり、そこにあった鍼灸療法学科が新潟看護に移転することになりました。そのため、本校の校名を今までの新潟看護専門学校に2文字を加え「新潟看護医療専門学校」とし、22年4月より看護と東洋医療の2学科で再スタートし今日に至っております。



新潟看護医療専門学校 将来の展望

看護学科教務主任 小栗 妙子

戦後、あらゆる科学技術が発展し、時代とともに医療技術も加速度的に発達を続けている。テレビをつければ〇〇の野菜が良い、〇〇の調味料が肌に良いなど、健康ブームの波は衰えを知らない。本校が開設した15年前はパソコンのデータはフロッピーディスクにコピーしている時代であった。

現代のIT革命は益々発展しているが、一方で、いつか来るであろうと言われた2025年問題は目前である。そして、今、こうして私たちは多死社会、高齢社会のど真ん中に生きている。あらゆる細胞レベルでの研究からAIにより、ヒトが不在であっても生きることが可能な時代へと変革している。このような時代背景の中で本校が目指すべき将来の展望について述べてみたい。

本校に入学した学生の多くは、想像以上にさまざまな壁にぶつかり、立ち足る悩みを乗り越えることに苦労している。その理由の1つが「人間関係」である。本校では、あらゆる場面を通し、人生経験、年齢を超えた学生が話合うことで意見のぶつかり合いは多い。

そのため、入学すると同時に、様々な形で自分の意見を誰かに述べる、人の意見を尊重するといった人と人が交流する場を提供している。また、3年間の決められた教育内容に加え、「学校祭」や「スポーツ大会」等の学校行事を通し、社会性を身につけ、人との相互関係を構築するきっかけづくりを行っている。

更に、社会経験の少ない学生は、臨床の場へ出向いて看護技術を学ぶ「臨地実習」で、初めて「病院」という「社会」で現実の厳しさに直面する。時には、学生は、患者と上手くコミュニケーションが取れなくて悔しい思いをする。また、担当看護師から注意を受けて落ち込む。このようなことから自ら決めた夢を諦めそうになることも日常茶飯事である。しかし、学生は様々な葛藤の中で、学年を重ねるにつれ、顔つきが変わり、看護師としての自覚に芽生えていく。

本校では「人」と「人」が心を通わせ、相手に「癒し」を与え、相手から「癒される」ケアリングの精神を基盤としている。学生自らが培った知識と経験に基づいて、五感を使って患者を「看る」ことを学び、心豊かな人材へと育てていく。

これから本校が30年後、50年後、どのように歴史を刻んで行くのか想像はつかない。しかし、今後、ITや遺伝子レベルで技術が発達していくことは間違いない。だからこそ、看護教員である私たちは、時代が変わったとしても目の前にいる患者のために心を尽くすことのできる人材を育成したい。そして、情熱をもって職を全うできる職業人を育成していかなければならない。時代がどのように変わっていくとしても、教員自身が1人1人の命を大切にするための教育力を向上させる努力を惜しまないことである。後続の新潟看護の看護教員も変わらず、その理念を継続させていって欲しいと切に願う。

最近の学生を指導していて気になる点

東洋医療学科実習調整者 白野 吉明

抽象的な表現となってしまうが、情熱があまり感じられない。貴方の夢を聞かせてと問うと「国家試験合格」と答える学生が多い。夢を実現する手段として国家資格を取得するのではないですか、と問い直しても答は同じである。現実的といえば、至って現実的である。その為、最低限の労力で目標達成を考えるあまり、その過程に存在している楽しさや、新たな可能性に気付かずチャンスを逃しているのではないか。コンパクトにまとまり過ぎず、もっと食欲で、もっと破天荒な部分も必要かと考える。

現学校職員

(平成31年3月31日現在)



学校長
的 場 巳知子



副校長
鈴 木 光 江



学校長補佐
浦 壁 英 紀

看護学科



教務主任
小 栗 妙 子



教務副主任
相 馬 奈 美



実習調整者
佐 藤 真 樹



専任教員
齋 藤 真 美



専任教員
大 野 亨



専任教員
樋 口 明 美



専任教員
高 橋 美英子



専任教員
有 本 真 弓



専任教員
関 根 愛 美

看護学科



専任教員
齋藤 万里子



専任教員
鈴木 由美

東洋医療学科



教務主任
横木 宗晴



専任教員
大野 達也



実習調整者
白野 吉明



専任教員
吉田 眞夢

事務局



事務局長
原田 慎司



事務局員
宮下 好直



事務局員
玉川 史記



事務局員
丸山 由希子

歴代学校職員 (専任のみ)

氏名	在職年月	氏名	在職年月
校長			
河本 和也	(平成16年 4月～5月)	大澤 源吾	(平成16年 5月～平成19年 3月)
紺野 英子	(平成19年 4月～平成22年 3月)	小貫 国彦	(平成22年 4月～平成23年 3月)
副校長 (含教務主任)			
間島 孝子	(平成16年 4月～平成17年 3月)	武藤 洋子	(平成16年 4月～平成19年 3月)
中山 栄子	(平成23年 3月～平成24年12月)		
事務局長			
近 貴司	(平成16年 4月～平成27年 3月)		
教員 (看護学科) 順不同			
森田 邦子	(平成16年 4月～平成20年 3月) (平成24年 4月～平成28年 3月)	川島 良子	(平成16年 4月～平成19年 3月) (平成25年 4月～平成26年 3月)
横井 美奈	(平成16年 4月～平成17年 2月)	石田 育子	(平成16年 4月～平成18年12月)
飯泉 千冬	(平成16年 4月～平成16年 9月)	渡辺眞津子	(平成16年 4月～平成17年 3月)
坂下 千鶴	(平成16年 4月～平成17年 9月)	久保 悦子	(平成17年 5月～平成21年 5月)
五十嵐真理	(平成17年 9月～平成25年 3月)	相川 澄子	(平成17年10月～平成27年 6月)
小林 理恵	(平成18年 1月～平成22年 3月)	高崎 峰子	(平成17年12月～平成21年 3月)
本田 浅美	(平成18年 4月～平成23年 3月)	嶋田 玉美	(平成19年 7月～平成24年 6月)
加野 文則	(平成21年 5月～平成21年11月)	杉田 健二	(平成21年10月～平成23年 3月)
山田 紀子	(平成22年 7月～平成24年 3月)	小貫 国彦	(平成21年11月～平成22年 3月)
永原 信行	(平成24年 4月～平成28年12月)	斎藤 静子	(平成24年 5月～平成27年 3月)
飯田 裕子	(平成26年 6月～平成27年10月)	堀 由紀那	(平成29年 8月～平成29年10月)
教員 (東洋医療学科) 順不同			
平井 顯徳	(平成22年 4月～平成28年 3月)	安戸 方邦	(平成22年 4月～平成27年 3月)
宇津木 努	(平成22年 4月～平成23年 3月)	二本松 明	(平成22年 4月～平成23年 3月)
鈴木 憲一	(平成27年 4月～平成30年 3月)	大田 明裕	(平成21年12月～平成23年10月)
事務局員			
鈴木 理恵	(平成16年 4月～平成17年 6月)	高須 佳代	(平成16年 4月～平成17年 3月)
櫻井 梨那 (旧姓：土田)	(平成17年 4月～平成26年 7月)		
増井 理恵	(平成17年 4月～平成18年 3月)	高田 裕太	(平成19年 4月～平成21年 3月)
小林恵美子	(平成21年 7月～平成22年 7月)	鈴木 真司	(平成23年 1月～平成24年 3月)
吉井 大樹	(平成23年 5月～平成26年12月)	神田 幸司	(平成24年 3月～平成25年 3月)
木村 信人	(平成24年 4月～平成24年10月)	松田 優里	(平成25年 5月～平成27年 3月)
山田 裕樹	(平成27年 3月～平成28年 3月)		

写真で見る
15年の歩み

写真で見る15年の歩み

NS：看護学科

AT：東洋医療学科

平成16年度（2004年度）

4/5（月）入学式・1年生保護者会
 5/6（木）ナイチンゲール記念講演
 5/10（月）健康診断（学生）
 5/19（水）新入生研修（粟島）[5/20（木）まで]
 6/9（水）健康診断（職員）
 7/28（水）第1回オープンキャンパス
 8/23（月）夏季補講 [8/31（火）まで]
 9/24（金）防災訓練
 10/14（木）指定校推薦入学試験
 10/14（木）学生－学校長会食①
 10/15（金）学生－学校長会食②
 10/22（金）解剖学補講（全7回）[12/1（水）まで]
 10/23（土）中越地震発生
 10/28（木）学生－学校長会食③
 11/4（木）学生－学校長会食④

11/11（木）新潟リハビリテーション専門学校
 創立10周年記念特別シンポジウム参加[11/13（土）まで]
 11/18（木）学生－学校長会食⑤
 11/24（水）創立記念日
 11/25（木）学生－学校長会食⑥
 12/6（月）人間関係トレーニング（新潟県青少年研修センター）
 [12/8（水）まで]
 12/14（火）解剖見学実習（日本歯科大学）
 2/2（水）第1回一般入学試験（第1次）
 2/9（水）第1回一般入学試験（第2次）
 2/9（水）普通救命講習会
 2/28（月）基礎看護学実習Ⅰ [3/9（月）まで]
 3/10（木）第2回一般入学試験（第1次）
 3/16（水）第2回一般入学試験（第2次）
 3/17（木）ともしびの灯、NS 1年生：保護者会



ともしびの灯



授業風景



粟島オリエンテーション合宿





平成17年度（2005年度）

4/4（月）入学式・1年生保護者会
4/5（火）新入生オリエンテーション [4/6(水)まで]
4/6（水）新入生歓迎会
4/18（月）NS 2年生：基礎看護学実習Ⅱ [5/12(木)まで]
5/18（水）健康診断
5/20（金）ナイチンゲール記念講演
5/25（水）新入生研修（粟島）[5/27(金)まで]
7/15（金）聖看祭 [7/16(土)まで]
7/16（土）第1回オープンキャンパス
8/6（土）第2回オープンキャンパス
9/3（土）第3回オープンキャンパス
9/14（水）防災訓練
9/20（火）スポーツ大会・オリエンタリング
10/3（月）NS 2年生：成人看護学実習Ⅰ [10/28(金)まで]
10/14（金）指定校推薦入学試験

11/24（木）創立記念日
12/5（月）NS 1年生：人間関係トレーニング
（新潟県立青少年研修センター）[12/7(火)まで]
12/7（水）NS 1・2年生：人間関係トレーニング（学内：講演会）
12/14（水）NS 1年生：普通救命講習会
12/20（火）NS 1年生：解剖見学実習（日本歯科大学）
12/22（木）新潟大停電
1/11（水）NS 2年生：2年次領域別実習 [2/15(水)まで]
1/28（土）第1回一般入学試験（第1次）
2/4（土）第1回一般入学試験（第2次）
2/9（木）NS 1年生：普通救命講習会
2/27（月）NS 1年生：基礎看護学実習Ⅰ [3/7(火)まで]
3/11（土）第2回一般入学試験（第1次）
3/16（木）ともしびの灯、NS 1年生：保護者会
3/18（土）第2回一般入学試験（第2次）



スポーツ大会



粟島オリエンテーション合宿



ともしびの灯



授業風景



聖看祭



美化活動

平成18年度（2006年度）

4/5（水）入学式・1年生保護者会
 4/6（木）新入生オリエンテーション
 4/7（金）新入生歓迎会
 4/11（火）NS3年生：就職ガイダンス [4/12(水)まで]
 4/17（月）NS2年生：基礎看護学実習Ⅱ [5/10(水)まで]
 5/11（火）ナイチンゲール記念講演
 5/12（水）スポーツ大会
 5/15（月）健康診断
 5/17（水）新入生研修（粟島）[5/19(金)まで]
 5/24（水）NS3年生：3年次領域別実習 [12/21(木)まで]
 7/29（土）第1回オープンキャンパス
 8/3（木）NS3年生：国家試験対策模擬試験
 8/19（土）第2回オープンキャンパス
 8/23（水）普通救命講習会（全職員）
 9/6（水）防災訓練
 9/22（金）聖看祭 [9/23(土)まで]
 9/23（土）第3回オープンキャンパス
 10/2（月）NS2年生：成人看護学実習Ⅰ [10/27(金)まで]

10/30（月）NS1年生：基礎看護学実習Ⅰ [11/8(水)まで]
 11/24（金）創立記念日
 12/1（金）ともしびの灯、NS1年生：保護者会
 12/8（金）NS2年生：ソフトバレーボール大会
 12/20（水）NS1年生：解剖見学実習（日本歯科大学）
 12/25（月）NS：全学年合同模擬試験（国際情報大学）
 1/8（月）NS3年生：国家試験対策模擬試験（最終）
 1/11（木）献血活動（新潟県赤十字血液センター）
 1/26（金）NS1年生：普通救命講習会
 1/27（土）第1回一般入学試験（第1次）
 1/31（水）NS3年生：ケーススタディ発表会 [2/2(金)まで]
 2/3（土）第1回一般入学試験（第2次）
 2/8（木）NS2年生：2年次領域別実習 [3/20(火)まで]
 2/25（日）第96回看護師国家試験（東京）
 2/28（水）三年生を送る会
 2/28（水）卒業記念講演会
 3/10（土）第2回一般入学試験（第1次・第2次）
 3/14（水）卒業証書授与式、卒業記念祝賀会



ともしびの灯



粟島オリエンテーション合宿



ケーススタディ発表会



聖看祭学生間交流会



三送会



卒業式



平成19年度（2007年度）

4/4（水）入学式、1年生保護者会
 4/5（木）新入生オリエンテーション [4/6(金)まで]
 4/5（木）新入生歓迎会
 4/9（月）NS 2年生：基礎看護学実習Ⅱ [4/27(金)まで]
 4/27（金）NS 3年生：実習病院就職ガイダンス
 5/9（水）健康診断
 5/9（水）ナイチンゲール記念講演
 5/16（水）新入生研修（粟島）[5/17(木)まで]
 5/22（火）NS 3年生：3年次領域別実習 [12/21(金)まで]
 6/8（金）スポーツ大会、自治会総会
 7/16（月）中越沖地震
 7/20（金）聖看祭 [7/21(土)まで]
 7/21（土）第1回オープンキャンパス
 8/25（土）第2回オープンキャンパス
 9/8（土）第3回オープンキャンパス
 9/21（金）防災訓練
 10/2（火）NS 2年生：成人看護学実習Ⅰ [10/27(金)まで]

10/30（火）NS 1年生：基礎看護学実習Ⅰ [11/7(水)まで]
 11/24（土）創立記念日
 12/4（火）ともしびの灯、NS 1年生：保護者会
 12/15（土）第1回一般入学試験
 12/18（火）NS 1年生：解剖見学実習（日本歯科大学）
 12/25（火）NS：全学年合同模擬試験（国際情報大学）
 1/16（水）NS 2年生：2年次領域別実習 [2/26(火)まで]
 1/17（木）NS 3年生：国家試験対策模擬試験（最終）
 1/18（金）NS 1年生：普通救命講習会
 1/26（土）第2回一般入学試験
 2/4（月）NS 3年生：ケーススタディ発表会 [2/5(火)まで]
 2/23（土）第3回一般入学試験
 2/24（日）第97回看護師国家試験（東京）
 2/28（木）三年生を送る会
 2/28（木）卒業記念講演会
 3/7（金）卒業証書授与式、卒業記念祝賀会
 3/22（土）第4回一般入学試験（第1次・第2次）



ケーススタディ発表会



粟島オリエンテーション合宿



授業風景



スポーツ大会



三送会



聖看祭学生間交流会

平成20年度（2008年度）

4/4（金）入学式、1年生保護者会
 4/7（月）新入生オリエンテーション [4/8(火)まで]
 4/7（月）新入生歓迎会
 4/14（月）健康診断
 4/22（火）新入生才研修
 （新潟県青少年研修センター）[4/23(水)まで]
 4/23（水）NS2年生：基礎看護学実習Ⅱ [5/14(木)まで]
 4/25（金）NS3年生：実習病院就職ガイダンス[4/28(月)まで]
 5/19（月）NS3年生：3年次領域別実習 [12/17(水)まで]
 6/5（木）ナースニング記念講演、自治会総会
 7/18（金）聖祭祭 [7/19(土)まで]
 7/19（土）第1回オープンキャンパス
 8/23（土）第2回オープンキャンパス
 9/22（月）スポーツ大会
 9/25（木）防災訓練
 9/27（土）第3回オープンキャンパス
 9/29（月）NS2年生：成人看護学実習Ⅰ [10/16(木)まで]

10/20（月）NS3年生：ケーススタディ発表会[10/21(月)まで]
 10/22（水）NS1年生：基礎看護学実習Ⅰ [11/7(金)まで]
 11/24（月）創立記念日
 11/28（金）ともしびの灯、NS1年生：保護者会
 12/13（土）第1回一般推薦・社会人・一般入学試験
 12/24（水）NS1年生：解剖見学実習（日本歯科大学）
 12/25（木）NS：全学年合同模擬試験（国際情報大学）
 1/14（水）NS2年生：2年次領域別実習 [3/17(火)まで]
 1/24（土）第2回一般入学試験
 2/21（土）第2回一般推薦・社会人入学試験、第3回一般入学試験
 2/22（日）第98回看護師国家試験（東京）
 2/25（水）三年生を送る会
 2/25（水）NS3年生：上海研修旅行（2名）[2/27(金)まで]
 3/6（金）卒業証書授与式、卒業記念祝賀会
 3/14（土）第4回一般入学試験
 3/25（水）特別入学試験



スポーツ大会



ケーススタディ
発表会



合同模試



卒業式



三送会



平成21年度（2009年度）

- | | |
|--|--|
| 4/6（月）入学式、1年生保護者会 | 9/26（土）第3回オープンキャンパス |
| 4/7（火）新入生オリエンテーション [4/8(水)まで] | 9/29（火）NS 2年生：成人看護学実習Ⅰ [10/16(金)まで] |
| 4/7（火）新入生歓迎会 | 10/19（月）NS 3年生：ケーススタディ発表会 [10/20(火)まで] |
| 4/17（金）NS 3年生：実習病院就職ガイダンス | 10/21（水）NS 1年生基礎看護学実習Ⅰ [10/30(金)まで] |
| 4/20（月）健康診断 | 11/24（火）創立記念日 |
| 4/22（水）NS 2年生：基礎看護学実習Ⅱ [5/14(金)まで] | 11/27（金）ともしびの灯、NS 1年生：保護者会 |
| 4/27（月）新入生研修
（新潟県青少年研修センター） [4/28(火)まで] | 12/12（土）第1回一般推薦・社会人・一般入学試験 |
| 5/19（火）ナイチンゲール記念講演 | 12/24（木）NS 1年生・解剖見学実習（日本歯科大学） |
| 5/22（金）NS 3年生：3年次領域別実習 [12/18(金)まで] | 12/25（金）NS：全学年合同模擬試験（国際情報大学） |
| 6/8（月）自治会総会 | 1/13（水）NS 2年生：2年次領域別実習 [3/18(木)まで] |
| 7/17（金）聖看祭 [7/18(土)まで] | 1/23（土）第2回一般入学試験 |
| 7/18（土）第1回オープンキャンパス | 2/20（土）第2回一般推薦・社会人入学試験、第3回一般入学試験 |
| 7/22（水）NS 3年生：実習病院就職ガイダンス [7/23(木)まで] | 2/22（日）第99回看護師国家試験（東京） |
| 8/22（土）第2回オープンキャンパス | 2/24（水）三年生を送る会 |
| 9/11（金）防災訓練 | 3/5（金）卒業証書授与式、卒業記念祝賀会 |
| 9/25（金）スポーツ大会 | 3/13（土）第4回一般入学試験 |
| | 3/27（土）特別入学試験（東洋医療学科） |



ともしびの灯



オープンキャンパス



スポーツ大会



聖看祭学生間交流会



聖看祭



聖看祭



平成22年度（2010年度）

- | | |
|--|--|
| 4/1 (木) 「新潟看護医療専門学校」に改名 | 9/16 (木) 防災訓練 |
| 4/5 (月) 入学式・1年生保護者会 | 9/17 (金) スポーツ大会、聖看祭 [9/18(土)まで] |
| 4/6 (火) 新入生オリエンテーション [4/7(水)まで] | 9/25 (土) 第3回オープンキャンパス |
| 4/6 (火) 新入生歓迎会 | 9/28 (火) NS 2年生：成人看護学実習Ⅰ [10/15(金)まで] |
| 4/7 (水) AT 3年生：プレ臨床実習 [4/23(金)まで] | 10/15 (金) 指定校推薦入学試験 |
| 4/10 (土) リハビリテーション大学開校記念講演参加
(村上市民ふれあいセンター) | 10/19 (火) NS 3年生：ケーススタディ発表会 [10/20(水)まで] |
| 4/12 (月) 健康診断 | 10/25 (月) NS 1年生：基礎看護学実習Ⅰ [11/4(木)まで] |
| 4/15 (木) NS 3年生：実習病院就職ガイダンス [4/16(金)まで] | 11/24 (月) 創立記念日 |
| 4/19 (月) 新入生研修
(新潟県青少年研修センター) [4/20(火)まで] | 11/30 (金) ともしびの灯、NS 1年生：保護者会 |
| 4/22 (木) NS 2年生：基礎看護学実習Ⅱ [5/14(金)まで] | 12/11 (土) 第1回一般推薦・社会人・一般入学試験 |
| 4/26 (月) AT 3年生：臨床実習開始(全3クール) [8/9(月)まで] | 12/24 (金) NS：全学年合同模擬試験(国際情報大学) |
| 5/17 (月) ナイチンゲール記念講演 | 1/13 (木) NS 2年生：2年次領域別実習 [3/17(木)まで] |
| 5/18 (火) NS 3年生：3年次領域別実習 [12/18(金)まで] | 1/22 (土) 第2回一般入学試験 |
| 5/31 (月) AT 3年生：臨床実習第1クール症例検討会 | 2/1 (火) AT 2・3年生：解剖見学実習(日本歯科大学) |
| 6/7 (月) 自治会総会、奉仕活動(学校周辺ゴミ拾い) | 2/4 (金) AT 1年生：艾製作実習 |
| 6/28 (月) AT 3年生：臨床実習第2クール症例検討会 | 2/7 (月) AT 1年生：艾工場見学 |
| 7/15 (木) NS 3年生：実習病院就職ガイダンス | 2/16 (水) NS 1年生：普通救命講習会 |
| 7/17 (土) 第1回オープンキャンパス | 2/16 (水) AT 2年生：上海学術研修旅行 [2/26(土)まで] |
| 7/21 (水) AT 2年生：ベッドサイド見学実習 [7/26(月)まで] | 2/19 (土) 第2回一般推薦・社会人入学試験、第3回一般入学試験 |
| 7/26 (月) AT 1年生：治療院見学 [8/5(木)まで] | 2/20 (日) 第100回看護師国家試験(東京) |
| 7/26 (月) AT 3年生：臨床実習第3クール症例検討会 | 2/20 (日) 第19回はり師・きゅう師国家試験 |
| 8/5 (木) AT 2・3年生：介護予防運動指導実習 [8/6(金)まで] | 2/24 (木) NS：三年生を送る会 |
| 8/21 (土) 第2回オープンキャンパス | 2/28 (月) AT：三年生を送る会 |
| 8/24 (火) AT 3年生：総合演習Ⅲ(粟島銭灸奉仕実習)
[8/25(水)まで] | 3/4 (金) 卒業証書授与式、卒業記念祝賀会 |
| | 3/10 (木) NS 1年生：解剖見学実習(日本歯科大学) |
| | 3/11 (金) 東日本大震災 |
| | 3/29 (火) 特別入学試験(東洋医療学科) |



三送会



ともしびの灯



粟島実習



授業風景



平成23年度（2011年度）

- 4/5 (火) 入学式・1年生保護者会
 4/6 (水) 新入生オリエンテーション [4/7(木)まで]
 4/6 (水) 新入生歓迎会
 4/6 (水) A T 3年生: プレ臨床実習 [4/21(木)まで]
 4/18 (月) 健康診断
 4/22 (金) NS 3年生: 実習病院就職ガイダンス
 4/25 (月) 新入生研修
 (新潟県青少年研修センター) [4/26(火)まで]
 4/25 (月) A T 3年生: 臨床実習開始 (全3クール)
 [7/22(月)まで]
 5/9 (月) NS 2年生: 基礎看護学実習Ⅱ [5/14(金)まで]
 5/27 (月) ナイチンゲール記念講演、自治会総会
 5/30 (月) NS 3年生: 3年次領域別実習 [11/28(月)まで]
 5/30 (水) A T 2年生: ベッドサイド見学実習 [6/22(水)まで]
 6/9 (木) A T 3年生: 臨床実習第1クール症例検討会
 6/22 (水) NS 1・2年生: 山田里津先生来校 学生と交流会
 7/7 (木) A T 3年生: 臨床実習第2クール症例検討会
 7/23 (土) 第1回オープンキャンパス
 7/29 (金) NS 3年生: 実習病院就職ガイダンス
 8/1 (月) A T 1年生: 治療院見学 [8/11まで]
 8/5 (金) 新潟まつり大民謡流し参加
 8/20 (土) 第2回オープンキャンパス
 8/31 (水) 職員向けセミナー: 「放射線は怖い? 怖くない?」
 9/8 (木) A T 3年生: 臨床実習第3クール症例検討会
 9/10 (土) A T 3年生: 総合演習Ⅲ (粟島鍼灸奉仕実習)
 [9/11(日)まで]
 9/15 (木) 防災訓練
 9/16 (金) スポーツ大会、聖看祭 [9/17(土)まで]
 9/17 (土) 学校説明会
- 10/1 (土) 指定校推薦入学試験
 A T: 第1回一般推薦・社会人・一般入学試験
 10/4 (火) NS 2年生: 成人看護学実習Ⅰ [10/21(金)まで]
 10/24 (月) NS 3年生: ケーススタディ発表会 [10/25(火)まで]
 10/25 (火) NS 1年生: 基礎看護学実習Ⅰ [11/4(金)まで]
 11/24 (木) 創立記念日
 11/26 (土) NS: 第1回一般推薦・社会人・一般入学試験
 A T: 第2回一般推薦・社会人・一般入学試験
 11/29 (火) ともしびの灯、NS 1年生: 保護者会
 11/30 (水) NS 3年生: 統合実習 [12/16(金)まで]
 12/17 (土) A T: 第3回一般推薦・社会人・一般入学試験
 12/24 (金) NS: 全学年合同模擬試験 (国際情報大学)
 1/11 (水) NS 2年生: 2年次領域別実習 [3/16(金)まで]
 1/28 (土) NS: 第2回一般入学試験
 A T: 第4回一般推薦・社会人・一般入学試験
 2/7 (火) A T 2・3年生: 解剖見学実習 (日本歯科大学)
 2/10 (金) A T 1年生: 艾製作実習
 2/16 (木) A T 1年生: 艾工場見学
 2/18 (土) NS: 第3回一般入学試験
 A T: 第5回一般推薦・社会人・一般入学試験
 2/19 (日) 第101回看護師国家試験 (東京)
 2/23 (木) NS 1年生: 普通救命講習会
 2/26 (日) 第20回はり師・きゅう師国家試験
 2/27 (月) 三年生会送る会
 3/3 (土) NS: 第4回一般入学試験
 A T: 第6回一般推薦・社会人・一般入学試験
 3/8 (木) NS 1年生: 解剖見学実習 (日本歯科大学)
 3/9 (金) 卒業証書授与式、卒業記念祝賀会
 3/14 (水) A T 3年生: 上海学術研修旅行 [3/24(土)まで]
 3/29 (木) A T: 第7回一般推薦・社会人・一般入学試験



スポーツ大会



オープンキャンパス



上海研修旅行



ともしびの灯



山田里津先生講義



授業風景



聖看祭



平成24年度（2012年度）

4/4 (水) 入学式・1年生保護者会
 4/5 (木) 新入生オリエンテーション [4/6(金)まで]
 4/5 (木) 新入生歓迎会
 4/9 (月) A T 3年生：プレ臨床実習 [4/25(木)まで]
 4/16 (月) 健康診断
 4/25 (水) 新入生研修
 (新潟県青少年研修センター) [4/26(木)まで]
 4/26 (木) A T 3年生：臨床実習開始(全3クール) [7/27(月)まで]
 5/8 (火) N S 2年生：基礎看護学実習Ⅱ [5/24(木)まで]
 5/11 (金) A T 2年生：ベッドサイド見学実習 [6/1(金)まで]
 5/28 (月) ナイチンゲール記念講演、自治会総会
 5/30 (水) N S 3年生：3年次領域別実習 [11/22(金)まで]
 6/11 (月) A T 3年生：臨床実習第1クール症例検討会
 6/16 (土) 第1回オープンキャンパス
 7/9 (月) A T 3年生：臨床実習第2クール症例検討会
 7/21 (土) 第2回オープンキャンパス
 8/1 (水) A T 1年生：治療院見学 [8/9(木)まで]
 8/3 (金) 新潟まつり大民謡流し参加
 8/25 (土) 第3回オープンキャンパス
 8/31 (金) 教職員A E D講習会
 9/1 (土) A T 3年生：総合演習Ⅲ (粟島鍼灸奉仕実習)
 [9/2(日)まで]
 9/10 (月) A T 3年生：臨床実習第3クール症例検討会
 9/12 (水) 防災訓練
 9/21 (金) 聖看祭 [9/22(土)まで]
 9/22 (土) 学校説明会

9/24 (月) A T 2・3年生：介護予防運動指導実習 [9/28(金)まで]
 9/29 (土) 北都健勝学園三校合同スポーツ大会
 (村上市荒川総合体育館)
 10/2 (火) N S 2年生：成人看護学実習Ⅰ [10/19(金)まで]
 10/9 (火) 指定校推薦入学試験
 10/17 (水) N S 1年：新潟空港消防救難・救急医療総合訓練参加
 (新潟空港)
 10/22 (月) N S 3年生：ケーススタディ発表会 [10/23(火)まで]
 10/24 (水) N S 1年生：基礎看護学実習Ⅰ [11/2(金)まで]
 11/3 (土) 西区ふれあいまつり参加 (みどり森の運動公園)
 11/17 (土) 第1回一般推薦・社会人・一般入学試験
 11/24 (土) 創立記念日
 11/28 (水) ともしびの灯、N S 1年生：保護者会
 11/30 (金) N S 3年生：統合実習 [12/18(火)まで]
 12/26 (水) N S：全学年合同模擬試験 (国際情報大学)
 1/15 (火) N S 2年生：2年次領域別実習 [3/19(火)まで]
 1/26 (土) 第2回一般入学試験
 2/9 (火) A T 1年生：艾製作実習
 2/17 (日) 第102回看護師国家試験 (東京)
 2/23 (土) 第3回一般入学試験
 2/24 (日) 第21回はり師・きゅう師国家試験
 2/26 (火) 三年を送る会
 2/27 (水) N S 1年生：普通救命講習会
 2/27 (水) A T 1年生：艾工場見学
 3/8 (金) 卒業証書授与式、卒業記念祝賀会
 3/14 (水) N S 1年生・A T 2年生解剖見学実習 (日本歯科大学)



三校合同スポーツ大会



上海研修旅行



空港防災訓練



新入生研修



聖看祭



新潟祭大民謡流し



授業風景



粟島実習



平成25年度（2013年度）

- | | |
|--|---|
| 4/4（木）AT2・3年生 オリエンテーション | 9/21（土）学校説明会 |
| 4/8（月）入学式・1年生保護者会 | 9/24（火）AT1年生：治療院見学 [9/26(木)まで] |
| 4/9（火）新入生オリエンテーション [4/10(水)まで] | 9/30（月）AT2年生：介護予防運動指導実習 [10/4(金)まで] |
| 4/9（火）AT3年生：プレ臨床実習 [4/24(木)まで] | 10/3（木）NS2年生：成人看護学実習Ⅰ [10/22(水)まで] |
| 4/15（月）健康診断 | 10/5（土）指定校推薦入学試験 |
| 4/26（金）新入生歓迎スポーツ大会 | 10/6（日）西区ふれあいまつり参加（みどり森の運動公園） |
| 4/30（火）AT3年生：臨床実習開始（全3クール）
[7/26(金)まで] | 10/23（水）NS3年生：ケーススタディ発表会 [10/24(木)まで] |
| 5/8（水）NS2年生：基礎看護学実習Ⅱ [5/24(金)まで] | 10/28（月）NS1年生：基礎看護学実習Ⅰ [11/7(木)まで] |
| 5/13（月）新入生研修
（新潟県青少年研修センター）[5/14(火)まで] | 11/16（土）第1回一般推薦・社会人・一般入学試験 |
| 5/16（木）NS3年生：実習病院就職ガイダンス | 11/24（日）創立記念日 |
| 5/28（火）ナイチンゲール記念講演、自治会総会 | 11/29（金）ともしびの灯、NS1年生：保護者会 |
| 5/28（水）NS3年生：3年次領域別実習開始 [11/2(水)まで] | 12/2（月）NS3年生：統合実習 [12/18(水)まで] |
| 6/7（金）AT3年生：臨床実習第1クール症例検討会 | 12/20（金）NS：全学年合同模擬試験 |
| 6/10（月）AT2年生：ベッドサイド見学実習 [7/19(金)まで] | 1/14（火）NS2年生：2年次領域別実習 [3/18(火)まで] |
| 6/29（上）第1回オープンキャンパス | 1/25（土）第2回一般入学試験 |
| 7/8（月）AT3年生：臨床実習第2クール症例検討会 | 2/14（金）AT1年生：艾製作実習 |
| 7/20（土）第2回オープンキャンパス | 2/15（土）AT3年生：上海学術研修旅行 [2/22(土)まで] |
| 8/7（水）教職員健康セミナー・AED講習会 | 2/16（土）第103回看護師国家試験（東京）＊関東大雪 |
| 8/9（金）新潟まつり大民謡流し参加 | 2/17（月）AT1年生：艾工場見学 |
| 8/24（土）第3回オープンキャンパス | 2/22（土）第3回一般入学試験 |
| 8/31（土）AT3年生：総合演習Ⅲ（粟島鍼灸奉仕実習）
[9/1(日)まで] | 2/23（日）第22回はり師・きゅう師国家試験 |
| 9/5（木）AT3年生：臨床実習第3クール症例検討会 | 2/25（火）三年生を送る会 |
| 9/12（木）防災訓練 | 2/26（水）NS1年生：普通救命講習会 |
| 9/20（金）聖香祭 [9/21(土)まで] | 3/5（水）NS1年生・AT2年生：解剖見学実習
（新潟大学医学部） |
| | 3/7（金）卒業証書授与式、卒業記念祝賀会 |
| | 3/19（水）NS3年生：第102回看護師国家試験 再試験（東京）
＊希望者 |



新入生研修



美化活動



スポーツ大会



上海研修旅行



三送会



ともしびの灯



症例検討会



教員研修



粟島実習

平成26年度（2014年度）

4/7（月）入学式・1年生保護者会
 4/8（火）新入生オリエンテーション [4/9(水)まで]
 4/8（火）AT3年生・プレ臨床実習 [4/23(水)まで]
 4/14（月）健康診断
 4/25（金）新入生歓迎スポーツ大会
 4/30（水）新入生研修(新潟県青少年研修センター) [5/1(木)まで]
 4/30（水）AT3年生:臨床実習開始(全3クール) [7/31(木)まで]
 5/7（水）NS2年生:基礎看護学実習Ⅱ [5/23（金）まで]
 5/22（木）NS3年生:実習病院就職ガイダンス
 5/27（火）自治会総会
 5/28（水）NS3年生:3年次領域別実習 [11/27(木)まで]
 6/11（水）AT3年生:臨床実習第1クール症例検討会
 6/20（金）AT2年生:ベッドサイド見学実習 [7/4(金)まで]
 6/28（土）第1回オープンキャンパス
 7/7（月）AT3年生臨床実習第2クール症例検討会
 7/19（土）第2回オープンキャンパス
 7/31（木）ナイチンゲール記念講演
 8/5（火）教職員健康セミナー・AED講習会
 8/8（金）新潟まつり大民謡流し参加
 8/23（土）第3回オープンキャンパス
 8/30（土）AT3年生:総合演習Ⅲ（粟島鍼灸奉仕実習）
 [8/31(日)まで]
 9/4（木）AT3年生:臨床実習第3クール症例検討会
 9/10（水）防災訓練
 9/19（金）聖看祭 [9/20(土)まで]

9/20（土）学校説明会
 9/26（金）AT1年生:治療院見学 [9/29(月)まで]
 10/2（木）NS2年生:成人看護学実習Ⅰ [10/21(火)まで]
 10/4（土）指定校推薦入学試験
 10/15（水）NS1年:新潟空港消防救難・救急医療総合訓練参加
 （新潟空港）
 10/22（水）NS3年生:ケーススタディ発表会 [10/23(木)まで]
 10/27（月）NS1年生:基礎看護学実習Ⅰ [11/6(木)まで]
 11/15（土）第1回一般推薦・社会人・一般入学試験
 11/24（月）創立記念日
 11/28（金）ともしびの灯、NS1年生:保護者会
 12/2（火）NS3年生:統合実習 [12/18(木)まで]
 1/14（水）NS2年生:2年次領域別実習 [3/17(火)まで]
 1/24（土）第2回一般入学試験
 2/22（日）第104回看護師国家試験
 2/22（日）第23回はり師・きゅう師国家試験
 2/25（水）三年生を送る会
 2/26（木）AT1年生:艾製作実習
 2/27（金）AT1年生:艾工場見学
 3/6（金）卒業証書授与式、卒業記念祝賀会
 3/10（火）NS1年生:普通救命講習会
 3/13（金）NS1年生:AT2年生:解剖見学実習
 （新潟大学医学部）
 3/14（土）AT2年生:上海学術研修旅行 [3/21(土)まで]



新入生オリエンテーション研修



空港防災訓練



授業風景



艾製作演習



AED講習会



症例検討会



ヨガ



聖看祭

平成27年度（2015年度）

4/6（月）入学式・1年生保護者会
 4/7（火）新入生オリエンテーション [4/8(水)まで]
 4/10（金）AT3年生：プレ臨床実習 [4/27(月)まで]
 4/13（月）健康診断
 5/1（金）新入生歓迎スポーツ大会
 5/7（木）NS2年生：基礎看護学実習Ⅱ [5/25(月)まで]
 5/8（金）AT3年生：臨床実習開始(全3クール) [7/28(火)まで]
 5/18（月）新入生研修（メイフサンピア）
 5/21（木）NS3年生：実習病院就職ガイダンス
 5/27（水）ナイチンゲール記念講演、自治会総会
 5/28（木）NS3年生：3年次領域別実習 [11/27(金)まで]
 6/10（水）AT3年生：臨床実習第1クール症例検討会
 6/19（金）AT2年生：ベッドサイド見学実習 [7/28(火)まで]
 6/27（土）第1回オープンキャンパス
 7/8（水）AT3年生：臨床実習第2クール症例検討会
 7/18（土）第2回オープンキャンパス
 8/29（土）第3回オープンキャンパス
 9/4（金）AT3年生：総合演習Ⅲ（栗島鍼灸奉仕実習）
 [9/5(日)まで]
 9/9（水）AT3年生：臨床実習第3クール症例検討会
 9/16（水）防災訓練
 9/18（金）聖看祭 [9/19(土)まで]

9/28（月）AT1年生：治療院見学 [9/30(水)まで]
 9/28（月）AT2・3年生：介護予防運動指導実習 [9/30(水)まで]
 9/30（水）NS2年生：成人看護学実習Ⅰ [10/19(月)まで]
 10/3（土）指定校推薦入学試験
 10/22（水）NS3年生：ケーススタディ発表会 [10/23(木)まで]
 10/28（月）NS1年生：基礎看護学実習Ⅰ [11/5(木)まで]
 11/24（土）第1回一般推薦・社会人・一般入学試験
 11/14（火）創立記念日
 11/30（月）ともしびの灯、NS1年生：保護者会
 12/2（水）NS3年生：統合実習 [12/18(金)まで]
 12/22（火）自治会臨時総会
 1/13（水）NS2年生：2年次領域別実習 [3/17(火)まで]
 2/14（日）第105回看護師国家試験
 2/19（金）AT1年生：艾製作実習
 2/26（金）AT1年生：艾工場見学
 2/28（日）第24回はり師・きゅう師国家試験
 3/2（木）三年生を送る会
 3/4（金）卒業証書授与式、卒業記念祝賀会
 3/10（木）NS1年生・AT2年生：解剖見学実習
 （新潟大学医学部）
 3/12（土）AT2年生：上海学術研修旅行 [3/19(土)まで]



入学式



授業風景



新入生
オリエンテーション



上海研修



ケーススタディ発表会



栗島実習



スポーツ大会



三送会



ともしびの灯



もぐさグランプリ

平成28年度（2016年度）

4/6（水）新入生オリエンテーション [4/7(木)まで]
 4/8（金）入学式・1年生保護者会
 4/11（月）健康診断
 4/11（月）新入生歓迎会
 4/12（火）AT3年生：プレ臨床実習 [4/27(水)まで]
 4/27（水）新入生研修（メイフサンピア）
 4/28（木）スポーツ大会
 5/9（月）NS3年生：3年次領域別実習 [11/18(金)まで]
 5/9（月）AT3年生：臨床実習開始（全3クール） [7/29(金)まで]
 5/27（金）ナイチンゲール記念講演、自治会総会
 6/4（土）第1回オープンキャンパス
 6/10（金）AT3年生：臨床実習第1クール症例検討会
 6/20（月）AT2年生：ベッドサイド見学実習 [7/22(金)まで]
 7/4（月）AT3年生：臨床実習第2クール症例検討会
 7/23（土）第2回オープンキャンパス
 8/27（土）第3回オープンキャンパス
 9/2（金）AT3年生：総合演習Ⅲ（粟島鍼灸奉仕実習）
 [9/3(土)まで]
 9/7（水）AT3年生：臨床実習第3クール症例検討会
 9/15（木）NS1年生：新潟空港消火救難・救急医療総合訓練
 参加（新潟空港）
 9/16（金）聖看祭 [9/17(土)まで]
 9/26（月）NS2年生：基礎看護学実習Ⅱ [10/13(木)まで]
 9/26（月）AT2年生：介護予防運動指導実習 [9/30(金)まで]
 9/26（月）AT1年生：治療院見学 [9/29(木)まで]

10/1（土）指定校推薦入学試験、特別入学試験
 10/14（金）防災訓練
 10/18（火）NS1年生：基礎看護学実習Ⅰ [10/26(水)まで]
 11/12（土）第1回一般推薦・社会人・一般入学試験
 11/21（月）NS3年生：統合実習 [12/13(金)まで]
 11/22（火）ともしびの灯、NS1年生：保護者会
 11/24（木）創立記念日
 12/9（金）NS2年生、AT3年生：認知症サポートセミナー
 1/10（火）NS3年生：ケーススタディ発表会 [1/11(水)まで]
 1/12（木）NS2年生：2年次領域別実習 [3/14(火)まで]
 1/21（土）第2回社会人・一般人入学試験
 2/14（火）AT1年生：鍼の製造工程学習
 2/15（水）AT2年生：介護予防運動指導見学 [2/24(金)まで]
 2/17（金）AT1年生：艾製作実習
 2/18（土）第3回社会人・一般人入学試験
 2/19（日）第106回看護師国家試験
 2/20（月）AT1年生：艾工場見学
 2/21（火）入学予定者スクーリング
 2/26（日）第25回はり師・きゅう師国家試験
 2/28（火）三年生を送る会
 3/3（金）卒業証書授与式、卒業記念祝賀会
 3/8（木）NS1年生・AT2年生：解剖見学実習
 （新潟大学医学部）
 3/23（木）第4回社会人・一般人入学試験
 3/25（土）第4回オープンキャンパス



授業風景



スポーツ大会



粟島実習



症例検討会



ともしびの灯



壮行会



鍼実技



聖看祭



三送会

平成29年度（2017年度）

4/5（水）入学式・1年生保護者会
 4/6（木）新入生オリエンテーション [4/7(金)まで]
 4/10（月）健康診断
 4/10（月）新入生歓迎会
 4/11（火）AT3年生：プレ臨床実習 [5/2(火)まで]
 4/27（木）新入生研修（メイワサンピア）
 4/28（金）スポーツ大会
 5/8（月）NS3年生：3年次領域別実習 [11/20(月)まで]
 5/8（月）AT3年生：臨床実習開始（全3クール）

5/26（金）ナイチンゲール記念講演、自治会総会
 6/2（金）NS2年生：国立療養所栗生楽泉園施設見学（長野県）
 6/3（土）第1回オープンキャンパス
 6/16（金）防災訓練
 6/16（金）AT3年生：臨床実習第1クール症例検討会
 6/19（月）AT2年生：ベッドサイド見学実習 [7/18(火)まで]
 7/1（土）第2回オープンキャンパス
 7/7（金）AT3年生：臨床実習第2クール症例検討会
 7/30（日）第3回オープンキャンパス
 8/6（日）第4回オープンキャンパス
 9/1（金）AT3年生総合演習Ⅲ（栗島鍼灸奉仕実習）

9/15（金）聖看祭 [9/16(土)まで]
 9/19（火）AT3年生：臨床実習第3クール症例検討会
 9/22（金）AT1年生：治療院見学 [9/26(火)まで]

9/25（月）NS2年生：基礎看護学実習Ⅱ [10/11(水)まで]
 10/7（土）指定校推薦入学試験、第1回一般推薦入学試験
 10/17（火）NS1年生：基礎看護学実習Ⅰ [10/25(水)まで]
 11/11（土）第2回一般推薦入学試験、第1回社会人・一般入学試験
 11/22（水）ともしびの灯、NS1年生：保護者会
 11/24（金）創立記念日
 11/27（月）NS3年生：統合実習 [12/14(木)まで]
 1/9（火）NS3年生：ケーススタディ発表会 [1/10(水)まで]
 1/12（金）NS2年生：2年次領域別実習 [3/19(月)まで]
 1/20（土）第2回社会人・一般入学試験
 2/17（土）第3回社会人・一般入学試験
 2/18（日）第107回看護師国家試験
 2/20（火）AT1年生：鍼の製造工程学習
 2/21（水）AT1年生：艾工場見学
 2/21（水）AT2年生：介護予防運動指導見学 [2/23(金)まで]
 2/22（木）入学予定者スクーリング
 2/23（金）AT1年生：艾製作実習
 2/25（日）第26回はり師・きゅう師国家試験
 3/6（火）三年生を送る会
 3/8（木）NS1年生・AT2年生：解剖見学実習

3/9（金）卒業証書授与式、卒業記念祝賀会
 3/17（土）第4回一般・社会人入学試験
 3/24（土）第5回オープンキャンパス



夏期講習



授業風景



まるとり



栗島研修



艾製作演習



聖看祭



大雪 皆で除雪



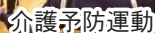
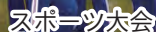
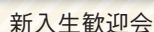
三送会





4/4 (水) 入学式・1年生保護者会
4/5 (木) 新入生オリエンテーション [4/6(金)まで]
4/9 (月) 健康診断・新入生歓迎会
4/10 (火) A T 3年生：プレ臨床実習 [4/27(金)まで]
4/27 (金) 新入生研修(メイフサンピア)
5/7 (月) N S 3年生：3年次領域別実習 [11/16(金)まで]
5/8 (火) A T 3年生：臨床実習開始(全3クール)
[7/24(火)まで]
5/25 (金) ナイチンゲール記念講演、自治会総会
6/2 (土) 第1回オープンキャンパス
6/5 (火) A T 2年生：ベッドサイド見学実習 [7/25(水)まで]
6/11 (月) A T 3年生：臨床実習第1クール症例検討会
6/20 (水) N S 2年生、A T 2・3年生：地域支えあいワーク
ショップ参加
7/6 (金) スポーツ大会
7/7 (土) 第2回オープンキャンパス
7/9 (月) A T 3年生：臨床実習第2クール症例検討会
7/13 (金) N S 2年生：国立療養所楽生楽泉園施設見学(長野県)
8/5 (日) 第3回オープンキャンパス
9/5 (水) A T 3年生：臨床実習第3クール症例検討会
9/11 (火) A T 1年生：鍼の製造工学学習
9/14 (金) 聖看祭 [9/15(土)まで]
9/19 (水) 防災訓練
9/19 (水) N S 2年生：新潟空港消火救難・救急医療総合訓練
参加(新潟空港)
9/20 (木) A T 1年生：治療院見学 [9/27(木)まで]

9/21 (金) NS 2年生:基礎看護学実習Ⅱ [10/12(金)まで]
9/25 (火) AT 2・3年生:介護予防運動指導実習 [9/29(金)まで]
10/13 (土) 指定校推薦入学試験、第1回一般推薦入学試験
10/16 (火) NS 1年生:基礎看護学実習Ⅰ [10/26(金)まで]
11/17 (土) 第2回一般推薦入学試験、第1回社会人・一般入学試験
11/21 (水) NS 3年生:統合実習 [12/13(木)まで]
11/22 (木) ともしびの灯、NS 1年生:保護者会
11/24 (土) 創立記念日
1/8 (火) NS 3年生:ケーススタディ発表会 [1/9(水)まで]
1/11 (木) NS 2年生:2年次領域別実習 [3/19(火)まで]
1/19 (土) 第2回社会人・一般入学試験
2/16 (土) 第3回社会人・一般入学試験
2/17 (日) 第109回看護師国家試験
2/18 (月) AT 2年生:総合演習ⅠB(鍼製造工程)
2/18 (月) AT 2年生:介護予防運動見学 [2/23(土)まで]
2/19 (火) AT 1年生:艾製作実習
2/20 (水) AT 1年生:艾工場見学
2/24 (同) 第27回はり師・きゅう師国家試験
2/25 (月) 三年生を送る会
2/26 (火) 入学予定者スクーリング
3/7 (木) NS 1年生・AT 2年生:解剖見学実習
(新潟大学医学部)
3/8 (金) 卒業証書授与式、卒業記念祝賀会
3/16 (土) 第4回一般・社会人入学試験
3/23 (土) 第4回オープンキャンパス



第1回卒業生



第2回卒業生

第3回卒業生



第4回卒業生



学校法人 北都健勝学園 新潟看護医療専門学校
卒業証書授与式

第5回卒業生



第6回卒業生



第7回卒業生



第8回卒業生



第9回卒業生



第10回卒業生



第11回卒業生



第12回卒業生



第13回卒業生



第1回卒業生



第2回卒業生



第3回卒業生



第4回卒業生



学校法人 北都健勝学園
新潟看護医療専門学校 入学式



第5回卒業生

第6回卒業生



第7回卒業生



卒業証書授与式



第8回卒業生

創立15周年
に寄せて



大きく羽ばたけ！

学校法人 北都健勝学園 理事 川 崎 久

創立15周年誠におめでとうございます。

看護師を目指して勉強されている皆様は、未来の宝物です。看護師資格が取れますよう、ご祈念申し上げます。

皆さんは、卒業と同時に看護師として、各施設に勤務され「新人」として実習されていくわけですが、「新人」という呼び方が通用するのは、だいたい1年間くらいと思われませんが、半年くらいたつと、仕事の様子が少しずつわかるようになってくるでしょうが、すべての仕事が諸先輩たちと同じようにこなされる訳ではありません。それでも、一日も早く先輩同様に仕事をこなせるようになりたい、それ以上に活躍したいという気持ちがあるでしょう。

「学」は「真似」から始まります。新人と言われる期間に、先輩のよいところを吸収することが、スキルアップする近道と言えるのではないのでしょうか。

素晴らしいのS・すごいS・さすがのS、この3Sをキーワードとして先輩・同僚のよいところを見つけ、ポジティブに接する事を心がけて下さい。きっといろいろな人達から一目置かれる事でしょう。

又、患者様に対しても、初めはどのように対応したら良いかも解らず、ドキドキすることでしょうが、先輩の仕草などを真似しながら対処し、患者様のお話を聞くことにより、相手の思いが解ってくるものです。看護師の仕事は大変忙しく、なかなか時間の配分が出来にくいとは思いますが、寄り添う時間を作るように心がけて下さい。

又、皆さんにお願いしたいところですが、「メモの活用」せっかくの気づきです。書き残して安心してしまい、うやむやにしてしまう人も少なくないでしょう。

メモは気づきの集積、いわゆる宝の山です。メモの内容を後で読み返し実行し、処理することです。その中からどんどん改善や改革の手を打っていくことが出来るでしょう。

今後の皆さんのご活躍を楽しみにしております。



思 い 出

北都健勝学園 副理事長 伴 雅 史

新潟看護医療専門学校が本年創立15周年を迎えるにあたり、開校前の準備段階から現在に至るまで、本校に関わりのある多くの皆さまに、心から御礼を申し上げます。

時代の流れとともに、校名の変更をしながらも、開校当初の理念「人間尊重」を大切にし人間愛に基づき人間看護を徹底する教育を念頭にして、本校の卒業生は500名を超えました。卒業生の多くが地域の病院、施設で活躍しており、地域社会に対して、本校の存在の意義を示すとともに、応援してくださっている皆さまへの期待に応えることができていると確信いたしております。

私は開校2年目の2005年7月から、本学園の理事として携わらせていただいております。開校時の申請書類や校舎建設等の膨大な資料を拝見するにあたり、新たな学校を作ることの難しさとともに、たくさんの皆さまに支えられて成し遂げられたものだと思ひ改めて実感しました。また、1回生が卒業するまでの3年間は、毎日が試行錯誤の繰り返しであり、それから今日に至るまでも多くの困難がありながらも、教職員一体となって何とか乗り越えてきたように思います。

一方、卒業式での卒業生や在校生からのサプライズメッセージ、学生・ご家族の笑顔や涙、ともしびの灯で将来自分がどのような看護師になりたいかの思いを聞くたびに、一人ひとりの学生の人生においての大切な時間に関わりを持つことができ、本学園に携わらせていただいていることを嬉しく思い、皆さまへの感謝の気持ちで一杯になります。

終わりに人口減少等の社会問題により、これまで以上に先行きを見通すことが難しい時代となっています。時代が求めているケアリングを追及し、求められる人材をこれらからも育てていけるよう15年の歴史を大切にしながら、これからも地域、教員、法人含めた多くの皆さまと協力し歩んでゆく所存です。



新潟看護医療専門学校開学15周年に寄せて

学校法人 北都健勝学園 監事 鳥田 次郎

新潟看護医療専門学校開校15周年、心からお慶び申し上げます。

開校から15年、これまでに輩出した看護学科の卒業生は566名になるということです。その卒業生は、いずれも看護師の資格を取得し、医療従事者として新潟県内を中心とし、全国各地で活躍しておられるということです。

更に、平成22年から、東洋医療学科を併設し、鍼灸師の養成も行っています。

これら看護学科及び東洋医療学科の教育は、学校内での教育のみでは、なし得るものではなく、地域の医療機関のご協力により実習生を受け入れていただければこそなし得ることと感謝しております。

これからも、益々少子高齢化社会が進み、医療従事者不足の解消が求められる中で、更に多くの優秀な看護師、鍼灸師を輩出するよう努めていかなければならないと思われまます。

本校の学則にありますように、学生が人間として豊かに成長するように授け“人の心の杖”となるべく人間尊重の理念に基づく、看護師及び鍼灸師として必要な高度な知識及び技術を教授し専門職としての誇りと自覚を持つ社会に貢献する有能な人材を育成する目的が果たされるように定められています。

地域に根ざした新潟看護医療専門学校として更なる充実・発展を期待して止みません。



新潟看護医療専門学校「創立15周年に寄せて」

学校法人 北都健勝学園 法人本部事務局長 大滝 かおり

思えば15年前、前小林理事長の悲願でもあった看護学校設立が赤塚の地に実現し、そしてここまで歩んで来れたことは、ひとえに準備の段階より惜しめない協力で支え続けて下さった実習協力施設の皆さまはじめ、地域の皆さま、講師の先生方、各種協力機関の方々の力強いご支援、ご協力の賜物と、深く感謝申し上げます。

実は、新潟看護医療専門学校は開校を迎えるまで、設置の申請は三度に渡り、何年もの歳月を要しました。一度目は専門学校ではなく、養成所としての申請を試みましたが県はじめ、関係各位との調整で申請を断念。ヒアリングまで受審し、何とか設立の必要性を訴えましたが、無念にも開設にならなかった二度目の申請。そして三度目の挑戦で念願の認可となりました。

何人もの先生方が挑戦し、断念し、また一から積み上げ、挑戦する日々を繰り返してきました。15周年を迎える今でも、決して表舞台には現れない地道な先生方の苦労を忘れることはありません。実習のお願いに行った足で岡山へ飛び、学則のアドバイスを頂き、とんぼ返りでまた書類の作成。県へは連日、1日に何度も足を運び、もうだめかと思う日が何度もありました。

そんな中で最後まで開校を諦めず、挑戦し続けた先生方の想いがあったからこそ、今があるのだと確信しています。そして、これまでも、これからも、その想いを絶えることなく守り伝え、看護師を育て続けている先生方の教育への情熱が、新潟看護医療専門学校を支え続けていくことでしょう。

どうかこれからも、新潟看護医療専門学校が20年、30年と歩み続けていけますよう、皆さまの変らぬご指導、ご協力をお願いいたします。



新潟看護医療専門学校創立15周年に寄せて

新潟リハビリテーション大学 学長 山村 千 絵

新潟看護医療専門学校が、創立15周年を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

貴校は開校以来これまで、看護師、はり師・きゅう師を目指す学生の教育・指導はもちろん、地域貢献の分野においても種々の成果を積み重ね、地域住民の健康増進・福祉の向上に向けた取り組みや啓発活動等を通して今日に至るまで多大な役割を果たしてこられました。これもひとえに、専門学校に関わるすべての皆様方の不断のご努力のたまものと思います。今年度からは新たに、地域支え合いワークショップとして、新潟国際情報大学や自治体関係者、地域の方々とともに、「地域の安心安全・居場所づくり・健康づくり・地域を知る・生活の困りごと」などのテーマで話し合い、越後赤塚駅前にクリスマスツリーを設置したり、介護予防運動指導教室を開催したりという、素晴らしい取り組みを実施されていると聞いています。

さて、我が国は超高齢社会が急速に進む中、疾病構造の変化や健康に対する意識の変化が生じてきているとともに、今後ますます地域医療・高齢者医療のほか高度で多様な医療や福祉の需要が高くなっていくと考えられます。貴校の卒業生の多くは、地元を中心に全国各地で活躍されていますが、地域の皆様をはじめとする誰もが、希望をもって安全・安心で、いつまでも健康に暮らしていくことができるよう支援のできる、優秀な人材を、今後も大勢輩出していただけるものと期待しています。医学が進歩するほど、いっそう人間の尊厳が大切にされなければならない、皆様から信頼される人間性豊かな医療人が求められるようになっていきます。そのような時代にあり、貴学の理念である「学生一人ひとりと共に考え、看護学、東洋医学を学んでいく」「患者様—学生としての出会いが心から癒し合える人間性に高められるような教育」また、学園及び本学のモットーでもある「人の心の杖であれ」の教えが強生きてくるものと思います。本学も貴校との連携を保ちながら、引き続きその役割を十分果たしていくことができるよう、努力していく所存でございます。

結びに当たり、新潟看護医療専門学校が15周年という歴史を重ね、その使命感のもとに来るべき新しい時代の専門学校として、ますます発展されますことを心から祈念して、お祝いの言葉とさせていただきます。



創立15周年を祝し

新潟看護医療専門学校村上校 副校長 齊藤 静子

新潟看護医療専門学校創立15周年、おめでとうございます。心からお祝い申しあげます。開設当時においては、看護師不足が社会問題となる中、そのニーズに答える一端を担うべく、養成所としての開設に至るご苦労、更に、東洋医療学科の併設を行い、現在までへの専門学校へと築き上げられてきたことに、心より敬意を表します。

さて、新潟校で一番感じることは、一人ひとりの学生さんに、きめ細かく対応している教職員の姿です。そして、その対応には、愛情が込められているということです。温かさと共に、“貴方をしっかり見てますよ”というものが伝わります。学生さん達もその環境の中で、のび伸びと学校生活を送りながら、専門職となるべく必要な“ちから”を身につけ成長していく様子に、微笑ましく感じることができます。また、そのことで、私自身も教員として、いつしか忘れかけていた大切なものを思い出させてもらえる機会ともなりました。まさに、学校の教育理念にも謳う『人間尊重』、『ケアリング』の実践そのものが行なわれています。この、人間性あふれる学びは、卒業した後も、大切な原点となることは言うまでもありません。そして、このことは、学生さんが学校選択される上でも大きな意味をもっているものと思います。

さて、2015年に村上の地に開校した、わが新潟看護医療専門学校村上校も、沢山の支援を受けて参りました。早く、新潟校のように地域に根差し、社会貢献できる学校となれるよう頑張っていきたいと思っています。

最後に、新潟看護医療専門学校の、更なる今後の発展をお祈りし、お祝いの挨拶と致します。



新潟看護医療専門学校での10年を振り返って

新潟看護医療専門学校 村上校 教務主任 相 川 澄 子

創立15周年、おめでとうございます。私は新潟看護医療専門学校で平成17年10月から平成27年6月まで、10年程教員として勤務させていただきました。教員として初めて仕事をしたので、当初は戸惑うことばかりでした。学生は看護師になりたいという意欲の高い学生が多く、やりがいを感じましたが、自分の教育力のなさにくじける毎日でした。しかし学生への授業を通してこれまでの自らの看護を振り返る良い機会ともなりました。新しい学校であり、教員たちもお互いに経験は少なかったですが、教育に対する情熱を持った同僚と共に看護や、教育について話し合ったことが良い思い出になっています。

担任をさせていただき、クラスで学校行事を企画運営する面では、教員としての自信のなさのため学生の主体性を妨げていた面が多くありました。今では後悔の気持ちがありますが、素直な学生たちの力に助けられていた気がします。

実習においては、学生や病院のスタッフの皆様と共に看護について考え、話し合いを重ねたことが印象に残っています。普段の教室とは異なった面を見せる学生が多く、患者さんのために何かしたいという思いを実感しました。また病院のスタッフの皆様は学生に看護を学んで欲しい気持ちを強く持っている方が多くいました。意見の相違もありましたがお互いの看護観・教育観を考える良い機会ともなりました。

多くの卒業生を育て、看護師として地域の人々に貢献できている現在を振り返り、私もその一員として少しでも役に立つことができたことを大変嬉しく思っております。そして新潟看護医療専門学校時代に培った力を今後も生かして教育に携わっていきたいと思っております。今後の卒業生のご活躍と新潟看護医療専門学校のますますの発展をご祈念申し上げます。



創立15周年に寄せて

新潟看護医療専門学校 看護学科 教務主任 小 栗 妙 子

開校15周年、誠におめでとうございます。講義を担当して下さった皆様、また、臨地実習におかれましては、学生の受け持ちを引き受けて下さった患者様、臨地実習指導者をはじめ、多くの実習施設の皆様に心より感謝申し上げます。私自身、記念すべきこの時を在職中に迎えられたことは非常に嬉しく思っております。

開学2年目に入職した当時は振り返ってみたいと思います。入職早々、1回生の初めての領域別実習の引率を行いました。数週間前まで現役看護師だった私は、学生にどう接したらよいのか、何を伝える必要があるのか全くわからず、実習指導など程遠く、戸惑いの連続でした。新しい環境にも慣れず、何度か臨床へ戻りたいと思っていました。しかし、学生の皆さんが、患者さんのために真剣に向き合う姿に救われ、教わることが多々ありました。その後、数年間かかりましたが、学生の皆さんと共に『新潟看護』の歴史を刻み、看護を探究し続けることは面白いと実感できるようになりました。

あれからあっという間に15年が経過しました。高齢社会の一途を辿る中、社会情勢も大きく変化し、本学の学生層も様変わりしました。様々な経歴の皆さんが、それを強みに変えて年代を超え、看護師になることを目指して学ぶ姿は尊敬に値します。

今後、医療職の担う役割として、病院や行政に留まらず、多くの職種と連携し、コミュニティを広げていく必要があります。また、様々な異文化の方々と共生し、あらゆる分野に携わっていくことが求められています。

多方面の分野において、社会で貢献できる方々が陸續と誕生されることは本校の財産です。そして、私たち、看護教員は人の命に関わる責任と使命ある本学生の皆さんを大切に育てていきたいと思っております。これからも、縁あって『新潟看護』を選択して入学下さった皆さんと看護を学び、共に成長していきたいと思っております。卒業生がそれぞれの立場で、益々活躍の場を広げ、飛翔していくことを強く願っております。



初心を思い出させてくれた演習

新潟看護医療専門学校 東洋医療学科 教務主任 横木 宗 晴

新潟看護医療専門学校が創立15周年を迎えられる記念すべき年に携わることができ大変感慨深く思っています。

東洋医療学科は平成22年に村上から移設してきました。そのため、今までなかったイベントやボランティア活動に参加させていただき、東洋医療学科の学生に貴重な体験をする機会をいただき感謝しております。

看護学科の先生方が試行錯誤を重ねて運営してきた自治会活動や各イベントはどれも学生育成につながるもので、一緒に様々な活動の運営に参加させていただくことにより我々教員も大変勉強になっています。そして今まで積み上げてきた新潟看護の歴史の重みを感じました。

私は平成24年に新潟看護医療専門学校東洋医療学科に入職した。0からの授業準備、1年生の担任業務、不慣れな学生指導などで毎日が慌ただしく過ぎていきました。

8月下旬に毎年実施している栗島演習があります。栗島は無医村地区のため、鍼灸治療の可能性があることができる3年生には大変貴重な体験ができる演習です。この演習は村上校時代から始まり10年以上続いています。

初めて参加した栗島演習は、驚くことばかりの連続でした。ベット代わりに座布団を床に敷いての施術のため、今までベットでしか施術したことがなく座りながらの治療は不慣れで大変でした。問診では、痛む箇所や辛い箇所など細かく問診したいのですが、方言が強いため話の半分以下しか理解できず指で痛む箇所を教えてもらい施術しました。それでも、島民の方は親切に笑顔で質問に答えてくれたり、色々なことを話しかけてくれました。

施術が終了すると『楽になったよ』『ありがと、痛みがとれたよ』と声をかけていただき胸が厚くなりました。自分が取得した資格がこんなにも人に喜ばれる資格だと身をもって知ることができました。

私は「鍼灸治療の良さを少しでも多くの人に伝えたい」という思いがあり教員の道を進むことを選びました。この栗島演習で忘れかけていた初心を思い出させてくれました。

現在も栗島演習は続いています。今では、島民の方に『今年も鍼灸治療にきたんだね』と声をかけていただくことが多くなり、栗島演習が認知されてきたことを感じています。

これから東洋医療を学ぶ学生に、鍼灸の良さや私が栗島で感じた『鍼灸治療で人を喜ばすことができる』ことを伝えていきたいと思っています。



看護学生から看護師、そして看護教員になって

新潟看護医療専門学校 看護学科専任教員 有本 真 弓

私は小さい頃から看護師になりたいという夢があった。その夢を実現するために本校に入学した。看護とは何か、対象にとって自分はどのようなことを大事にして関わりたいのかという看護観を培う授業のなかで、欠かすことができない臨地実習は一番心に残っている。実習では受持ちの対象の看護を通して、私の未熟な援助でも満足していただき、看護をする喜びを感じることができたこともあれば、時には辛く厳しい実習もあった。そんな時、いつも同じ夢を持つ仲間と励まし高め合い、また、親身になって温かく指導して下さる教職員の先生方の支えのなかで夢を追い続けて過ごした三年間は、私の人生のなかでも充実した最高の日々であった。今でも変わることはない温かい環境のなかで看護を学び、本校の卒業生であることを誇りに思っている。そして、看護師になる夢と看護教員になるという夢が実現できる素晴らしい学校であるとも感じている。また、入学した頃の校舎はどこも真新しく綺麗で、私たちを歓迎してくれているかのようにあり、伸びのびと快適に過ごしていたことをつい最近のように思い出す。そして、この学校の歴史をクラスの仲間と教職員の方と共に一から創り上げ、現在もすべてのことが良い方向に発展して受け継がれていることを目の前に、とても嬉しく思う。

そして、看護師として心強い同級生や後輩がいる病棟で数多くの対象と関わってきた。生命の危機状態にある患者様が看護の力で回復し、笑顔で退院していく姿に看護の魅力を多く感じてきた。これは、今でも学生に看護の素晴らしさを語るエピソードとして深いものになっている。また、学生担当をするなかで、実習生と対象の看護について一緒に考えることはとても楽しくやりがいがあった。それから徐々に看護教育に興味を持ち始めて看護教員の道にすすんでいきたいと思うようになった。

今は、縁があって本校の看護教員になりまだ僅かであるが、臨床とは異なる教育の難しさを感じることも多い。しかし、学生のパワーを感じながらの授業のあとは、「もっと学生の心に伝わる授業がしたい!」と私を奮い立たせてくれる。今後も学生と共に学び合いながら人間的成長をして、学生を応援できる教員を目指していきたい。



新潟看護医療専門学校での10年を振り返って

新潟看護医療専門学校 東洋医療学科専任教員 白 野 吉 明

鍼灸実技室の窓から外を眺めると、卒業して丸6年が経過した今でも同級生のKが学校に向かって小走りに急ぐ姿が見える。私にとってこの学校で過ごした3年間は、夢うつつの時間であった。普通のサラリーマンなら職業人としてソフトランディングを考える年齢になってから入学し、家族を驚かせ心配も掛けた。また在学中に娘が嫁ぎ、花嫁の父が学生というあまり普通の人生でできない経験もした。年齢的に後戻りも失敗もできないという現実に脅迫されながらも、数十年ぶりに学生に戻られた毎日を楽しんでもいた。覚悟を決めて入学したこともあり、小、中、高、大学含め19年間の学生生活で最も充実した日々を送り、最も学生であることを楽しんだ3年間でもあった様に今は思われる。

そんな私は、今また6年前と変わらず毎日母校に通っている。変わったのは、教室内での立ち位置で、以前は窓から差し込む光を左側で受けていたが、今は右側で受ける時間が多くなった。この寄稿依頼を頂いて、私は私にとっての新潟看護医療専門学校を見直してみた。

何故、最も充実した学生生活を過ごせたのだろうか？それは、単に入学前の覚悟によるものだけだったのだろうか？いや、覚悟も要因の一つではあっただろうが、決してそれだけではない。そこにこそ本校の魅力があったのではないかと考える。

まず考えられるのは、学生と教員の距離感である。これは、決して私の年齢的な問題でなかっただろう。そこには今まで経験したことのない距離感があった。しっかりと境界線は存在するが、直ぐ身近にも感じられる居心地の良い距離感を感じていた。この距離感は、私が在籍した東洋医療学科の先生に対してのみならず、看護学科の先生に対しても同様の距離感を感じていたことは言うまでもない。更に、巨大化しない学校の規模も魅力なのではないだろうか。だから私は、今でも年齢的には遥かに年下の看護学科の先輩とも交流をもたせて頂いている。今後、変化を恐れず大きな変革をすることも大切であろうが、この距離感、この規模の維持は、基本的に変化させないで欲しいとも考える。

15周年を迎え、新潟看護医療専門学校に縁を持たれた全ての皆さんが健康で満足できる毎日を過ごされることを心より祈る私である。



社会福祉学の授業から

新潟県立大学 教授 植 木 信 一

「今の私は、どうしても看護師資格を取得しなければなりません。」これは、過去に私の授業（社会福祉学）を受講した新潟看護医療専門学校の2年生（当時）が、課題レポートの補足として書いた文章です。その理由は、次に続く文章でわかります。「私は訳あって、子育てをしながら看護師資格取得を目指しています。周りの学生たちよりも随分年上ですが、一念発起して新潟看護医療専門学校へ入学しました。」

私は、非常勤講師なので、週1回それも僅かな時間しか学校にいません。したがって、在校生のようすや生活の背景については、まったく知らないまま授業を進め、終われば帰ります。しかし、前述のような文章から、切実な想いで学校に通っている学生もいるのだと知ることができました。

私の教えている内容は社会福祉学ですので、看護学とは直接関係が無いといってもよいでしょう。学生たちは、国家試験合格に向けて必死の勉強をしているので、授業では、国家試験に出題される社会保障や介護保険を中心に解説することになります。ある日、社会保障や介護保険のこと以外でも次のような授業を学生たちに伝える機会がありました。

それは、「子育て支援」に関することです。子どものコミュニケーション能力が発達するには、親子が一緒にいる時間の「長さ」ではなく、短くても「密度」の濃い時間の共有と継続が大切です。一般的には、親子が一緒にいる時間の「長さ」が問題にされるのですが、それは間違いです。たとえば、保育所に通う子どもの保護者は、心の中では「申し訳ない」と思っているかも知れません。なぜなら、子どもが保育所にいる時間が長ければ、相対的に、親子が一緒にいる時間は短くなるからです。しかし、保育所に通う子どもが発達しないという科学的な根拠はありません。要は親子が向き合う「密度」なのです。

前述の学生は、このような「子育て支援」の授業に反応したのでしょうか。このように文章を続けます。「私は、勉強と子育てのバランスにとても悩んできました。しかし、これからは、勉強を続けながら、子育ても両立できることがわかりました。がんばります。」

みなさんは、いろいろな想いをもってあこがれの看護師を目指しているのですね。困難のなかでもみなさんの夢が実現できますように。いつも応援しています。



患者の視点からみた看護について

新潟大学大学院自然科学研究科 教授 田 中 環

創立15周年、おめでとうございます。私が、本校にお世話になるきっかけは、平成15年に新しい看護専門学校がみずき野の地にできることが分かり、情報科学の講義を担当するお話を頂戴した時です。当時は、まだ、学校の建物もなく建設が始まろうとしていました。私自身は医療関係者ではないのですが、特定疾患の難病を患っていることもあり、大学病院などに何度も入院・手術を受けておりました。そのせいか、看護師（当時は看護婦と呼ぶことが当たり前でした）が身近な存在でもありました。入院中にベッドの上から眺めた経験から、看護師の方々の苦労や抱える問題などある程度わかっているつもりでした。そして、本校で授業を担当するようになってから、私がその経験談を語るとき、学生の皆さんが身を乗り出して聞いてくれる態度にいつも嬉しくなっていました。コンピュータを使った実習はとかく私語が多くなるものですが、その時ばかりは真剣に聞いていてくれました。

平成16年1月に第1回目の入学試験が行われることになり、数学の問題の作題を依頼されました。当時は、まじめな問題を出してしまい、思い出してみると難しすぎたのではないかと反省をしております。しかし、入学してきた学生さんたちはとても真剣に授業に取り組み、また、学校内ではいつも明るい挨拶をしてくれます。それは、今も変わりません。たぶん、それが本校の校風なのではないでしょうか？私自身は人見知りをする方なので、廊下ですれ違うたびに挨拶してくれる心地よさは私の心を温かくしてくれます。そして、心の中で「この子たちなら立派な看護師になれるに違いない」と思ってしまうます。患者にとって、自分のわがまを理解してくれる看護師の余裕と優しさが重要だからです。挨拶はその最初の一步になると信じています。

平成22年4月より東洋医療学科が新たに設置され、学校名も「新潟看護専門学校」から「新潟看護医療専門学校」へ変更されました。そして、（現在は担当していませんが）情報処理という新たな科目も担当させていただけることとなりました。創立より早15年の月日がたち、たくさんの思い出もあります。本校が、今後も看護や医療の職業人育成に重要な役割を果たす学校として発展し続けていくことを祈念して筆をおきます。



講義をめぐる断想

新潟リハビリテーション大学 初代学長・本校元学校長 大 澤 源 吾

開校初年度から「医学概論」と「疾病学」の内科領域の講義を担当させていただいている。当初は、それまでにわが身に着けた知識を整理し、基本的な事項を再学習してまとめるのに有り難い機会と捉えた。臓器ごとに構造と機能をまとめ、中心的な疾病を重点的に採り上げ、わかりやすく、と心がけた。しかし、期末テストの結果は、思うほどこちらの気持ちは伝わっていなかった。

翻って己の学生時代を振り返ってみても、講義をしてくださった大勢の方々のそれぞれの話し癖などが今でも鮮明に蘇ってくるのだが、講義内容は殆ど記憶にない。ふと講師がもらされたつぶやきなどが妙に記憶に残っている。ある教授は「医学の勉強ばかりしている奴はバカだよ。1つでいいから専門以外の学問をマスターしておけよ」とつぶやかれた。今になって、それが「大切なことを訓えて下さっていた」という思いが強い。生徒諸君よ、期末試験、国家試験と学習の機会がこれからも続くのだから、テストの成績など気にしないで気楽に青春を謳歌し、身体を鍛えておけよ！

今世紀に入ってから、殊に最近の4～5年の間に医療がはっきりと様変わりした。例えばがんが薬で治る病気になったのである。20世紀後半における免疫学及び分子生物学的解析の進展や遺伝子解析技術の進展がもたらしたものである。極めて学習し甲斐のある、楽しい領域だが、がん患者の一部にしか有効ではないし、どのようながんにも有効なのかを見分ける手掛かりが模索されている現状で、副作用も隠れている。世界的に発展途上で未完成な部分が多いため、教科書にも断片的にしか載っていない。小生の下手な講義では分かってもらにくいのだ。生徒諸君の忍耐力にひたすら感謝するのみである。

“がん”に限らず、いろいろな疾病の治療法がこれからめざましく、そして急速に変化していくに違いない。生徒諸君が資格をとって、実務に就いてから後の“学習継続”のほうが、これからさらに重視される時代になるであろう。

看護の対象となる“人間”の本質を理解すべく看護以外の何かに、文学？歴史？心理学？哲学？生物学？……、好きになれる隣接領域の学習に、3年間の中で夢中になって欲しいのだ。それが看護に役立つ時代が必ず来るから。



小児疾患講義担当

やぎもと小児科 柳 本 利 夫

創立15周年、おめでとうございます。

毎年、春になると2年生の小児疾患の7回の講義を担当させていただいております。青空にヒバリの声がする気持ちの良い季節での授業は私にとっても一年の生活のアクセントになっております。

私が小児看護援助論Ⅱの授業を始めて担当したのは平成17年6月7日でした。創立の翌年からですからもう14年になります。私は小児科開業医ですので、小児医学の教育者ではありません。まして、小児の看護技術については専門外です。ただ唯一の利点があるとすれば、毎日小児科の外来診療を行っているという点です。その経験を生かして、日ごろの小児診療でよく見かける病気、しかし、その中で見落としはいけない症状、ベッドサイドで看護者が注意すべきことなどを伝えられるといいと考え、自分なりの資料を作って講義に使っています。それにしても教えなければならない疾患の数は多く、伝えきれない内容も多々あります。結局は臨床に出てから疑問に思ったこと、ヒヤリとした体験などをきっかけに自分で教科書や文献を開くことで、本当の実力がついてきます。現場で出会う患者さんはひとりひとりの病状があり、それぞれの事情を持っています。医療者として常に緊張感を持続しながら、しかし人として親身に援助していく看護者であってほしいと願っております。



下関はりきゅうマッサージ 新 村 孝 雄

この度は創立15周年、誠にありがとうございます。

まだ、御校にお世話になって4年しか経っておりませんが、僭越ながらご挨拶させていただきます。私は今でこそ御校の東洋医療学科で教壇に立たせていただいているものの、以前はそのライバル校の専任でした。

そういった観点から、御校の強みを挙げさせていただきます。

まずひとつは、学校全体で取り組んでいらっしゃる地域奉仕活動です。

学校経営ということを考えると近年の専門学校は全国的に、入学者の増加や学力の向上につながらない行事を「無駄」と考え、切り捨ててしまう傾向にあります。

その流れに抗って地域貢献活動を継続してくのは並大抵の努力ではないと思います。学生も負担に感じる人もいるでしょうし、教員の苦労も少なくはありません。しかし、地域貢献活動は医療人・社会人としての「姿勢」を育む絶好の機会であるように感じます。地域の方々と学生が顔の見える関係になってこそ、地域も学校に対して愛着が沸き、学生も学校を離れたところでの立ち居振る舞いに自ら責任を持つようになり、良い相乗効果をもたらすと思われます。

もう一つは、東洋医療学科が地域貢献活動の一つとして行っている「お灸教室」です。近年は医療の各分野で技術が高度に発達してきている一方、治療よりも予防に力を入れることが当たり前になってきました。お灸はその最たるもので、日本でもそういった意味で江戸時代には爆発的に民衆に広まりました。鍼灸における中国での古典書籍で最も古いものは、お灸のやり方を民衆に説いたお灸入門書です。

お灸は歴史的に民衆ができる身近な予防医学でありました。それを現代に復活させ広げようとする動きは、すでに全国的に行われ始めています。この業界の人間しか知らないことですが、実は新潟県はお灸で使われる艾（もぐさ）の生産量が日本一です。教科書にも載っています。そんな特色を持っているのにお灸があまり普及していないのが新潟県です。県内でのお灸普及活動は鍼灸師がチラホラ行っている程度で、業界団体・教育機関で常時行っているのは御校だけなのです。業界の牽引役をかっていただいているようなものです。

そういった意味でも、とても有意義な活動だと思われます。学生も教員の方々も大変だとは思いますが、是非、「業界を牽引しているのだ」という誇りをもって、継続していただきたいと切に願います。



新潟看護医療専門学校創立15周年記に寄せて

東京医療専門学校 鍼灸・マッサージ科 平井 顯徳

新潟看護医療専門学校東洋医療学科の前身である新潟リハビリテーション専門学校鍼灸療法学科が、村上の地に新設されたのが平成12年の4月で、当時は日本海側初の私立はり師きゅう師養成校でした。

平成14年4月、開校3年目の鍼灸療法学科に新任教員として私が赴任した年、新潟看護専門学校の開設準備室も、同じ村上の地に設置されました。当時、鍼灸療法学科の教員室は、理学・作業療法・言語聴覚の3学科とは別棟、現在の新潟リハビリテーション大学D棟に居を構えておりました。1科で使用するにはやや広い鍼灸療法学科の教務室は、新潟看護専門学校開設準備室とルームシェアされました。

新任教員の私は教務室に残っていることが多く、また準備室の業務も初めは具体的に動く段階ではなかったためか、当時すでにベテラン教員であった開設準備室の先生方には、時にご指導を賜り、時には励まされる日々を送りました。やがて開設準備室は新潟市に移り、準備室の先生方とお顔を合わす機会も少なくなりました。

先達の努力が実り、平成16年4月に新潟市西区みずき野の地に新潟看護専門学校が誕生しました。同年、村上で新潟リハビリテーション専門学校開設10周年行事が開催された際には、一回生40名余りの学生が連れ立って村上を訪れ、とても誇らしげだった印象が残っています。

平成22年、村上市にあった鍼灸療法学科が新潟看護専門学校と併合される際は、新潟リハビリテーション大学の設置準備に大わらわの時期でしたので、若輩者の私が学科移設の申請書類や、連日の県庁訪問、関東信越厚生局のヒアリングなどの業務に携わらせていただきました。今ではとても懐かしい思い出です。

改めて思い返しますと、一回生が第2学年となった平成17年より、村上から東洋医療の講師として出講させていただいておりましたので、平成28年に北都健勝学園を退職するまで、実に11年も新潟看護医療専門学校にお世話になっていたことに気づきました。埼玉に移り住んだ現在も、時々みずき野の田園風景や、新潟看護医療専門学校の明るく広い校舎を思い出します。奇しくも私の教員人生のスタートと同時期に息吹が芽生え、現在の私の根幹を築いてくださった新潟看護医療専門学校の末永いご発展を願うばかりです。

結びになりますが、新潟看護医療専門学校教職員各位のさらなるご健勝を心より祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。



この15年間の全てに感謝

新潟看護医療専門学校 教務副主任 相馬 奈美

私は開校年の平成16年9月に入職しました。なので私も15周年です。

教員になった頃、私は看護師としても教員としても自信を持って「わかる。できる。」というものはありませんでした。他の教員たちが何を言っているのか分からない。仕事を依頼されても、どうしたらいいのか分からない。まあまあ順調に生きてきた私にとって、初めての挫折という状況でした。この挫折は私にとって、相当苦しいものでした。それでも目の前の仕事をこなしていくしかない状況に、しみながらも踏ん張り続けた日々が長くありました。職場の同僚は、私の辛さを理解してくれ、いつも温かい励ましの言葉と態度を示してくれたので、何とか生き抜くことが出来ました。

初めて担任を受け持ったクラスの卒業式の時は、「やっと私を苦しめる人達から解放される…」と正直思いました。しかし、それ以上に離れることの寂しさを感じました。卒業式で学生の笑顔と涙を見た瞬間が、「この子達も頑張ってきたんだな。私も頑張ってきた良かったな。」と初めて自分を認めることが出来た瞬間となりました。それからというもの、私の中で卒業式は、癒され、励まされる場となっています。「あの時は、ああだったね、こうだったね。」と良いことも辛かったことも語り合える時間が、学生と共に自分を認めることが出来る時間となっています。

近年では有難いことに、実習施設の方々とも、学生の成長について語れる機会が増えました。学生の成長に関わっている自分を誇らしく思うと共に、そのような目で学生を受け入れてくださる実習施設の皆様との出会いを、大変有難く、大変嬉しく思います。

このように15年を振り返ると、同僚にも学生にも実習施設の方々にも大変恵まれた環境で仕事をさせていただいたのだと実感します。この場をお借りして、関わってくださった全ての皆様に感謝申し上げます。

もう15周年、しかしまだまだ15歳の若い学校です。より良い学校となれるよう、その中の誇れる教員の一人となれるよう、今後も努めていきたいと思っています。



学ぶパワーに感服！

新潟看護医療専門学校 英語担当 澁谷 啓

創立15周年、おめでとうございます。

私が御校で仕事をさせて頂いて10年になります。専門分野は英語ではあるものの、看護英語を教える事自体、私にとって大変新鮮で貴重な体験となりました。

病院で使われる英語の会話やフレーズには、確かに専門用語が頻出ではありますが、日常生活でごく普通に使われるものも多く、特に看護師と患者とのコミュニケーションには大切で、なくてはならないものです。生徒さんがよく「えっ！これ、看護英語でも使うの！？」と、驚くようなフレーズもあり、「語学とは、正に使うためにこそあるもの」ということに気づいて知ってもらうことは、教える楽しさの1つになっています。

最近の科学や医療分野の発見と開発研究はめざましく、今年ノーベル医学生理学賞を受賞した本庶佑京大特別教授のスピーチを聞いても、ゾクゾク興奮するものがあります。免疫の力で、がんと闘う「がん免疫療法」として画期的な治療薬開発が実現したわけで、こうした研究に伴って、医療や看護も新しい方向にどんどん進んで行くことでしょう。従って、学習内容もより高度なものとなり、看護生皆さんの更なる勉学への努力とその後の活躍が期待されるところとなります。

ケース・スタディ発表を拝見させて頂いたことがありますが、実習で得た貴重な経験や感じた悩みなどの真剣なプレゼンテーションに、感動して聞き入りました。生徒さんの中には、これまで全く別な仕事に就いていた人、専攻が看護とは異なった学部を卒業した人、子育て中又は終えた主婦など、色々な方々が見られます。それぞれ様々な状況の中で当学校で学ぶうちに、これから就くことになる仕事の意義と責任を日々自覚しながら将来の看護師として成長してゆくプロセスを見て、私自身がそのパワーをもらっている気持ちがします。

看護生の皆さんが自らの志を貫徹され、元気で卒業し社会で活躍されることを念じ、更に御校の益々のご発展をお祈りして、15周年のお祝いの言葉とさせていただきます。



新潟看護医療専門学校 看護学科 教員 関根 愛実

私は本校の看護学科を卒業し、看護師として臨床の現場に従事した後、2017年から教員として働いています。

私は、就職に活かせる資格を身につけたいと考えて看護師を目指しました。看護の世界がどのようなものか知らないまま入学しましたので、その後は解剖生理学や病理学、看護過程など専門的な学習に苦労しました。特に臨地実習は大変でした。慣れない人や環境に緊張して患者や看護師と上手く話すこともできずに落ち込んだり、正解の見えない看護過程が嫌になり病院の帰り道で泣いてしまったこともあります。資格を取得したいという甘い考えではいけないと実感し、学生生活を通じて徐々に看護師として働く意思を固めていきました。在学中、本校の先生方は厳しくも温かく指導して下さいました。看護の知識だけでなく、社会人としてのルールや接遇など人と関わる上で必要なことを教えて頂き、卒業して看護師として働くようになってからその教えの大切さに気がつきました。在学中は大変だった学習や実習も、今では全て看護師として働き続けるためには必要なことだったと実感しています。

本校卒業後は実習先の病院で働いていました。看護師として中堅と呼ばれる年数になった頃、本校でお世話になった先生方から「教員になってみないか」と声を掛けて頂きました。それまで教員という選択肢を考えたこともありませんでしたので、話を聞いた時はとても驚きました。臨床の現場を離れることに迷いや不安はありましたが、新たなことを学ぶ機会だと転職を決意しました。

現在、教員になって1年余りが過ぎました。臨床と教育の違いに戸惑うこともあります。周囲の方々に支えられ働いています。学生は年齢も生活背景も様々ですが、個性豊かな学生達から学ぶことがたくさんあります。本校が「人間尊重」を教育理念としているように、私も改めて「人」として育ててもらっているように感じます。教員としては未熟すぎる私ですが、これからも本校で学生とともに学び成長していければと考えています。



変革期を乗り越えて

山形大学医学部附属病院 副看護師長 宇津木 努

新潟看護医療専門学校創立15周年を迎えるにあたり、心よりお祝い申し上げます。

私は新潟リハビリテーション専門学校鍼灸療法学科に平成18年4月より教員として勤務し、平成22年4月から平成23年3月までの1年間、貴校の東洋医療学科教務主任として勤務させていただきました。貴校に勤務していた当時のことを振り返りますと、鍼灸療法学科を村上の学校から貴校に移設し、東洋医療学科を立ち上げ、校名を新潟看護専門学校から新潟看護医療専門学校へと改名して、新たに動き出した1年目ということもあり、楽しかったことや大変だったこと、様々な思い出がよみがえります。学籍移動の対象となった学生さん達には多大なご苦労をお掛けしましたが、学生さんを含め関係者皆様より学園の発展的変革にご賛同いただき、教職員と学生さん共にみんなで力を合わせて乗り越えた激動の1年間でした。当時、私の自宅が村上市にありましたので、自宅の村上から越後赤塚の学校まで、片道80km、往復160kmの道のりを車で通勤していました。毎日車の中で、ラジオや好きな曲を聞きながらその日の講義のシミュレーションをして通勤していたことを懐かしく思い出します。また、当時一緒に勤務していた私の恩師である平井顯徳先生、教員養成科時代の同級生の二本松明先生と、学校の将来や学生指導について、時には人生について、毎日のように語り明かしました。苦労も沢山ありましたが、今の私にとって、貴校での教員時代はかけがえのない時間でした。現在、私は地元山形の大学病院で副看護師長として内科病棟で働きながら、同大学大学院で公衆衛生学分野の疫学研究に従事しております。臨床と研究の場に身をおいて思うことは、これからの医療の現場で、看護師、はり師・きゅう師が果たす役割の大きさです。近年、医療技術の進歩やAI技術の参入により、医療を取り巻く環境も大きく変わりつつあります。しかし、どんなに治療技術が向上しても、人と人とのふれあいがなければ、患者さんの病気による様々な苦痛を本当の意味で癒やすことは出来ません。患者さんの心に寄り添える、まさに「人の心の杖となる」看護師、はり師・きゅう師が必要です。これからの医療を担う、幅広い知識と確かな技術、そして、患者さんの心を第一に考えることができる医療者の育成に最高の環境である貴校の益々のご発展と教職員の方々、学生さんおよび卒業生のご活躍を祈念し、結びとさせていただきます。



看護が見える実習に

桑名病院 看護部長 水澤 貞子

新潟看護医療専門学校が創立15周年を迎えられましたこと心からお祝い申し上げます。

これもひとえに、医療や看護の道を選んだ生徒の皆さんのたゆまぬ努力と、その誓いに応えてこられた校長先生を初めとする教職員の方々のご指導、さらには教育活動を支援してこられた保護者様方のご尽力の賜物と心より深く感謝と敬意を表します。

思い起こせば、私が桑名病院に勤務した頃と同時期くらいの開校だと記憶しております。

病院は、以前の住所から今の河渡に移転して来てから約2年後、その頃はまだ看護師に新しい教育の実習を受け入れる準備が整っていない為、臨地実習指導者養成講習に受講させて頂き、実習の意義、指導者としての役割の理解を深め、必要な知識・技術を習得し、看護教育の質的向上を図る事を目的に、学んでまいりました。今では、複数の指導者を養成することが出来ました事に感謝しております。

また、看護学生の変化も、部長室で発表する実習前後の挨拶の短い時間で、感じ取ることが出来ます。挨拶や返事はもちろん、実習の目的をしっかりと発表する事や、実習に対する意気込みや学びの大切さが十分伝わってくる時間でした。

1年生の時には、緊張で、不慣れな様子が見られますが2年、3年と実習を重ねていくと、だいぶ慣れて堂々とした印象があり最終学年の3年生はキリッとした責任感さえ感じます。統合実習では最後の集大成の実習でもあり、明日からでも働けるような、社会人基礎力を身につけて、より力が入っているように感じます。実習を通して、現場の看護師の働く姿をみて就職に繋がっているケースも多くなりました。これからは先生方の協力も得て、「看護が見える実習」に力を注いで、実習生と共に指導者も成長していきたいと思います。

最後に、今後ますますの新潟看護医療専門学校のご発展を祈念申し上げてごあいさついたします。



木戸病院 看護部長 武田 千秋

北都健勝学園新潟看護医療専門学校が創立15周年を迎えられたこと、謹んでお祝い申し上げます。「学生一人ひとりと共に考え、看護学、東洋医学を学んでいく」を理念のもと、学校長先生はじめ教員の皆様、関係者の皆様には、輝かしい発展を遂げられ今日の日を迎えられましたこと心よりお祝いを申し上げます。新潟看護医療専門学校はこれまで多くの優秀な看護学生を輩出してきました。当院は、新潟看護医療専門学校看護学科第一期生の臨地実習から係らせて頂いています。先輩看護師として根拠に基づいた看護とは、患者様に寄り添うとは何か、学生の皆様と共に学び考え、日ごろ提供している看護を振り返る貴重な機会となっています。

当院の看護職員は、外からは「優しく親切」、内からは「働き者」、看護学生や就職してくる新人には「優しく丁寧」という評判があります。実際、新人看護師をいかに育てるかということについては毎年の課題としています。幸いにして新潟看護医療専門学校の卒業生も多く、看護師としての後輩を育てるという熱意を持った看護職員もいます。在院日数の短縮化により、実習を効果的に行なうことに苦慮されたこともあるでしょうが、実践能力の高い教員が臨床と連携して、学生の指導に当たり、臨床の指導者とはとてもよい関係が取れていると感じています。学生にとっては臨床とよい関係が実習の成果につながります。これからも双方よい関係を築いて新潟看護医療専門学校の卒業生としての誇りを持てる学生を育てていってほしいと願っています。

当院で働く仲間にも第一期生～卒後1年の卒業生が多く勤務しています。看護実践能力、人間関係能力、倫理的側面など学生時代からの成長を目の当たりにしてきました。それぞれの教員の皆様が日々取り組んでこられた教育活動が基礎となり能力の習得につながったものと確信しています。新潟看護医療専門学校の皆様に感謝いたしますとともに、益々のご発展と皆様の益々のご健勝、ご活躍を心より祈念いたします。



創立15周年に寄せて

佐潟荘 看護部長 鈴木 晃

この度は、新潟看護医療専門学校創立15周年を迎えられ、ここに記念誌が発刊されますことを、心よりお祝い申し上げます。また、地域に貢献する優秀な医療従事者の育成に尽力されてきた、学校関係者の皆様におかれましては、同じ赤塚地域にある医療機関として、改めて感謝の意を申し上げます。そして、開校当初より、看護学科学生の実習病院として、また、専門分野の講師派遣など微力ながら協力させていただいている事を誇りに感じております。

さて、実習病院として学生を受け入れ、常々感じることは、教員の指導力の高さ、丁寧さです。実習では、どの学生もうまくいくとは限りません。戸惑いを強く感じる場面や、時に行き詰まり涙してしまう学生もおります。教員は個々の学生の特性を理解し、限られた時間の中、病院スタッフときめ細かく調整、連携し、学生だけでなく、病棟の実習指導者やスタッフのモチベーションも引き出し、有意義な実習となるよう努めておられます。また、実習生が訪れることは、慢性疾患を患い長期療養を余儀なくされている患者様にとって、新鮮な空気が入り込んだ時のような清々しさを感じさせてくれるひと時でもあり、スタッフにとっては、先輩として気を引き締めなおす良い機会となります。

現在、当院でも貴校の看護学科の卒業生が多く働いています。積極的で向学心が強く、高い倫理観と、それぞれが看護師としての理想像をしっかりと持っており、様々な場面で中心的な役割を担い、なくてはならない存在として活躍されています。

これから更に本格化する長寿社会に向け、地域医療、介護、福祉、保健などの各分野の質の向上、協働連携が求められています。活躍のフィールドも多様化し、高い専門性に基づく的確な判断力と行動力、柔軟な思考と創造性、コミュニケーション能力など総合的な力がより生かされるようになるでしょう。人口減少と少子化が進む中、地域において優秀な人材を育て、確保していくことは大きな課題であり、この新潟看護医療専門学校に更なる期待が寄せられている事は間違いありません。これからも地域に必要とされる素晴らしい人材育成に寄与されることを願い、また、貴校の益々の発展を祈念し、お祝いの言葉といたします。



鍼灸医学の特徴と有用性

鍼灸 林語堂堂主

(一社)新潟鍼灸手技療法協会監事 榎本 定夫

鍼灸医学の基礎理論は3本の柱から成り立っている。

1) 移り変わる自然現象の法則を説明する陰陽・五行説

2) それを人体構造に当てはめた臓腑・経絡説

臓腑には精神作用があり感情を支配している

経絡は臓腑とつながり、左右に各12本あり全身を巡る

3) 経絡の流れに沿って身体を一周し、生命を維持している気・血・水循環説

これらの理論を基礎として健康を維持増進するには養生法があり、心の乱れや不摂生その他により自然治癒力低下して病を発症させる。心の持ち方を重視するこの考え方は釈迦の教えにも共通しており、さらに古代のヒポクラテスは「医者の仕事は自然治癒力に手を貸すことだ」と考えていたという。

私は初学の頃は、西洋医学と東洋医学の並行学習の理解に戸惑ったが、年齢を重ね経験を積むにつれて東洋医学の自然観に馴染むようになってきた。鍼灸の治療は症状の改善を目標としつつ、自然の法則に従うように身体の機能を調整するものであり、病を治すのは自然治癒力であることを日々の治療で実感している。

患者さんの心と体が楽になり、術者は治療が楽しくなり、それにより社会が活性化するならば三方良しである。現状は医療分野における鍼灸の活用は不十分と言わざるを得ないが、介護者や被介護者の健康管理・勤労者の福利厚生などの広範囲に活用される可能性があり、このような社会の要請に答えられるか否かは鍼灸学校の内容にかかっているといっても過言ではない。

修業年限4年の高度専門士課程、さらに高度専門職業人を目指す者には修養年限2年の専門職大学院修士課程などを視野に、より充実した教育内容が近い将来には求められる時が来るであろう。本校がその先駆者となり、さらに飛躍・発展されることを創立15周年にあたり大いに期待している。



創立15周年を迎えて

社会医療法人新潟臨港保健会

新潟臨港病院 看護部長 高橋 恒子

新潟看護医療専門学校が創立15周年を迎えられましたこと、心からお祝い申し上げます。

急激に少子高齢化が進んでいるなか、看護職の活躍の場は、病院・施設そして在宅へと広がり、看護職に期待するニーズは益々高まっております。地域包括ケアシステム推進に向け「住み慣れた地域で暮らす」ことを支えていくには、“その人”をとらえるアセスメント力、調整力、そして質の高い看護実践能力が求められております。

貴校では、教育理念に「学生一人ひとりと共に考え、看護学、東洋医学を学んでいく。これが当校の理念です。」と掲げ、個性を尊重した教育に取り組まれていますことに敬意を表したいと思います。現在、当院にも多くの卒業生が活躍してくれています。

実習開始前に学生の皆さんが、看護部長室で挨拶をしてくれます。いつも微笑ましく思います。学生さんが、一生懸命に患者さんと関わり援助する姿は、現場で働く看護師に刺激を与えてくれます。人の人生に関わることができる素晴らしい仕事が看護です。今後も、よい実習環境を整え、主体的に考え行動できる人材育成に取り組んでいきたいと思っております。

最後に貴校のさらなるご発展を祈念しお祝いの言葉とさせていただきます。



創立15周年に寄せて

みずき野東自治会 会長 五十嵐 敏 行

創立15周年を迎えおめでとうございます。

みずき野東自治会としては、新潟看護医療専門学校さんには、2010年より自治会の総会に講堂・機材をお貸しいただき、2011年より災害時の避難所として利用できることをお願いしており、大変お世話になっております。

赤塚駅の目の前に位置し、みずき野のシンボルともいえる存在で、この度15周年を迎えられるということは、自治会としてもうれしく、誇りに思うところです。

最近、貴校前の歩道の清掃も、生徒さん及び自治会内企業と協力して達成いただき、お礼申し上げます。また、みずき野東・西自治会の垣根を越えて進めているワークショップに先生方をはじめ多数の生徒さんも参加し、さまざまなご意見・ご協力をいただき、その成果として、駅前に「クリスマスツリー」が設置され、その様子が新潟日報に掲載されました。この地域が良いことで新聞に取り上げられることは喜ばしいことの一つです。また、みずきの会（自治会の高齢者の会）向けのイベントも開催いただき、これからも楽しみにしております。

15歳と言えば、武士の世なら「元服」であり、大人の仲間入りです。当自治会も昨年、20周年を迎え成人となりました。若いということは、まだまだ、伸びる余地が有ることです。互いに努力して成長して行きたいものです。

過日、貴校の「ともしびの灯」の式典に初めて参加させていただき、生徒さんの「誓いの言葉」に感動させていただきました。決意を胸に、世界に羽ばたいた生徒さんがいつの日にか、当自治会に居を構えていただければ望外の喜びです。

当自治会へのご協力に感謝申し上げますとともに、貴校のますますのご発展と、先生方・生徒さんのご健康とご多幸を祈願いたします。



“常に学びの心を”

新潟看護医療専門学校 元学校長 紺 野 英 子

この度は創立15周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。私は平成19年から3年間学校長として在職いたしました。当時を振り返ってみると学生の一生懸命さと教員の熱意溢れる学校だったと思いを新たにしています。又お世話になった各病院の看護部長との出会いも慣れない土地での心温まる思い出の一つです。年々健康に対する考え方や患者様の価値観の多様化、また高齢社会が加速するなかで、私達看護師にもその対応が求められていると言葉だけではなくその思いを強く感じています。それは私事ですが一昨年後期高齢を機に仕事を辞め一息つく間もなく突発性難聴に、その後も歩行困難に、手術からリハビリと闘病生活に直面、退院後は多くの人たちに支えられ自宅での単身生活を開始しました。時には「老い」に「回復力」が勝つだろうかと気力と体力の限界を感じたり、些細なことに苦痛と不自由さとそして不安と不満と複雑な思いで過ごして一年余りになります。少し気力挽回をと最近参加したのが「フレイルの治療と予防・食を地域で支える」という歯科医師による市民講座でした。「咀嚼や誤飲」等専門的なことも含んだ、医療や介護に関わる多くの職種が連携し、チームとして取り組んでいる内容でした。「フレイルとは・・・加齢に伴い心身の活力が低下しそこに慢性疾患の影響もあり生活機能が障害され心身の脆弱性出現であるが、一方で適切な介入・支援により生活機能の維持向上が可能状態（参考資料抜粋）」フレイルのきっかけもライフスタイルの変化にあると「正に私自身の現状」でした。自分を振り返る機会にもなり学びにもなりました。支援を受ける立場になって知ることも多く、そのことが善意や配慮とわかっていても自分の想いとの違いに戸惑ったり負担になったりと支援を受けることの大変さも体験しました。改めて看護は提供する側と受ける側とのハーモニーが大切であることを痛感しています。学生の皆さんには常に学びの心をもって相手の立場を理解し対応できる看護師を目指して欲しいとおもいます。今後共貴校の益々の発展をお祈りいたします。



刊行によせて

新潟看護医療専門学校 元副校長 間島孝子

新潟医療専門学校が15周年を迎えられ、心よりお祝い申し上げます。

私は新潟白根総合病院(元白根健生病院)で勤務しており、このまま定年を迎えるのだろうかという日々の中にありました。看護の世界は2000年頃から看護大学や看護専門学校の設立ラッシュにはいりだし、当病院にも何校か実習の依頼があり、新潟看護医療専門学校もその内の一校でした。病院としては最初に依頼があった学校に決め、新潟県から承認を受け、他の学校は残念ながら入る余地がありませんでした。しかし新潟看護専門学校は老人保健施設や訪問看護ステーション等で実習の承認を得ました。一方、どこの看護部長も看護師不足で大変苦労しており、大学や看護専門学校が設立されることに大変喜びを感じていました。私に出来ることは協力し教員の紹介や臨地実習等の相談に乗っていました。

開学準備室は臨床実習施設の確保、看護教員の確保、教育内容の検討等で大変苦心され、特に厚生労働省から学校設立時に、学校の特色を出すことが求められてきています。どのような教育理念でどのような学生を育てるかが重要な課題かと思います。

県のヒヤリングも終了し学校の設立の許可を頂きこのまま順調に開校の運びとなると信じていました。ところが、開校間近の2004年2月に突然、的場理事長から私に副校長の依頼があり戸惑い、悩み、苦しみ、お受けする決心を致しました。

開学と同時に2004年(H16)に副校長に就任をいたしました。臨地実習施設が圧倒的に不足していましたので、あちこち駆けずり回り、木戸病院には多大な協力を頂き、多くの場所に実習の承諾をうけ感謝しております。

開校にあたり多方面から看護の教員が集まりました。それぞれの教育背景、価値観の相違から対立したり落ち込んだり涙した日もあり、出来ることも出来なくなりましたが、これから看護を担う若者たちを育てようと一生懸命でした。しかし病院の看護部長職と副校長職は全く環境が異なり、問題解決はトップとしてのリーダーシップが求められ、心と体が悲鳴を上げてしまい退職に至ってしまいました。

最後に多くの学生が、新潟看護医療専門学校で看護学を学び、看護を实践する医療人として、誇りを持ち巣立っていくことを切に願っております。



われ なんじ 「我⇔汝」から「心の杖」を受け継いで

前評議員 海藤是夫

平成19年3月第1回卒業式を思い起こしています。理事長、教職員、保護者皆様を挙げてこみ上げる感涙と喜びの期待を受け止め、第1回生が巣立っていきました。

「はまなす第4号」(平16月年1月)に、設立準備室・秋田真理子副校長が待ちに待った厚労省の開校指令書を受けた喜びと共に人間愛に基づく人間看護を徹底するケアリングを語られました。これが「学校案内」に「我⇔汝」を基盤とするケアリングの宣言となったものでしょうか。哲学的背景を窺わせ、私には極めて印象深いものでした。

続く「はまなす第5号」(平16年5月)には、的場已知子理事長が第1回入学生を迎えた喜びと共に、10周年を迎えた新潟リハビリテーション専門学校と共に姉妹校としてお互い刺激し合い、より高く統合的に医療を实践できる人材育成を目指したいとする理念を高らかに表明されました。

このように開校以来、学園全体に漲る理想を掲げ、今日に至る実績を上げてこられたことに大いなる敬意を表したいと思います。

個人的な感懐ですが、私たちの学生時代は実存の哲学や文学に共鳴した世代で、M. ブーバーが提唱した命題、即ち「我(Ich)⇔それ(Es)」の関係の一方で「我(Ich)⇔汝(Du)」の実存的関わりこそが人間の真の存在を与えるというテーゼは印象的なものでした。この命題は時には公教育でも話題とされて来ましたが、患者と全人格的関わりをなす看護の理念として本校創立時に掲げられたことは大変感銘深いものでした。以来校史を刻みながら、これを一層具現化して「人の心の杖となれ」との学園理念として学生、教職員に共有されていることを心から頼もしく思っているところです。

不易の人間愛を縦糸に、進歩する医学の知を横糸に織りなして、地域医療に貢献できる人材育成を目指して更なるご発展をお祈りします。



ふと振り返ってみると

非常勤講師 岡 野 崇 彦

開校時から「健康とスポーツ」という、大きなテーマのもとに講義を続けてきました。

講義のメインテーマは「体力とはなに」でした。体力の大切さや重要さは、健康志向や高齢社会と相まって、多くの人の知るところです。

将来、看護師を目指す人たちにとって、在学中はもとより、将来においても存分に活躍するために「体力」について考え、心身ともにしっかりと自身の持つ力について知っておくことは、その出発点と考えたからです。

在校生の傾向の一つに、年齢幅の広いことが挙げられます。体力に関する不安感、切迫感が低いようで、年齢による違いが感じられました。しかし、各年齢に共通していえることは、加齢による体力の変化や低下は避けられないことから、現時点では少しでも体力レベルを高めておくことが望ましいということを確認してきました。

体力は日頃から準備しておかないと、いざという時に、間に合わないものです。日常的に簡単な筋力トレーニング、ストレッチ、少し早く歩く等の運動を続けることによって、心身に小さな変化を起こさせることが期待できます。お気に入りの運動を継続することによって、体力の維持、向上という変化をきつと手に入れることができると思われます。

体力を維持しよう、向上させようといろいろな運動を一緒にやってきたこの講義を、ふと振り返ってみると、心身ともにいつまでもしっかりと働き続けたいという自分自身の体力維持に繋がっていたようです。この講義を担当させていただいたことに、感謝している次第です。

ますます高度化、複雑化が進む社会で、卒業生をはじめ学校関係者の皆様が、長らく元気に活躍下さいますようにお祈り致します。



教師としての感慨

非常勤講師 佐 藤 舜 也

整形外科医を60年近くしているし、前に勤務した県立吉田病院の看護学校でも、運動器や解剖学など講義していた。看護学校から運動器の講義を依頼されたときは瀬波の整形外科の講義もしていたので気楽に引き受けた。老人病の講義を担当していた先生が不調になったので、代理に講義をして欲しいと、講義の依頼があったときはたまたま整形外科医が2人になって暇だったこともあり引き受けることにした。

はじめは高齢者である自分のことを話せばよいのかと思っていたが、中味をみると知らないことが多く、改めて勉強する羽目になった。しかし老人病を引き受けたことは私にとってたいへん為になった。眼科、耳鼻科、皮膚科、泌尿器科を含めて分からないことが多かったので、整形外科以外の科の講演会にもかなり出させてもらい、できるだけ最新の傾向を仕入れることにした。それで今世紀になってからでも医学はとても進歩していることも改めて認識できた。

個人的にも役に立って、妻が一過性脳虚血発作で左手の脱力を生じたときにも、予備知識があったのですぐに脳外科に運んで、その後に本格的な発作をみないですんでいる。

いつも講義の最後に話しているように、学校の成績は国家試験をパスする程度であればよい。問題は看護師になってからの勉強で、患者さんや同僚に信頼されるには、新しい知識の獲得を怠ってはならない。ということを経験したことを例に話している。

実地的なことを教えているわけではないのだが、4年前に初めて講義の終わり頃に気持ちが悪くなって教壇に倒れたときの対処は実に見事なものであった。すぐに頭を低くして、下肢を高くし、ベルトを緩めて、ショック対応の肢位としてくれた。的確な対応をしていると思って、はっきりしない頭の中で満点だなと感謝の念でいっぱいだった。お蔭様で大事に至ることもなく現在まで勤まっている。

病棟でも第1回生で2人の子のお母さんでもある石川(佐藤)さんをはじめとして常に何人かの卒業生と一緒に仕事している。多くの人は私のパソコンの先生でもある。同じことを何度も聞くのは認知症の始まりの可能性が高いが、優しく教えてもらえるのは老人としては有難い。この点では教師生徒の関係が完全に逆転しているのが現状である。



15年間の思い出

新潟県立大学、新潟医療福祉大学非常勤講師

本校元非常勤講師 松本 妙子

私の人生は新潟看護医療専門学校と共にありました。そしてたいへん充実した15年間でした。初めての10年間は新潟市内から通勤しましたが父が亡くなり、後半の5年間は認知症の母の介護のため長岡から通勤しました。

本校において心理学や人間関係学を講義することは、認知症の母親を生かす原動力となりました。15年以上認知症を患っている母の話しをすると、多くの学生さんが目をきらきらと輝かせて、私の話を聞いてくれました。中には涙を浮かべながら聞いている学生さんもありました。私は本当のことしか言いませんし、患者としての立場からの話しですから、興味深く感じたのでしょう。また新潟日報の窓に掲載された、認知症に関連した内容の私の投稿文を理解しての話し合いも学生さんに有意義な講義内容となったようです。講義中は居眠りをする学生さんもほとんどいなく、私の講義についてくださり感謝しています。

私はいつも、どうしたら学生さんのためになる講義内容を提供できるかを考え続けてきました。また患者さんとその家族の気持ちを考えて、仕事ができる看護師になってほしいと思い続けてきました。学生さんは私の講義内容から多くのことを感じ、感性豊かな人になり、今の社会を少しでも住みやすいものとなるように、看護の立場から変革してほしいと思います。特に社会問題にもなっている認知症対策について、認知症になっても看護介護する立場になっても、人としての尊厳が守られ、安心して暮らせる社会になるような社会的施策を考えてくださることを期待します。

私は愛知県や新潟市の看護学校に勤務し、最後は本校の看護学科で心理学や人間関係学などの講義をさせていただきました。さらに東洋医療学科でも1年間だけでしたが講義をさせていただきました。今まで約28年間、看護学校で大好きな心理学の講義をさせていただきとても幸せな時を過ごしました。特に本校での勤務は、先生方からも多くのことを学び、有意義な時を過ごしました。私の講義から元気を得たということ、また私の講義を一生忘れませんと話してくださり、またレポートにも書いてくださった学生さんを心から可愛いと思います。私に素晴らしい思い出と、認知症についての講義をする機会を与えてくれた本校に感謝しつつ、今後の発展を祈ります。



看護学校設立の使命と看護師養成の意義

元専任教員 森田 邦子

新潟看護医療専門学校の前身である新潟看護専門学校の設立準備室に専任教員として入職した。育成したい学生像を基本理念としてオリジナリティのある学校を設立しなければならない。且つ整合性を持たせた実践可能な教育計画を作成するのである。看護六法の保健師助産師看護師学校養成所指定規則等に照らし合わせながら具体を創り上げる。いかに良質な学習環境を学生に提供できるかを考えなければならない。その中でも特に苦労したのは、専任教員の選定と臨地実習施設の選定であった。いずれも法的な縛りが厳しく、一朝一夕にはいかなかった。また、学生の募集では高校生・教員、社会人を対象に、学校の特徴と強み等を伝え、入学に繋がるよう力を注いだ。事務職員と共に協力しながら開校の許認可を目指す作業は、多くの困難を要した。しかし、それ以上に期待感は大いのものであった。

晴れて開校が認可され、様々な背景を持つ学生が入学し、カリキュラムが進められる。その学生達に専任教員は、授業や学習の教育効果を高めるための教材を作成する。専任教員の事前準備と創意工夫が必要であり、常に思い悩む事柄である。

学生が授業等で学んだ知識を統合し、類推して実践する場が臨地実習である。学生は実習課題に取り組み、教員と実習施設（臨地実習指導者）はその指導とサポートを行う。臨地実習では学生の成長も大きく、教員も指導力を鍛えられる場となる。試行錯誤の連続ではあるが、問題点の改善に取り組みつつ、システムが徐々に構築される。

看護学校では、多くの人と関係機関が関わる。多大なる協力と助言があり看護学校が成り立っている。この関係性が本当に貴重なのである。

再度、村上市に姉妹校となる新潟看護医療専門学校村上校の設立をする機会が与えられ、開校に至ったことは大変嬉しく思う。

今後、人口構造の変化や経済状況等、社会の趨勢により看護学校の環境も変化していくであろう。それに柔軟に対応していかなければならない。専門的知識と技術を駆使しながら、患者および家族に寄り添い支援できる看護師の養成は、普遍的且つ必要不可欠であり、大変意義深いことであると感じる。貴校の益々の発展を祈っている。



回想

新潟看護医療専門学校 元教務主任・副校長 武藤 洋子

新入生の研修を粟島浦村で実施した事を思い出す。島ではタクシーもコンビニも必要なく、みんな顔見知りで犯罪はない。夏以外は警察官もいないという平和な村だ。学生の研修にはとても良い環境だった。老人会の人達から話を聞き、村内を案内してもらう。民宿では、朝からお刺身を頂き、豊かな村の生活を楽しんだ。そして、子どもが少ない・病院や高校がないなど深刻な村の事情も学ぶ事ができた。最近粟島浦村で、子ども留学が行われていることを知った。村のニュースを見ると、いつも親戚のように歓迎してくださった村の人たちを思い出す。村の情報から目が離せない。

新潟市では競合が激しく、新設校が実習施設を確保することは至難の技だった。手当たり次第に尋ねても、話のテーブルにさえ着くことができない。困難を極めている時、布施先生が「知り合いの院長に頼んでみようか」と声をかけてくださった。先生の人脈とお力があっても、施設確保は容易ではなかったが、八方塞がり状態の時は大変心強く嬉しかった。また、解剖学の苦手な学生に補講をし、職員の愚痴も弱音も聞いて下さった。今となつては、直接お礼を申し上げることも叶わなく残念に思うが、優れた先生を忘れない。

免許取得迄が看護学校の仕事と考え受験対策には当然力が入った。職員がチューターになり、学生4人に学習支援するプロジェクトチームを作った。主に学習相談や国家試験の過去問題を参考にミニテストをする。看護職員だけでなく、事務職員にも1年間協力して頂いた。通常業務の他に不慣れな仕事に加わりご苦労をかけたが、職員も学生も目標に向かって一丸となり取り組んだ。新潟国際情報大学の講堂を借りて、本番を想定した受験練習を実施。彌彦神社にて合格祈願も行った。老婆心は否めないが、悲願達成に一生懸命だったあの頃を懐かしく思う。看護師免許を取得された皆さんには、看護師として1日でも長く活躍し、有意義な人生を送ってほしいと願う。

万華鏡の様に悲喜交々が湧き上がり、出会った人のエピソードが蘇ってくる。学校設立から1回生卒業迄の5年間、沢山の学びと貴重な体験をさせて頂いた事に深く感謝する。

創立15年、多くの良き人材を社会に輩出されてきた御校が、平成の次の時代も、益々大きく飛躍されます様、心より祈念している。



『新看魂』（新潟看護専門学校・新潟看護医療専門学校 魂）

新潟看護医療専門学校 元事務局長 近 貴 司

新潟看護医療専門学校開校15周年おめでとうございます。

このたび記念誌への寄稿依頼により、開校前年に設置された準備室時代から在職12年間の懐かしい思い出を振り返るよい機会となりました。

JR越後線の越後赤塚駅前、まだ空き地が目立つ野原に基礎が打たれ、鉄骨が建ち、少しずつ建物が形になっていく過程を楽しみに眺めていたことを思い出します。

完成した現在の校舎正面玄関脇に定礎がありますが、実は私が揮毫しました。このことを知っている教職員は、現在ではもう少ないと思います。建築に携わった関係者のみなさんが、記念に私の字を残して下さったのです。その気持ちが本当にうれしく、開校に至るまでの苦労が吹き飛んだことを覚えています。

工事と並行して設置認可申請手続きも進められ、2004年4月、新潟看護専門学校(旧校名)開校、専修学校としての産声をあげ、真新しい校舎に記念すべき1回生が入学してきました。

それから毎年、数ある養成校の中から本校を選び入学してくれた学生たちに感謝し、夢を実現できるようサポートしながら、無我夢中で走り抜けたように思います。学生たちのためなら、辛いことも悔しいことも苦にはなりません。楽しいこと、苦しいこと、嬉しいこと、悲しいこと等々、数え切れないたくさんの思い出すべてがかけがえの無い宝物です。

国家試験に挑む学生たちへ『新看魂』で頑張れ！と激励してきました。夢を掴んだ卒業生たちは、日々進化する医療の現場において『新看魂』で頑張っていることと思います。

新潟看護専門学校または新潟看護医療専門学校を巣立っていった学生たち同様、この春、私も20年間の学園生活を卒業しました。卒業生たちに負けぬよう『新看魂』を持ちつづけ、これからも前へ進んでいこうと思います。



新潟看護医療専門学校での思い出と私

元東洋医療学科教員 鈴木 憲一

新潟看護医療専門学校では東洋医療学科の教員を3年間させて頂きました。2年間の教員課程を卒業して、鍼灸専門学校の教員免許を取得してすぐに入職しました。

卒業したばかりの私は教員の立場で新生と共に入學式を迎えました。こころ新たに新生活がスタートして、毎日新しい業務や行事など覚えることの連続でした。

新米の私に上司や同僚は公私ともに優しく丁寧に、そして厳しく接して下さり、日々感謝を感じながら新生活を送ることが出来たのを良く覚えています。

授業や学校行事、治療院での施術業務をしていく中で学生や学校に貢献したい、役に立ちたいという気持ちが高まっていったことを良く覚えています。

そんな気持ちになれたのも周りの人や環境に恵まれ、安心感とリラックスの中で仕事が出来たことに他ならないと思います。

ダレることなくリラックスできる環境で、学生は本来の素直な自分になれるのではないかと、そのような環境で安心して楽しく生活を送って学んでいくのではないかと私自身実感しました。

学校行事などでは学生の自主性を尊重し、教員も一緒になって楽しみ喜び時に涙しているのも印象的でした。自分がリラックスしている。楽しんでいる。学んでいる。人生のお手本になる教員がたくさん居る学校は本当に良い学校だと思います。

教員職から遠ざかり思うことは、当時は学生の悩みや相談と一緒に考え話し合ったことは覚えていますが、将来の夢や具体的な未来の話を一緒に話し合うことはあまりできませんでした。学生の内なる目標や人生の目的を引き出すことが出来ていなかったことが心残りです。そこが早い段階で引き出せていたら、もっと充実した学校生活を送らせてあげることが出来たのではないかと今でも考えます。学校を離れた今、教員生活での良い思い出と課題を胸に自分らしく生きているかを日々考え充実した毎日を送っています。

新潟看護医療専門学校と関わった日々が今を充実させています。学生もそう感じているに違いありません、きっと。



鍼灸が学べることに感謝。

東洋はり治療センター NEXT21 院長 池田 孝文

創立15周年心よりお祝い申し上げます。

私が現在の東洋医療学科の前身である新潟リハビリテーション専門学校の鍼灸療法学科を卒業し、はり師きゅう師の免許を取得したのが平成16年、創立された年に私も資格者としてスタートしました。

専門学校は専門職に必要な科目を中心に学びます。そこには同じ目標を持った生徒が集まって来ます。皆、自らが選んだ道のため、学習に自主性が芽生えます。時には仲間と協力し、励まし合いながら勉学に向かうことは大変に心地が良いものだと感じました。我々は国家試験合格を目標としているため学習は簡単ではありませんし、私にとっては非常に苦しいものでした。だからこそ、その先にある目標を達成したときの喜びと感謝は大きいものに成りました。

おそらく、この15周年を迎えるまでの多くの卒業生も似たような体験をしたのではないのでしょうか。それは、大変素晴らしいことだと思います。その体験ができたのは学校があったおかげです。

先にも触れた前身の鍼灸療法学科は晴眼者の学べる鍼灸学校としては、当時新潟県に唯一であり私が二期生となる程の新しい学校でした。それまで新潟県には鍼灸を学べるのは盲学校のみで、晴眼者は学びたくても学べなかった状況を見ると、県内に学校があるということは非常に感謝しております。

時々テレビなどでも鍼灸が紹介されることがありますが、現在の日本では治療の第一選択に上がる人は少ないように思います。本来はもっと身近な医療であり、小児から大人まで予防から身近な疾患、難病痼疾にも治療の選択の可能性があり、治療においては主となることも補助となることもできる素晴らしい医療なのです。しかし、どんな病気でも1回の治療で良くなる魔法のようなものではありません。東洋医学は現代では聞きなれない言葉が出てくるので理解されにくいことがあります、専門技術なので少し聞いただけでは理解は難しいのです。鍼灸の技術は手品のように見ている人には不思議でも、種も仕掛けもあり、その種を簡単に言いますと、まず体が元気になるということです。体が元気な方が治りがいいのは良くわかると思います。治療の難しい理論は施術者が考えます、皆さんはどうぞリラックスして受けてみてください。

この素晴らしい鍼灸を学べる場を創ってくださったことに感謝し益々のご発展をお祈り申し上げます。



三年間の学び

看護学科 平成18年度卒業 寺澤 美穂

新潟看護医療専門学校創立15周年おめでとうございます。

1期生として入学した私にとっては「もうそんなに経つんだなあ」という気持ちです。校舎や設備など全てが新しい環境に入学し、先輩がいない学校のため学校行事から白衣を決めることなど1期生で決めることができたのはとても貴重な体験でした。

看護学校で過ごした3年間はあっという間に過ぎましたが、たくさんの思い出があります。そんな中でも学生時代の思い出の大半は実習です。実習では1人の患者さんを受け持たせて頂き、病状の把握や看護援助をしました。最初の実習で受け持たせて頂いた患者さんは慢性期の病棟に入院されていた患者さんでした。最初の実習だったため、どの様にコミュニケーションをとればいいのか悩み、看護援助をさせて頂くことにもとても緊張したのを覚えています。約1週間の実習期間でしたが、患者さんから優しく声をかけてくださったおかげで徐々にコミュニケーションがとれるようになり、実習をのりきることができ患者さんには感謝しています。たくさんの実習を通して患者さんの病状や個性に合わせて安全・安楽に看護を実施することの大切さや難しさを学ぶことができました。実習中の自分の行動は患者様や周りのスタッフにも影響を与えるということに気づきました。しっかりと考え、自分の行動に責任を持ち振り返りをする大切さも学びました。また実習中辛いとき、悩んだとき支えてくれた友達・先生方には感謝しています。友達の頑張る姿を見て刺激をうけ、悩んだときには話を聞いてくれ、一緒に悩んでくれた友達の存在があったからこそ実習を頑張ることができたと思います。先生方からは厳しく時に暖かく指導して頂きました。看護師としての思いやりの大切さも教えて頂きました。

卒業して12年経ちましたが、看護学校で学んだことを大切にして、これからもより良い看護ができる看護師になりたいと思っています。



15年の歴史と重さ

同窓会長 看護学科 平成18年度卒 中原 穰

新潟看護医療専門学校の創立15周年記念誌の発刊、誠におめでとうございます。

在校生、教職員、保護者の方々と共に、心よりお祝いを申し上げます。

私は2004年の春、一回生としてこの新潟看護医療専門学校、当時はまだ新潟看護専門学校という名前の出来たばかりの学校に入学させていただきました。

真新しい校舎と先輩のいない学校がとても印象に残っております。

私は社会人経験後の入学であったため周りの同級生のほとんどが約10歳年下の人達でとても戸惑ったことも思い出のひとつです。その中にいた数名の社会人経験者の人達としばらく固まって過ごしていたことも思い出します。

学校側も私達一回生に一生懸命に対応していることがよくわかり当時の教職員の方達に沢山の迷惑をかけていたと思います。

一年生の時は先生達に怒られていた時間がほとんどでありましたが、進級していくと同級生達も成長し国家試験前の真剣な雰囲気は今でも忘れることが出来ません。

卒業までの間に医療に携わる人間としてはもちろんですが、それだけではなく色々なことで人間として成長し自分の価値を上げていけた三年間でした。

私は学校卒業後も同窓会の会長として学校に関わらせていただいています。毎年の入学式、卒業式に出席させていただいては15年の学校の歴史を感じております。

同窓会のことになりますが、一昨年には同窓会10周年の記念総会を開催する事が出来ました。多くの関係者の方々の協力により素晴らしい総会が開催出来たと思います。

学校と共に同窓会が存在しています。お互いに20年30年と歴史を重ねていき、また何か記念に残る事が出来れば良いと思っています。

最後に新潟看護医療専門学校を卒業したことを誇りに社会に貢献をしていきさらに自分を磨いていきたいです。



創立15周年記念誌

看護学科 平成19年度卒 伊 藤 誠

新潟看護医療専門学校が開校15周年を迎えるにあたり、これまでご尽力頂いた学校長をはじめ諸先生方、職員の方々、学校関係者の皆様には心よりお礼を申し上げます。また、記念誌への寄稿のお話を頂き、大変光榮に存じます。

私が新潟看護専門学校に入学したのは2005年、開学2期生でした。30歳での入学だったので講義内容についていけるのか、最後までやり遂げることが本当にできるのかという不安もありました。しかし、教員や先輩方も丁寧に指導して頂き、また、久しぶりの学生生活はとても楽しく新鮮で新しい知識を得る事の喜びを日々感じていたように思います。

当時は教職員と学生、地域の方々と作るアットホームな学校で、楽しい学校生活を送りました。在学中は日々の授業や実習などで大変なこともたくさんありましたが、今改めて振り返ってみると医療に関する知識、技術の習得に向けた指導はもちろんですが、看護師として働き続けられるよう、個々の特性に応じた指導が大切であることを教えて頂いたのだと感じています。「自ら学習し成長していくこと」「物事を論理的に考えること」「専門職としての人間性」などは卒業した今でも専門職としての自己の成長に欠かせないものとなっています。また、より良い看護ケアを考えて実践するうえで、とても大切なものとなっています。

私は卒業して10年が経ちました。現在は医療法人水明会佐潟荘で精神一般病棟に勤務をしています。新潟看護医療専門学校の精神看護学実習の受け入れも行っており、お世話になった先生方に感謝するとともに、自身も頑張ろうと刺激を受けています。在学中は勉強や実習など大変だと思いますが、患者さんとじっくり向き合い学ぶことができる時間を大切に過ごして下さい。また、先生方の授業や臨床実習から多くのことを学んでください。そして、将来の専門職者として成長し様々な分野で活躍することを願っています。

最後になりましたが、新潟看護医療専門学校がますます発展されますことを、心から祈念いたします。



人との繋がり

看護学科 平成20年度卒 石 川 翼

新潟看護医療専門学校創立15周年記念誌の発刊、誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。ひとえに歴代の校長先生や教員の先生方、つばさ会の皆様方をはじめとした関係各位の長年にわたるご尽力の賜物であると確信しております。

私は本校の第3回卒業生です。私の在学中から現在に至るまでの話をさせて下さい。私が入学した時は設立3年目ということもあり、校舎はとても綺麗でした。休み時間になると球技大会へ向けてクラスメイトと講堂でバレーボールをしたり、学校祭ではクラス全体で協力して盛り上げたりと、クラス全体で仲が良く、団結力のある学年であったことが印象に残っています。臨床実習やテスト期間、国家試験に向けての勉強、辛い時期もありました。しかし多くの仲間にも恵まれ、様々な困難を乗り越えることができました。

私は卒業後、在学中に実習先であった社会医療法人桑名恵風会桑名病院に就職し、現在も勤務しています。現在も新潟看護医療専門学校の実習病院ということもあり、臨床現場で教員の先生方、実習生と関わるが多々あります。国家試験に合格できなかった後も教員の先生方は卒業後も私のことを気にかけて下さり、模擬試験や国家試験受験のためのフォローをして下さいました。教員の先生方のお力添えがあったからこそ、私は看護師として勤めることができ、大変感謝しております。また臨床現場で、実習が始まると私達、看護師が手本とならなければならないため、とても良い刺激になります。

人はひとりでは生きていけないという言葉があります。困難という壁があっても、学友や教員の先生方、家族の支えがあってこそ乗り越えていけるものだと私は思っております。在学中の皆様のご活躍を祈念しております。

最後になりましたが、創立15周年記念事業関係者各位の多大なご尽力に感謝し、新潟看護医療専門学校の今後ますますの発展を祈念申し上げまして、ご挨拶といたします。



新潟看護医療専門学校の思い出

看護学科 平成21年度卒 岩田 恵理菜

私は小学生の時の入院経験で人の役に立てる医療職に興味を持ちました。また人と接することが好きなため一番患者さんと近くで関わることができる看護師を目指したいと思いました。

私が新潟看護専門学校に入学したのはオープンキャンパスでの印象が良かったからです。

とても綺麗な校舎、実習室の最新の設備、少人数制で先生方や先輩たちの距離が近くアットホームな印象を受けました。ここでなら私が思い描く学生生活が送れ、理想的な看護学が学べると強く思い入学を決心しました。

新潟看護医療専門学校で過ごした3年間は楽しいことではなかったけれど、とても充実していました。聞きなれない医療用語の数々で毎日の授業をしっかりと理解し、身につけていくために予習、復習は欠かせませんでした。また、領域実習が始まると睡眠時間を削って担当患者さんの疾患の勉強や記録物を行うことはとても大変でした。しかし、熱心な先生方に全力でサポートしていただき乗り越えることができました。また、同じ看護師という夢を持つクラスメイトの支えも大きかったと思います。休みの日も一緒に図書館で勉強したり、夜中まで連絡を取り合って教えあったりしました。実習が終われば朝までカラオケで騒いだり、卒業旅行行ったりしたことが良い思い出です。職場は違っても今でも定期的に集まり当時の話で盛り上がります。そんな気の合う友達ができたのも楽しいことだけではなく、辛い実習や国家試験の勉強を共に支えあい乗り越えてきたからだと思います。

私は看護師になって9年目になります。昨年は小児看護学実習の学生指導をさせて頂きました。今でも当時の先生達と実習を通して会うことができとても嬉しく思います。また、緊張しながらも熱心に実習に取り組む学生さんは自分自身を初心へ戻してくれる存在です。忙しい業務の日々ですが、人の命に寄り添う素晴らしい仕事にやりがいを感じています。新潟看護医療専門学校で学んだ基礎を大切にこれからも日々努力していきたいと思っています。

これから看護師を目指す在校生の方々、辛いこともあると思いますが同じ夢をもつ仲間と熱心な先生方と共に頑張ってください。

また病棟で見かけることがあったらぜひ声をかけて下さい。



創立15周年によせて

看護学科 平成22年度卒 永井 優子

開校15周年、おめでとうございます。卒業してから8年が経ちましたが、記念誌の発行にあたり、懐かしい学校生活を思い出しました。

座学での勉強を終了し、病院実習が始まると、日々の看護過程の記録に悪戦苦闘し、実習計画・レポート・事前学習など、やるべきことに追われ、毎日があっという間に過ぎていきました。そんな中、お昼休みや実習終了後に同じ実習グループメンバーと話をすることが唯一の息抜きになり、楽しみになっていました。病院実習は苦しいこともありましたが、今となっては、あの時の経験がすべて今の生活に活きていると思います。実習が終了すると、国家試験に向けての勉強が始まりました。看護師免許取得へのプレッシャーもありましたが、友達と問題を出し合ったり、励ましあったりと良いクラスメイトに恵まれました。また、先生方は、質問しやすい環境を作ってくださり、学生の目線に立って親身にアドバイスを頂きました。その時のことを思い出すと、とても心強かったです。本学のきめ細かいサポートの御陰で、無事資格を取得することができました。

進路に当たっては、私は在学中に、体調を崩して病院に通うことになり、病気を持つ人の気持ちを味わったことをきっかけに、病気を予防する、保健師の仕事に興味をもちました。

本学を卒業後、大学に編入し保健師の資格を取得することができ、幅広い知識を身に着けることができました。健康づくりは、すぐに成果が現れるわけではありません。しかし、目の前にいる人の未来のために働くことで、やりがいを感じることができています。

3年間、学校生活を過ごすことができたのも、看護学校の先生方や仲間、家族などたくさんの方々の協力があり、そして優しく見守り支えていただいたからだだと思います。これまでの学びを無駄にしないように、日々の生活に活かしていきたいと思っています。

最後になりましたが、今後も新潟看護医療専門学校の益々のご発展をお祈りいたします。



看護師としての自分をみつめて

看護学科 平成23年度卒 上 田 千 遥

新潟看護医療専門学校が創立15周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。在校時には、担任の小栗先生をはじめ諸先生方のご指導に改めて感謝申し上げます。

卒業してから月日は流れましたが、学生時代のことは今でも鮮明に覚えています。最も印象に残っていることを挙げると、実習だと思います。実習では、患者様とのコミュニケーションや関わり方の難しさ、自身の無力さを痛感させられる日々でした。そんな中でも支えてくれる家族の存在はとても大きいものでした。また、お互いに励まし合える友人がいたことで、様々なことを乗り越えることができたと思います。同じ夢に向かって日々邁進する友人との絆を深められたことが学校で得た大きな財産だったのではないかと思います。

在校生の皆さんは、これから卒業して看護師として働くことになると思いますが、学生時代とは違い、より高い専門性が求められます。また、実際に働いてみるとギャップに戸惑ったり、迷うことや辛いことがきっと多々あると思います。私自身、今でも壁にぶつかったり忙しさに心が疲弊してしまうこともあります。患者様のことで悩むこともあります。逆に患者様からの温かい言葉によって心が救われることも本当に多いです。ですから、私はいつでも患者様の立場に立って考えられる看護師でありたいと強く思います。皆さんも実習では患者様に救われたり、気づかせてもらったことがきっとたくさんあったのではないのでしょうか。これから社会へと羽ばたく皆さんには看護師としての矜持を持って取り組むだけでなく、患者様にとって心の拠り所になれるような、看護師になってもらえることを願っています。

学校では座学・技術だけでなく看護師としての心構えなど多岐に渡って学びました。それは社会人になった今でも活かしています。今後は私自身が学んだことを実習の場で在校生の皆さんに伝えていくことが、私に出来る恩返しだと思っています。

最後に、本校のさらなる発展をお祈りしてお祝いの言葉とさせていただきます。



学生時代の思い出と現在

看護学科 平成24年度卒 岸 本 夏 未

新潟看護医療専門学校が創立15周年を迎えられたことを心よりお祝い申し上げます。

私は平成22年からの3年間、新潟看護医療専門学校に在学していました。在学中の思い出はいろいろありますが、その中でも印象に残っていることは実習です。私は実習がとても苦手でした。記録物が進まず、毎日徹夜をして、毎朝実習先に向かう電車の中でよく寝ていたことを思い出しました。また、緊張と不安で、患者様とのコミュニケーションがうまくとれず、看護師に向いていないのかもと思い、諦めそうになったことが何度もありました。しかし、辛かった実習を乗り越えられたのは、患者様からの感謝のお言葉でやりがいを感じ、また、一緒にがんばってきた同級生や先生方の支えがあったからだと思います。そんな辛かった実習も今ではいい思い出となっています。

私は看護師になり6年が経ちました。時間が経つのがあっという間で、もう6年も経ったのかと驚いています。現在は、病棟での経験を経て外来の内視鏡室に勤務しています。内視鏡室での経験はまだ浅く、毎日たくさんの検査や治療の看護、医師の介助などを先輩方に助けていただきながら行っています。内視鏡室での患者様との関わりは短い時間ではありますが、緊張している患者様が少しでもリラックスして検査や治療を受けられるような声掛けや関わりを心がけています。医師の介助がうまく出来ると自信につながります。検査が終わって安心した表情の患者様を見たり、患者様から「背中を擦ってもらったら楽だった。ありがとう。」というお言葉をいただいた時には私の力となり、やりがいを感じる瞬間でもあります。また、院内で実習生の姿を見かけると、自分の学生時代を思い出し、とても懐かしく思うとともに、頑張っている実習生を見て改めて私も頑張ろうという気持ちになります。

私が働いている病院には、新潟看護医療専門学校の卒業生がたくさん働いています。今後も新潟看護医療専門学校で学んだ方々と一緒に働けることを楽しみにしているとともに、新潟看護医療専門学校がこれからも益々発展されることをお祈りしております。



本校でのいろいろ

看護学科 平成25年度卒 小谷松 望

助産師になりたいという夢を抱いて「新潟看護医療専門学校」に入学しました。看護学校へは不安と期待で、入学しました。3年間は、あっという間でした。座学、テストが終わったかと思うと、病院実習。それも終わったかと思うと国家試験が待っていました。とてもつらかったのと同時に、充実していて、自分自身で大きく成長することができた実感できた時期でもありました。

先生から「この学校で出会う友達は一生の友になるよ」といわれました。一生の友とは言い過ぎではないのかなと思っていました。学校の帰りに最寄り駅の電車の待合室が寒すぎて、授業が終わっても友達と話して電車を乗り遅れたこともありました。国家試験で気分が沈んでいる時は、学校で一緒に勉強をして、合格を目指しました。様々な経験を通していくうちに、一生の友ができました。

学校生活では、先生も濃厚に関わっています。実技のシーツ交換では、「美しくない」と言われ何度も練習しました。美しくってなんだ、きれいじゃないかと思いつつも、臨床の現場でシーツ交換するときには必ず思い出すフレーズになっています。また、国家試験のために東京に行く際、大雪の影響で新幹線が動かなくなりました。「車中泊も覚悟して」と言われたときは国家試験なのにと涙が出そうでした。何とか東京につけた時に勉強ができないことにパニックになりそうでしたが、「思っている以上に疲れているから身体を休ませて」と言われ、そうだ今まで勉強したから、今は身体を休ませようと落ち着くことができました。

新潟看護医療専門学校を卒業後、助産師の夢を追い、助産師の資格を取得しました。現在は新潟県の総合周産期母子医療センターに指定された病院で働いています。お産は、何があるかわからない世界です。その中で母児共に、産前から産後まで関わらせてもらい、やりがいを感じています。これからも助産師としてできることを常に考えていながら働きたいと思います。



歴史を刻んで

看護学科 平成26年度卒 高橋 俊 充

新潟看護医療専門学校創立15周年おめでとうございます。私は卒業してから5年目になろうとしていますが、在学中の思い出は今でもふと思い出すことがあります。専門学校での3年間は勉強や実習でとても忙しい毎日でしたが、学校行事も数多くあり、忙しくも楽しい学校生活を送っていました。今思うとあっという間に時間が過ぎていたと感じます。それは創立15周年になった新潟看護医療専門学校も同じ気持ちではないのかなと思います。

私は在学中にいろいろなことをやらせていただきました。その中でも一番印象に残っているのは文化祭です。文化祭では実行委員長を務め、成功のために一生懸命取り組みました。看護学校といえば、授業や実習がメインで大変そうだというイメージがありますが、新潟看護医療専門学校は文化祭などの学校行事が他校よりも盛んで、学校生活の充実さもあり、とても楽しい学校生活を送ることができるのだと感じました。もちろん、授業や実習などもしっかりとしており、優しくて、時には厳しい看護知識の豊富な先生方がたくさんいるので、安心して実習や国家試験に挑むことができました。先生方には今でも感謝の気持ちしかありません。

新潟看護医療専門学校はこれからもまだまだ続いていく学校だと思います。それは少子高齢化が進み医療従事者の需要が増えているこの時代の中で、医療従事者を育てていく看護医療専門学校というのはますます重要となってくると考えるからです。これは私が現在も臨床現場で働いていて常に実感していることでもあります。病院や施設など医療を支える現場はいくつもありますが、学校もその中の一つであると私は考えます。今回は創立15周年ということでしたが、20周年、30周年とさらに歴史を刻んで進んでいって欲しいと思います。

新潟看護医療専門学校のさらなる発展とご活躍を期待しています。



看護師として大切なことを学んで

看護学科 平成27年度卒 川 島 百合香

新潟看護医療専門学校が設立15周年を迎えましたことに心よりお祝い申し上げます。

私は社会人、結婚、出産を経験後、2012年から3年間本校で学び、看護師になりました。現在、看護師として療養病棟に勤務し、長期療養の患者様や終末期の患者様等、様々な患者様の看護をさせていただいております。当然のことですが、一人一人、求める看護は違います。より患者様やご家族に寄り添うため、試行錯誤する毎日です。

最近、勤務先の病院で実習生や恩師に会うと、学生時代の3年間や、看護師を目指した初心を思い起こします。今でも特に思い出されることは、末期がんの患者様を受け持たせてもらった看護実習です。末期がんの患者様から「看護学生である私を育てることが自分の最後の仕事」と言われ、ご自分の人生史、闘病歴、死生観等、沢山お話してくださいました。末期がんの患者様を前にして、自分の無力さを感じ落ち込むこともありましたが、そんな中、実習先の指導者の皆様に導かれながら、患者様とご家族の望む最期を迎えるためにできることを考え、最終的には、患者様は一時帰宅し、ご家族だけの時間を過ごしていただくことになりました。この実習を通して、治療の限界が人生の終わりではなく、残された時間をその患者様の望みに添う生き方ができるように支援していくことも看護師の仕事だと実感でき、看護師の仕事の奥深さに触れる実習となりました。

実習以外にも日々の授業や行事等、大変なことも多々ありましたが、改めて振り返ってみると、看護師として自ら学習し成長していくための力、物事を論理的に考える力、看護師としての人間性を身につけられるような内容が組み込まれており、知識はもちろんですが、看護師として大切なことを沢山教えていただいたと感じています。本校で過ごした3年間の全てが看護師としての今の私のベースになっています。

結びに、この15年間、医療専門職の養成に情熱をもって教育、指導にあたってこられた本校の先生方をはじめ教職員の皆さま、並びに学生の実習を受け入れてくださいました施設等の関係者のご尽力に対しまして、感謝申し上げますとともに、本校の今後ますますの発展を祈念申し上げます。



学生時代を振り返って

看護学科 平成28年度卒 谷 美由紀

創立15周年おめでとうございます。

私は、学生時代を振り返った時、いちばんに思い出すのは病院実習です。最初は、患者の病態を捉えるのに精一杯で患者や家族の思いや退院後の生活を考えることが出来ていませんでした。そのため、患者に合った看護計画を立てることが出来ずに苦労しました。患者との関わりや看護計画の方向性に困った時、話を聞き共に考えてくれる仲間や混乱している私の思考を理解し、的確なアドバイスをくださる先生方がとても心強かったことを覚えています。相談することで患者の今しか見えていないことが分かり、様々な考えを聞くことで広い視野で患者を考えることが出来ました。実習中、すぐに相談できる環境や相談しやすい雰囲気があったことで、長い実習を乗り越えられたのだと思います。

さらに、国家試験前の猛勉強期間はこれからも一生忘れられないと思います。迫ってくる国家試験日や模試の結果に焦り、毎日が不安でした。そんな時、私は、同じ思いを持った仲間と共に勉強し、励まし合うことで少しずつ不安を解消していました。仲間だけでなく、放課後でも教室に来てくれて相談を聞いてくださり、丁寧に勉強を教えてくださいました先生方には、とても感謝しています。先生方や仲間がいたからこそ辛い国家試験を乗り越えられ、看護師になれたのだと思います。試験は一人ではとても乗り越えられませんでした。共に勉強し、高め合い、支え合える仲間や精神的にも支えてくださった先生方に会えた学生生活はとてもいい思い出です。

私は現在、新生児内科（NICU、GCU）に勤めています。患児が話すことが出来ない分、観察を徹底するのはもちろんですが、家族の思いに寄り添うことが重要となります。学生時代に学んだ患者家族との関わりや広い視野を持つということを意識して働いています。今後もうまく行かない時は初心に戻り、学生時代に学んだことを生かしていきたいです。



学生時代の思い出

看護学科 平成29年度卒 野口 海奈

この度は、新潟看護医療専門学校15周年おめでとうございます。私は、この学校を卒業してから看護師として働いています。

本校に入学してからの思い出は、看護実習がただただ辛かったということです。初めての受け持ち実習では、コミュニケーションがなかなか上手く取れずに悩みました。2回目の実習では、受け持ち患者様の具合が良くなく、どのように接して良いかわからず、そして自分の無力さに落ち込んだりもしました。何回も辞めたいと思っていました。

病体生理やアセスメントシート、上手く書けずに夜な夜なグループの仲間と連絡を取ったり、電話で分からないところを教えあったりもしていました。当時は本当に眠くて仕方なかったのですが、今となってはいい思い出です。先生からも沢山ご指導をいただきました。何回も何回もアセスメントシートを書き直し、提出して丸をいただけると本当に嬉しかったです。実習を重ねる度に直しの回数が減り、先生から褒めていただけるともっと頑張ろうと思えるようになりました。このように、毎日苦楽を共にしたクラスの仲間や、いつもの確なアドバイスや落ち込んでいるときに励ましてくださった先生方のおかげで最後まで諦めずに実習を乗り越える事ができました。

実習が終わり、国家試験の勉強で模試が沢山ありましたが、私は1月の学校での最後の模試でも点数が悪く、規定の点数に達していない生徒は毎日登校するという、所謂「補習組」のメンバーでした。点数が伸びずに悩んでいる時には、親身になって話を聞いてくださり、励ましていただき、勉強方法を教えていただくなど、常にクラス全体を気にかけ沢山助けていただきました。

国家試験前日の出発の時、緊張と不安で泣いてしまった私達を母親のように声をかけ、抱きしめ、私達を送り出していただいたことは一生忘れません。先生方の安心感は偉大だなと感じました。新潟看護医療専門学校に入学し、沢山支えていただき今こうして自分が看護師として働いているのだと思います。

15周年を迎えても、生徒と先生の距離がとても近く、私が在学していた当時と変わらない学校の雰囲気はずっと続いてほしいと願っています。



3年間を振り返って

看護学科 平成30年度卒 清水 実子

私は社会人を経験してこの学校に入学しました。はじめは久しぶりの学生生活や初めて学ぶ看護の勉強に戸惑いながら毎日の生活を送ることに必死でした。その必死さも毎日、学校に通う中でクラスの人や先生と一緒に話したり、勉強することで薄れ、楽しく過ごすことができていったのを覚えています。

三年間の学生生活で勉強や試験もとても大変でしたが私が一番印象に残っていることは臨地実習です。毎日、早起きをして遠い距離を通い、時には大雪の日もありました。初めは記録を書き終えるために夜遅くまで起きて眠気と闘いながら記録を書き、朝早く出ていく生活を送っていました。その時はつらい気持ちが大きかったですが実習の慣れと共に心に余裕が出てきて色々なことに目を向けられようになり、楽しさも感じるようになりました。実習で落ち込むこともたくさんありましたが、受け持たせて頂いた患者さん一人一人がいたからこそ乗り越えられたと思います。日々、患者さんと関わりながら反応や変化に合わせて看護援助をたくさん考えたからこそ、援助を行った後の患者さんの声や表情、その時の場面が今でも目に焼きついています。その経験が実習を一つ終えるごとに次の実習への励みになっていました。また病院施設の看護師さんから指導して頂いた内容も心に残っています。その時は言われたことへのショックや自分の知識不足への悔しさがありました。ですが、再び学習しなおし、学生だけでは気づけない所を気づけるようにアドバイスを下さったことで充実した実習をすることができました。

実習は大変でしたが今思うと関わる人の言葉一つ一つが自分のためになることばかりでした。実習中は患者さんや看護師さんだけでなく同じ目標に向かって頑張る学生と毎日お互い励ましあい、笑いあったことも私にとってすごく思い出深いです。先生が親身に話を聞いてくれたことや、他愛のない話をするのも私にとっての心の癒しでした。また、私が実習に集中できるように家族が陰ながら応援してくれていたことも励みになっていました。実習で関わった方たちや経験は一生忘れません。

3年間この学校で過ごしてきた思い出を胸にこれから有意義な生活を送っていきたいと思います。仕事で悩んだ時はこの記憶を思い出し、励みにしていきます。

3年間ありがとうございました。



15周年記念誌発刊に寄せて

新潟リハビリテーション専門学校 鍼灸科3回生 田村 宏樹

新潟看護医療専門学校創立15周年記念誌の発行、心からお祝い申し上げます。

私は当校東洋医療学科の前身、新潟リハビリテーション専門学校鍼灸科の3回生であります。

30代半ばで鍼灸師になる決心をし、家族の応援を受けながら毎日新発田から村上まで往復80キロを車で通学しました。

30数名のクラスメイトは高校新卒の子たちが3分の2、あと県外からの学生が半分近くいたような記憶があります。

自分が一番年上だと思いきや、さらに上の年齢の方がいてホッとしたのを思い出します。

学生生活は、青春をもう一度味わってるような気分でも楽しかったです。とはいえ、試験やレポートに追われ、10代の頃のようなフレッシュな脳みそとの違いに愕然とする日々。なかなか記憶の壺の中に知識を詰め込むことが出来ず、正直大変苦勞をしたものです。しかし後から振り返ってみると、非常に充実した学生生活でありました。

個性豊かな素晴らしい先生方にも恵まれ、たくさんの知識や技術を教えていただきました。今の自分の臨床の場面でもそれらは掛け替えのない宝物となっております。

そのお陰もあり、卒業後すぐに鍼灸治療院を開業することができ、現在まで鍼灸で身を立てていることができています。

10年と少し前にご縁をいただき、現在東洋医療学科にて少しばかり実技指導のお手伝いをさせていただいてます。

毎年新たに鍼灸師を志す新入生と出会い、少しの時間ではありますが共に学べる機会を与えて貰っていることは、とてつもなく貴重な授かりものであると、心から感謝してます。

最後になりますが、創立15周年、本当におめでとうございます。

新潟看護医療専門学校のさらなる発展を心よりお祈り申し上げます。



鍼灸を通じて得たもの

鍼灸療法学科 平成17年度卒 鈴木(丸山) 由美

新潟看護医療専門学校が創立15周年を迎えられ、記念誌を発刊されますことを心よりお喜び申し上げます。

私は、平成14年に入学し、卒業までの3年間で村上で過ごしました。初めての一人暮らしで戸惑いも多かったですが、教育熱心な先生や友人にも恵まれ、とても充実した時間でした。特に思い出深いのは、お灸の指導をしてくださった染谷先生の授業です。染谷先生は、治療家以前に一人のヒトとして患者様への接し方や、治療への向き合い方を懇切丁寧に教えてくださり、まだ鍼灸師の入り口に立っている私たちを温かく見守り、導いてくださいました。

お灸を多用した染谷先生の功績もあり、本校はお灸の技術が高いと全国に知られています。直接灸の心地よさ、治療範囲の広さは治療で行き詰った時に必ず助けてくれます。卒業後も治療の事で相談にのっていただいた時も温かな口調で惜しげもなくご自身の治療法を教えてくださいました。

そんな教育熱心な先生達のいる母校に縁があり、現在は私も教壇に上がらせていただいております。私が学生の頃は、女性が全体の20%ほどでしたが、近年は女性の入学者が増え男女比が同じようになりました。以前は、スポーツ障害や筋肉疾患のイメージの強かった職業ですが、女性のライフワークをサポートしたり美容分野を後押ししたりと活躍の場が広がったのも大きく影響したのだと思います。

現在、日本は高齢者人口が増え続け、総人口比28.1%となりました。そんな中で東洋医学の最も得意とする“予防医学”は大変重要な役割を果たしてくれることなのでしょう。現に、福祉分野でも一定の条件を満たした鍼灸師が機能訓練士として、生活の質を落とさないように訓練を行うことや、患者さんや利用者さんに合わせたプログラムを実施し、その人らしい生活を送る手助けをしています。鍼灸師は人を包括的に見る職業だからこそできる関わり方があるのだと思います。移り変わる時代の流れと共に鍼灸師の役割は多様化してきました。その根底を支える学生時代に何を伝えていけるかが、自分への課題となっております。恩師からの言葉を胸に刻み、これからも教育活動に精進したいと思います。

最後になりましたが、新潟看護医療専門学校15周年記念事業に尽力された関係者の方々へお礼を申し上げると共に、新潟看護医療専門学校の今後のますますの発展を祈念いたします。



東洋医療学科を卒業して

東洋医療学科 平成22年度卒 佐藤 裕子

創立15周年おめでとうございます。

東洋医療学科を平成23年に卒業しました。入学したのは村上市岩船の新潟リハビリテーション専門学校でした。2年間村上で学び、3年目を新潟看護医療専門学校東洋医療学科で学び、卒業することができました。

東洋医療学科（村上鍼灸学科）をはじめて見学したのは、新潟リハビリテーション専門学校のオープンキャンパスでした。

オープンキャンパスに行って、入学を決め、受験のため冬の寒い日に筆記用具を持って行き、筆記試験と面接を受けました。

面接の先生方お二人が個性的なヘアスタイルをしていて、面接で笑わないことが合格の基準だったのかしらと思いました。笑わずに面接を終えることができ、何を質問されたのか覚えていません。無事合格できて、嬉しかったです。学校に入学する年の3月末まで仕事をしていました。

4月に入ってすぐ入学式があり、学生生活がスタートしました。仕事では1日立ちっぱなしだったのが、学校の授業が始まり朝9時から夕方6時迄座り続ける日もありました。座学と実技があり、はじめて鍼を持ったり、艾をひねったり、勉強の日々でした。勉強に慣れていなくて、高校を卒業したてのクラスメイトたちより沢山机に向かってペンを持ったと思います。入学してはじめての秋に交通事故に会い、ムチウチになりました。そのムチウチがきっかけで卒業研究を行って発表することができました。

私は2年生のうちに卒業研究を行って、3年生になったら勉強に専念しようと考えて卒業研究は何にしたらいいかと想いを巡らせていました。結局卒業研究は3年生になってから行いました。3年生の担任になってもらった二本松明先生の指導のおかげで、研究を行い、東京で研究発表をすることができました。貴重な経験をすることができました。

卒業研究に関わってくださった鍼灸学科の先生方、クラスメイトに感謝しています。はり師、きゅう師国家試験も無事に合格できました。お世話になった方々へ、鍼灸を通して恩返ししていきたいと思います。ありがとうございました。



経験・出会い

東洋医療学科 平成23年度卒 木村 信人

新潟看護医療専門学校創立15周年並びに記念誌の発刊、誠にありがとうございます。この度は記念誌に寄稿出来ることを嬉しく思います。

私は平成21年4月に現在の新潟リハビリテーション大学の前身である新潟リハビリテーション専門学校鍼灸療法学科に入学しました。同期で入学した人数は私を含めて4人数が少ないばかりでなく、男子も私1人しかいないと色々驚きのある専門学校生活がスタートしました。ただ、人数が少なかった事で教員の先生方には座学、実技授業で細かい所までご指導して頂きました。

2年目には新潟リハビリテーション専門学校が大学に移行する事になって学科ごと新潟看護医療専門学校に東洋医療学科として転入学しました。新潟看護医療に移ってきた当時はお灸の授業後には在学中の看護学生から不思議そうな顔で見られる事もありました。きっと今まで当校で嗅いだ事のないお灸の匂いに困惑していたのでしょう。在学中には様々な教員、講師の先生との出会いがありました。

平成23年3月には東日本大震災があり、その際に学科教員と私たちも何か出来ないものかと話し合いをした結果、被災地である岩手県釜石市に入って、被災に遭われた仮設住宅に住んでいる方々に対して有資格者の先生方が施術を行いました。私たち学生は先生方の補助と被災された方々のお話を聞く事がありました。2度の被災地ボランティアは被災地の現状を目の当たりにする事で知り得なかった事や、人々の温かさなどを感じる事ができて私の今の仕事と人生に大きな影響を与えてくれました。

現在私は新潟市にある、「あいびす鍼灸整骨院」で鍼灸師として勤務しています。専門学校を卒業して7年という月日が経とうとしていますが、様々な患者様を治療、施術しているとまだまだ新たな発見や驚きが多い。これからも様々な経験を生かして患者様の治療に当たりたいと思います。今の職場には、看護医療卒業生が私を含めて今までに3人勤務しています。当院の院長に以前看護医療の卒業生は実技（はり、きゅう）が上手との褒め言葉を頂きました。それもこれも看護医療の実技時間が多いことが結果としてでていると思っています。

最後になりますが、これからも実技のしっかりとした、経験豊富な後輩達を送り出して頂けたらと思います。



記念誌発行に寄せて

東洋医療学科 平成24年度卒 上野 彩音

新潟看護医療専門学校創立15周年記念誌の発行、心よりお祝い申し上げます。

この度寄稿させていただく機会に、母校での学生時代と、卒業後について振り返ってみたいと思います。

1. 入学にいたるまで

高校を卒業後、私は入学金を貯めるため、そして今後専門分野を学ぶ意思を固めるため、1年間進学せずアルバイトを掛け持ちしました。入学するタイミングが現役の学生よりも1年遅いことに若干の引け目を感じていました。しかし門を潜ってみれば、我が東洋医療学科の入学者は社会人が3分の2を占めていました。18歳から53歳、年齢層が広いクラスメイトと机を並べたことは、今にして思えばとても貴重な体験でありました。

2. 鍼灸との新たな出会い

私が鍼灸師を志したきっかけは、実家の父親が鍼灸院を営んでいたことにありました。

生まれた時から身近にあったものなので、風邪をひいたら鍼灸治療を受けるものだと思って育ちました。しかしこれまで実家の治療しか受けていなかったのも、様々な流派があることすら知りませんでした。流派が異なれば、治療方法も異なるということを知ったのは母校に入学してからです。

3. 上海研修

2年生の春休みに、上海中医薬大学での推拿研修へ参加しました。10日ほどの研修が中盤に差し掛かったあたりで、我々を乗せた車が玉突き事故に遭遇しました。幸いにも大きな怪我はありませんでした。研修の後半を休まざるを得なかったことは残念でしたが、上海の医師から、授業で習った徒手検査を受けたとき、言葉は違えど検査は日本も中国も同じなのだと妙な感慨を覚えました。

4. 国家試験、卒業

入学時には6人のクラスメイトがいました。3年生に進級するとき同じ教室にいたのは、現在本校の教員となられた白野先生と私の2人だけでした。学友が減っていく寂しさ、国家試験の合格率を1人で50%担うプレッシャーは、今思い返してみても大変苦しいものでした。

平成25年に母校を卒業してから、市販薬の知識を勉強するため医薬品登録販売者の資格を取得しました。現在は新潟市内の鍼灸院に勤務しております。また新潟鍼灸手技療法協会に入会し、鍼灸師が活躍できる環境作りを手伝わせていただいています。

人数が少ない学科ではありましたが、母校で学んだことは今も大きな財産となっています。最後になりましたが、新潟看護医療専門学校の、今後のますますの発展を祈念いたします。



臨床実習は自分の原点

東洋医療学科 平成25年度卒 池田 朋子

新潟看護医療専門学校の15周年の佳き日にあたり、心よりお祝い申し上げます。

私は2011年に東洋医療学科3期生として入学しました。卒業後は新潟県十日町市のはり灸治療院張士堂さんで勉強させていただく機会を頂戴し、現在は縁あって東京都内で出張施術を行っております。

在学中の思い出は数えきれませんが、この場ではひとつだけお話しさせていただきます。3年次の粟島臨床実習についてです。

粟島臨床実習は、学校附属の治療院で行う臨床実習とは別で、東洋医療学科が村上にキャンパスを構えていたころから続く実習です。施術は先生方ですが学生も施術補助として携わることができる貴重な機会であり、粟島の方々にも施術の周知や会場設営など多くのご協力をいただいていたことが出ています。

二日間の粟島実習は、緊張するばかりで自信を持って接することなどさっぱり出来ず、反省がたくさんありました。その中でも、実習後に先生方からお話しいただいた事はよく覚えています。

例え実習であっても、患者さんのかけがえのない人生の時間の一部を共有していることには変わりがない。背景にある、その人自身の生活や環境など、そこに思いを馳せ言葉をかけることはできないのか。患者さんの持つ物語と向き合うことよりも、施術を行うこと自体が目的になってはいないのか。

その言葉を聞いた時、それまで学んできた知識と臨床が少しずつ結びつき、ようやく治療家として自分が目標にするべき輪郭がぼんやりと見えてきたような気がしました。

粟島実習で出会った「患者さんの背景も問わずに、施術が治療家の自己満足になってはいないだろうか？」という問いは、臨床家として歩む中で常に大切にし、自分に問いかけ続けていきたいと思っています。

結びになりますが、新潟看護医療専門学校が今後も末永く新潟の地で医療の道を志す学生さんを応援し支えて下さる場でありますよう、益々のご発展をお祈り申し上げます。



私の三年間

東洋医療学科 平成27年度卒 澁谷 純子

私が入学した年は、ちょうど新生が少なかった年でした。教科書の一覧表には“3名分”と書かれており、「まさかね…」と思いつつ入学式に臨むと、本当に新生は3人だけでした。

私は33歳で入学したのですが、入学を決めるまで相当に悩みました。東洋医学や鍼、灸にものすごく興味はあるけれど、果たして高校を卒業したばかりの若い子たちとクラスメイトとしてやっていけるのだろうか、ずいぶん久しぶりの勉強にはついていけるのだろうかとあれこれ心配していました。ところがいざ始まってみると、クラスメイトの年齢はバラバラでしたが色々な課題を一緒に乗り越えるうちに打ち解けていきました。また、勉強に関しては学生時代から10年以上のブランクがあるのだから必死でやらなければ、と力んでいた部分もありましたが、少人数のため、座学でもたくさん質問を受けては考えたり答えたり、“超参加型”とでも言えるような授業が多く、集中して理解を深めることができたように思います。さらに先生方は年齢も経歴も幅が広く、素敵な個性をお持ちの方が多かったです。それぞれの専門分野での貴重な体験談はとても興味深く、楽しく聞かせていただきました。3年間を通してたくさんの先生方に様々なお話を聞かせていただいたことは私の糧になっていると思います。

鍼灸の授業では、実技の試験でこれまでこんなに緊張したことがあったらと思うほど緊張したり、臨床実習のレポートを徹夜で作成したりと色々あったものの、クラスメイトと励ましあって何とか乗り切ることができました。鍼灸の授業を受けているときに感じていたことは、先生方の患者さんに対する姿勢の誠実さでした。安心感を与える話し方や、話すときの目線の高さ、話の引き出し方など、患者さんとの接し方の大切さを学んだように思います。

私にとって在学中の3年間は、先生方やクラスメイト、先輩や後輩、家族など周囲の人々に支えられ、得難い体験をたくさんさせていただいた貴重な時間でした。本当にありがとうございました。



出会い つながり 広がり

東洋医療学科 平成28年度卒 佐藤 由佳

卒業して二年の、まだまだ未熟な鍼灸師です。いくつもの出会いに恵まれ、現在、微力ながらも精一杯の活動を行っていることを、日々ありがたく感じています。

私が当校に入学したのは50歳の時でした。介護を終え、子供も手がかからなくなり、時間に余裕が出来たことで「何か人の役に立つことを学びたい」と思ったのです。かつて体調を崩したときに鍼灸で快方に向かった経験から、鍼灸師を目指しました。

家庭と学校の両立は想像以上に大変でした。もう続けられないと、何度も弱音を吐きました。その度に先生方は、親身になって励まして下さいました。卒業後の仕事も、主婦業との両立が出来るよう、いろいろな選択肢を提示して下さいました。おかげで現在、複数の職場で短時間ずつ無理のない範囲で働くことが出来ています。

先輩にも級友にも恵まれました。同じく主婦の先輩は細やかに気遣ってくださり、同級生は親子以上に歳の離れた私に温かく接してくれました。若い仲間のエネルギーで受験勉強も頑張れました。今も近況を知らせ合うことで励みになっています。

そして、学校で最初に会った事務の方々。入学前の学校見学での気さくで丁寧な対応に年齢の不安が払拭され、入学を決断出来ました。卒業後学校に顔を出しても、変わらない笑顔で迎えて下さるので、故郷に帰ったような安心感にほっとします。

当校での数々の出会いは、私の世界を大きく広げてくれました。仕事を始めた現在は、多くの鍼灸師の方々ははじめ、医師、看護師など各医療従事者や介護職、健康増進活動や地域活動の関係者など、さらに多くの方々との出会いがあり、新しい発見があります。もちろん様々な症状、背景の患者様との出会いもあります。そして、その個々の出会いが別の出会いや領域につながり、次々と活動や勉強の場が広がっています。うれしい驚きです。

最善を尽くして患者様の体調改善に貢献すること、そして「出会い、つながり、広がり」を重ねて、鍼灸の良さを多くの人に伝えること、それが私の目標です。まだ歩み始めたばかりですが、少しずつ息長く進んでいきたいと思っています。

お世話になった皆様、本当にありがとうございました。これからもご指導よろしくお願いいたします。後輩の皆さん、一緒に頑張っていきましょう。



15周年お祝いの言葉

東洋医療学科 平成29年度卒 長 塩 大 昌

新潟看護医療専門学校15周年記念おめでとうございます。卒業生の私としても、喜ばしく、誇らしい限りです。そんな私が在学中に学んだ出来事や体験した事を思い出を語るように記述していますが、御清覧いただければ幸いです。

暖かな風が舞う心地良い春の季節、様々な思いを抱えながら、私は新潟看護医療専門学校の東洋医療学科へと入学しました。そこで出会った友人や講師達は皆それぞれ個性の強い方が多く、少々戸惑う事もありましたが、会話をすれば談笑でき、悩み事があれば相談しあい、定期テストが近づけば互いに問題を出しあい学力を高めて過ごす事ができました。

学校の行事では職場見学として鍼灸院に行くことにより、鍼灸師としての自覚を高めつつ治療の知識や技術を学び、学校祭では看護学科の方達と協力しながら校内を賑やかせ親睦を深めました。また、艾工場見学により、その作成に至るまでの工程を学んだ事や、解剖学実習で御献体を解剖させていただく事により人体の仕組みを学ぶ事もできました。

臨床実習では実際に患者様と対話し、疾患を改善へと導けるよう様々な情報を調べ、知識を取り込む事により、治療を円滑にするための努力をしました。その培った能力を栗島臨床実習にて発揮しました。その治療効果により少しでも疾患改善となれたのなら幸いです。

私は二年生の進級時に新潟柔整専門学校の間部部に入學し、ダブルスクール生となりました。鍼灸師としての勉強と柔道整復師としての勉強を同時進行させる事は多少大変ではありましたが、講師達の厚いサポートや友人達が支えとなり無事に乗り越え、国家試験に合格し鍼灸師の免許を取得する事に成功しました。

国家試験終了後には、下級生の方達から三送会に招いていただき楽しい一時を過ごす事も出来ました。そんな思い出溢れる学校を離れる卒業式の日には在校生の方達が盛大な拍手を送ってくれた事を忘れていません。改めて、己を高めてくれた貴学に感謝申し上げます。

末筆ではございますが、貴校のますますのご発展を心よりお祈り申し上げます。



3年間を振り返って

東洋医療学科 平成30年度卒 平 田 聖 奈

3年間を振り返るとやはり3年目が一番大変でした。実習があったことやクラスの人数が私一人だったことなど様々な事が重なり大変な一年でした。

実習では、患者様にどういう検査をするのかなど説明することにとっても苦戦しました。自分はわかっているように説明すればわかりやすく、また伝わりやすいのかなど考えました。最初は患者様にわかりやすく伝えることがこんなに難しいことだとは思っていませんでした。患者様に理解してもらうことに時間がかかる事もありました。しかし実習も回数を重ねるごとに最初よりも患者様にしっかり説明ができるようになり良かったと思いました。

各クールごとの症例検討会でも同様に先生方や後輩に伝わりやすいようなパワーポイントや内容の説明が大変でした。パワーポイントも文章だけだと見づらかったり、必要なところを抜粋してまとめるのが難しかったです。先生から様々なアドバイスをしてもらいまとめることができました。症例検討会も回数を重ねるごとに慣れていき、作成する時間も短くなったり、工夫もしてわかりやすく伝えることができたのではないかと思います。

クラスの人数が一人だったということもあり実習でもなかなか相談できる人がいなく苦労しました。また授業の座学ではマンツーマンでの授業、実技では私一人だと実技を行うことが難しかくいろいろ大変でした。しかし、先生方が授業を工夫してくださり、去年までいた先輩が実技の授業に参加してくれたり、アドバイスや相談にのってもらったりしました。また両親や地元の友達が話を聞いてくれたりと様々な方に助けられました。最初はこの一年間乗り切れるかどうか不安でした。しかし、様々な人の助けがあり、この一年過ごすことができました。

地元に残るので、将来は地域の人たちに寄り添い治療ができる鍼灸師になりたいと思います。



資 料



本校の概要

1. 学生数

平成31.4.1現在

	定員	1 学年	2 学年	3 学年	合計
看護学科	40	44(6)	42(10)	41(11)	127(27)
東洋医療学科	15	7(2)	3(2)	4(2)	14(6)

() 内は、男子の内数

2. 卒業生数(平成30年度卒業生まで)

卒業年度	平成 18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	合計
看護	40	42	42	34	38	41	38	41	44	41	38	37	38	514
東洋	—	—	—	—	10	3	2	7	8	5	8	7	1	51
計	40	42	42	34	48	44	40	48	52	46	46	44	39	565

(注) 22年度より東洋医療学科増設。また、この年度に看護学科で2名の転入学生卒業。

3. 看護学科の実習病院・実習施設(令和元年度)

【病院】

- ・桑名病院
- ・木戸病院
- ・新潟臨港病院
- ・新潟南病院
- ・佐潟荘
- ・下越病院
- ・県立坂町病院
- ・県立吉田病院
- ・岩室リハビリテーション病院
- ・西蒲メディカルセンター病院
- ・魚沼基幹病院
- ・松浜病院

【保育園】

- ・みずほ保育園
- ・曽根保育園
- ・新通保育園
- ・保古野木保育園

【クリニック】

- ・とくなが女性クリニック

【デイサービス】

- ・桃園園

【訪問看護ステーション】

- ・訪問看護ステーションなじも
- ・西蒲中央病院
- ・訪問看護ステーションみずき苑
- ・すなやま訪問看護ステーション
- ・訪問看護ステーションあしぬま
- ・富永草野訪問看護ステーション
- ・にいがた訪問看護ステーション
- ・しろね訪問看護ステーション
- ・訪問看護ステーションにじいろ

【介護老人保健施設】

- ・エバーグリーン
- ・いわむろの里
- ・槇の里

4. 主なる学校行事(含 自治会行事)

入学式、新入生歓迎会、新入生オリエンテーション研修、ナイチンゲール記念講演、スポーツ大会、オープンキャンパス、栗島臨床実習(東洋)、聖看祭(学校祭)、ともしびの灯、ケーススタディ発表会(看護)、上海学術研修(東洋)、艾工場見学(東洋)、ハンセン病療養所施設見学(看護)、3年生を送る会、卒業証書授与式

新潟看護医療専門学校 看護学科 教育課程 (2019年度)

区 分	教 育 内 容	科 目	指定規則 単位数	単位数	時間数	1年次 単位数 (時間数)		2年次 単位数 (時間数)		3年次 単位数 (時間数)		
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	
基 礎 分 野	科学的思考の基盤	情報科学	3	1	30		30			15		
		経済学		1	15							
	人間と生活・社会の理解	教育学	10	1	30				30			
		心理学		1	30	30						
		文学		1	30		30					
		物理学		1	30	30						
		法学		1	30	30						
		人間関係学		1	30		30					
		国際文化論		1	30	30						
		健康とスポーツ		1	30	30						
英語Ⅰ		1		30		30						
英語Ⅱ		1		30			30					
中国語	1	30				30						
小 計			13	13	375	150	120	30	60	15	0	
専 門 基 礎 分 野	人体の構造と機能	解剖学Ⅰ	4	1	30	30						
		解剖学Ⅱ		1	30		30					
		生理学Ⅰ		1	30	30						
		生理学Ⅱ		1	30		30					
	疾病の成立と回復の促進	生化学	11	1	15	15						
		病理学		1	30	30						
		疾病学Ⅰ		1	15		15					
		疾病学Ⅱ		1	30		30					
		疾病学Ⅲ		1	30			30				
		疾病学Ⅳ		1	15		15					
		疾病学Ⅴ		1	15		15					
		病原微生物学		1	30		30					
		臨床栄養学		1	30	30						
		薬理学		1	30			30				
	健康支援と社会保障制度	治療論	6	1	30		30			30		
		リハビリテーション概論		1	15		15					
		社会福祉学		1	30		30					
		公衆衛生学		1	30	30						
		関係法規		1	30							30
		医療概論		1	30	30						
	東洋医療	1	30				30					
	生命倫理	1	15							15		
小 計			21	22	570	195	165	165	0	15	30	
専 門 分 野 Ⅰ	基礎看護学	基礎看護学		10	270							
		基礎看護学概論Ⅰ		1	30	30						
		基礎看護学概論Ⅱ		1	15				15			
		基礎看護技術Ⅰ		1	30	30						
		基礎看護技術Ⅱ		1	30	30						
		基礎看護技術Ⅲ		1	30	30						
		基礎看護技術Ⅳ		1	30	30						
		基礎看護技術Ⅴ		1	30		30					
		基礎看護技術Ⅵ		1	30		30					
		基礎看護技術Ⅶ		1	30		30					
		基礎看護技術Ⅷ		1	15		15					
	小 計			10	10	270	150	105	0	15	0	0
	臨床実習											
	基礎看護学実習Ⅰ			1	45		45					
	基礎看護学実習Ⅱ			2	90			90				
小 計			3	3	135	0	45	90	0	0	0	
専 門 分 野 Ⅱ	成人看護学	成人看護学		6	180							
		成人看護学概論		1	30	30						
		成人看護援助論Ⅰ		1	30		30					
		成人看護援助論Ⅱ		1	30			30				
		成人看護援助論Ⅲ		1	30			30				
		成人看護援助論Ⅳ		1	30				30			
		成人看護援助論Ⅴ		1	30				30			
	老年看護学	老年看護学		4	105			30				
		老年看護学概論		1	30				30			
		老年看護援助論Ⅰ		1	30				15			
		老年看護援助論Ⅱ		1	15				30			
	母性看護学	母性看護学		4	105							
		母性看護学概論		1	30		30					
		母性看護援助論Ⅰ		1	30			30				
		母性看護援助論Ⅱ		1	30					30		
	小児看護学	小児看護学		4	105							
		小児看護学概論		1	30			30				
		小児看護援助論Ⅰ		1	30		30					
		小児看護援助論Ⅱ		1	15				15			
	精神看護学	小児看護援助論Ⅲ		1	30					30		
		精神看護学		4	105							
		精神看護学概論Ⅰ		1	30		30					
精神看護学概論Ⅱ			1	15			15					
小 計	精神看護援助論Ⅰ		1	30					30			
	精神看護援助論Ⅱ		1	30					30			
	小 計		22	22	600	30	180	195	195	0	0	0
	臨床実習	臨床実習		16	16	720						
成人看護学実習ⅠⅡⅢ			各2	各90					90・90	90		
老年看護学実習ⅠⅡ			各2	各90					90	90		
母性看護学実習			2	90						90		
小児看護学実習			2	90						90		
精神看護学実習			2	90							90	
小 計			16	16	720	0	0	0	360	360		
統 合 分 野	在宅看護論	在宅看護論	4	4	90							
		在宅看護概論ⅠⅡ		各1	各15			15・15				
		在宅看護援助論ⅠⅡ		各1	各30				30			
		看護の統合と実践	4	5	105						15	
		臨床適応Ⅰ		1	15							30
		臨床適応Ⅱ		1	30							30
		臨床適応Ⅲ		1	30							15
		国際看護論		1	15							
		災害看護論		1	15				15			
	小 計			8	9	195			75	30	90	
在宅看護論 看護の統合と実践	臨床実習	4	4	180								
	在宅看護論実習		2	90						90		
	統合実習		2	90							90	
小 計			4	4	180	0	0	0	0	180		
合 計			97	99	3045	525	615	555	660	690		

新潟看護医療専門学校 東洋医療学科 教育課程 (2019年度)

分野	教育内容	授業科目	授業 形態	単位数			指定規則 単位数	1学年		2学年		3学年		時間数	
				必修	選択必修	選択		単位数	時間数	単位数	時間数	単位数	時間数		
基礎 分野	科学的思考の基盤	心理学(コミュニケーション心理学)	講義	2				2	30					30	
		情報処理	講義	2				2	30					30	
		日本語表現法	講義	2				2	30					30	
		生物学	講義	2				2	30					30	
		基礎薬理学	講義	2				2	30					30	
		小計		10	0	0		10	150	0	0	0	0	150	
人間と生活	英 語	講義	2				2	30					30		
	中国語Ⅰ	講義	2				2	30					30		
	小計		4	0	0	14	4	60	0	0	0	0	60		
基礎分野 小計			14	0	0	14	14	210	0	0	0	0	210		
専 門 基 礎 分 野	人体の構造と機能	解剖学ⅠA	講義	2				2	60					60	
		解剖学ⅠB	講義	2				2	60					60	
		解剖学ⅡA	講義	1						1	30			30	
		解剖学ⅡB	講義	1						1	15			15	
		生理学ⅠA	講義	2				2	60					60	
		生理学ⅠB	講義	2				2	60					60	
		生理学ⅡA	講義	1						1	30			30	
		生理学ⅡB	講義	1						1	15			15	
		基礎運動学	講義	1								1	30	30	
		スポーツ医学	講義	1								1	30	30	
		小計	14	0	0	12	8	240	4	90	2	60	390		
		疾病の成り立ちとその予防 および回復の促進	衛生学・公衆衛生学Ⅰ	講義	1						1	30			30
	病理学概論Ⅰ		講義	1						1	30			30	
	病理学概論Ⅱ		講義	1								1	15	15	
	臨床医学総論Ⅰ		講義	1				1	30					30	
	臨床医学総論ⅡA		講義	1						1	30			30	
	臨床医学総論ⅡB		講義	1						1	30			30	
	臨床医学各論Ⅰ		講義	1				1	30					30	
	臨床医学各論ⅡA		講義	1						1	30			30	
	臨床医学各論ⅡB		講義	1						1	30			30	
	リハビリテーション医学Ⅰ		講義	1						1	30			30	
	リハビリテーション医学Ⅱ		講義	1								1	15	15	
	漢方薬養学		講義	1								1	30	30	
	小計	12	0	0	12	2	60	7	210	3	60	330			
	保健医療福祉とはりきゅう の理念	医療概論	講義	1				1	15					15	
		関係法規	講義	1								1	15	15	
		職業倫理	講義・演習	1								1	15	15	
	小計	3	0	0	3	1	15	0	0	2	30	45			
	専門基礎分野 小計			29	0	0	27	11	315	11	300	7	150	765	
	専 門 分 野	基礎はり・きゅう学	はりきゅう理論Ⅰ	講義	1				1	15					15
東洋医学概論ⅠA			講義	1				1	30					30	
東洋医学概論ⅠB			講義	1				1	30					30	
経絡経穴概論ⅠA			講義・演習	2				2	60					60	
経絡経穴概論ⅠB			講義・演習	2				2	60					60	
はりきゅう理論ⅡA			講義	1								1	30	30	
はりきゅう理論ⅡB			講義	1								1	15	15	
小計			9	0	0	9	7	195	0	0	2	45	240		
臨床はり・きゅう学		東洋医学臨床論ⅠA	講義	1						1	30			30	
		東洋医学臨床論ⅠB	講義	1						1	30			30	
		東洋医学臨床論ⅡA	講義	1								1	30	30	
		東洋医学臨床論ⅡB	講義	1								1	30	30	
		東洋医学概論Ⅲ	講義	1								1	30	30	
		東洋医学概論ⅡA	講義	1						1	30			30	
		東洋医学概論ⅡB	講義	1						1	30			30	
		経絡経穴概論ⅡA	講義	1						1	30			30	
		経絡経穴概論ⅡB	講義	1						1	30			30	
		経絡経穴概論Ⅲ	講義	1								1	30	30	
		鍼灸適応学	講義・演習	1								1	30	30	
		病態生理学	講義	1								1	30	30	
		触診法	講義・演習	1				1	30					30	
		小計	13	0	0	13	1	30	6	180	6	180	390		
社会はりきゅう学		社会はりきゅう学	講義・演習	2								2	30	30	
小計		2	0	0	2	0	0	0	0	2	30	30			
実 習		基礎実習はり実技Ⅰ	実技	1				1	45					45	
		基礎実習はり実技Ⅱ	実技	1				1	45					45	
		基礎実習きゅう実技Ⅰ	実技	1				1	45					45	
		基礎実習きゅう実技Ⅱ	実技	1				1	45					45	
		応用実習はり実技ⅠA	実技	1						1	45			45	
		応用実習はり実技ⅠB	実技	1						1	45			45	
		応用実習はり実技ⅡA	実技	1						1	45			45	
		応用実習はり実技ⅡB	実技	1						1	45			45	
		応用実習きゅう実技Ⅰ	実技	1						1	45			45	
		応用実習きゅう実技Ⅱ	実技	1						1	45			45	
		臨床入門はり実技Ⅰ	実技	1								1	45	45	
		臨床入門はり実技Ⅱ	実技	1								1	45	45	
		臨床入門きゅう実技Ⅰ	実技	1								1	45	45	
		臨床入門きゅう実技Ⅱ	実技	1								1	45	45	
		総合実習(臨床実習前実技試験)	実技	1						1	30			30	
		小計	15	0	0	15	4	180	7	300	4	180	660		
臨床実習		臨床実習	臨床実習	2								2	90	90	
		高齢者鍼灸学(介護予防)	臨床実習	1						1	45			45	
		総合実習 (美容鍼灸・鍼灸不妊治療学 スポーツ・機能訓練鍼灸学 経絡治療・経筋治療)	臨床実習	1								1	15	45	
		小計	4	0	0	4						1	15	15	
		小計	10	0	0	10	3	45	2	30	5	135	210		
専門分野 小計			53	0	0	53	15	450	16	555	22	705	1,710		
選 択 分 野		選択科目	中国語Ⅱ	講義			1				1	30			30
			上海演習(解剖学見学)	演習			2				2	30			30
			介護予防運動指導実習	実習			1				1	45			45
			小計	0	0	4	0	0	4	105	0	0	0	105	
			必修科目合計	96			94	40	975	27	855	29	855	2,685	
		選択科目合計	4			0	0	0	4	105	0	0	105		
総 計			100			94	40	975	31	960	29	855	2,790		

科目担当講師と担当年度（看護学科）～外部講師のみ～

			入学年度																
科目名	講 師 名	回生	平成	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
			看護	2	3	4	5	6	看護医療	2	3	4	5	6	7	8	9		
基 礎 分 野	情報科学	田 中 環 野 口 誠 一																	
	経済学	藤 井 隆 至 道 上 真 有																	
	教育学	齋 藤 勉 阿 部 好 策 木 村 政 伸 渡 辺 志 織																	
	心理学	七 里 佳 代 松 本 妙 子 阿久津 洋 巳																	
	文学	夏 野 龍 苅 部 良 吉 藤 田 善 思																	
	社会哲学	栗 原 隆 藤 本 武																	
	法学	成 嶋 隆 小 泉 明 子																	
	人間関係学	松 本 妙 子 阿久津 洋 巳																	
	国際文化論	小 林 元 裕 村 上 吉 男																	
	健康とスポーツ	岡 野 崇 彦																	
野	英語Ⅰ	伊 藤 レイ子 渋谷 啓																	
	英語Ⅱ	佐 藤 静 子 渋谷 啓 大久保 雅 弘																	
	中国語	小 林 元 裕 小 池 郁 代																	
	解剖生理学Ⅰ～Ⅲ	布 施 栄 明 島 田 久八郎																	
	解剖生理学Ⅰ,Ⅲ	藁 科 彬																	
	解剖生理学Ⅱ,Ⅲ	飯 島 淳 彦																	
専 門 基 礎 分 野	解剖学Ⅰ～Ⅲ	千 葉 映 奈																	

			入学年度															
			平成 16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
科目名		講 師 名	回生	看護 1	2	3	4	5	6	看護医療 1	2	3	4	5	6	7	8	9
専 門	解剖学Ⅰ,Ⅱ	平 野 茂 樹																
	解剖学Ⅰ	佐 藤 昇																
	解剖学Ⅰ,Ⅱ	星 野 嘉恵子																
		西 野 幾 子																
	生理学Ⅰ,Ⅱ	藁 科 彬																
		飯 島 淳 彦																
	生化学	三ツ井 敏 明																
		金 古 堅太郎																
		三 上 正 人																
	病理学	斎 藤 奨																
基 礎		大 窪 泰 弘																
		大 野 淳 也																
		飯 岡 英 和																
	疾病学Ⅰ,Ⅱ,Ⅴ	大 澤 源 吾																
	疾病学Ⅲ	佐 藤 舜 也																
		岸 田 興 治																
		大 澤 源 吾																
	疾病学Ⅳ	後 藤 司 郎																
		工 藤 久 志																
		新 井 繁																
分 野		和 田 有 子																
		寺 島 隆 夫																
	病原微生物学	斎 藤 奨																
		平 田 恒 彦																
	臨床栄養学	中 山 紀 子																
		庭 野 弥栄子																
		牧 野 令 子																
	薬理学	岡 林 一 蔵																
		土 橋 洋 史																
		桑 島 治 博																
野	治療論	須 田 武 保																
		大 竹 雅 広																
		佐々木 正 貴																
		石 井 仁 平																
	リハビリテーション概論	高 橋 明 美																
	小 野 敏 子																	

			入学年度																
			平成 16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
科目名			講 師 名	回生	看護 1	2	3	4	5	6	看護医療 1	2	3	4	5	6	7	8	9
専 門 基 礎 分 野	リハビリテーション概論	松 林 義 人																	
		粟生田 博 子																	
	社会福祉学	植 木 信 一																	
	公衆衛生学	堀 井 欣 一																	
		加 藤 豊 広																	
		三 宅 久 枝																	
		石 原 美由紀																	
		山 中 麻 衣																	
	関係法規	榎 本 定 夫																	
		蛭 原 勝																	
三 宅 久 枝																			
医療概論	大 澤 源 吾																		
東洋医療	平 井 顯 徳																		
	宇津木 努																		
	生命倫理	長 岡 成 夫																	
専 門 分 野 Ⅰ・Ⅱ	基礎看護学概論Ⅱ	尾 崎 フサ子																	
	基礎看護学概論Ⅲ	水 谷 都																	
	老年看護援助論Ⅱ	佐 藤 舜 也																	
	母性看護援助論Ⅰ,Ⅱ	池 田 かよ子																	
		母性看護援助論Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ	工 藤 久 志																
		新 井 繁																	
	母性看護援助論Ⅰ	和 田 有 子																	
	小児看護援助論Ⅰ,Ⅱ	柳 本 利 夫																	
	精神看護学概論Ⅱ	甲 田 充																	
統 合 分 野	在宅看護概論Ⅰ,Ⅱ	三 宅 久 枝																	
		神 田 久美子																	
	国際看護論	山 中 麻 衣																	

(注)

- 平成21年度よりカリキュラムが改正され、それまでの専門分野は、専門ⅠとⅡに分かれ、更に統合分野が設けられた。
- 科目により担当者の太線が引かれていない場合は、次のいずれかである。
 - その年度にその科目が実施されていない場合
 - 専任教員が担当している場合
- 科目により、2人で担当している年度もある。
- 専門分野と統合分野では、上表以外に次の方々より何コマかの講義を担当していただきました。
 ここにお名前を記し感謝を申し上げます。
 桑野京子、加藤栄子、武田 惇、細野郁子、土橋つたえ、関根恵子、阿部晃子、吉田敦子、川島菜穂子、児玉直子、
 中川総子、花田夕起子、中川恵子、若杉トヨ子、野田菜穂子、斉藤いつ子、猪爪和枝、大場規夫、長谷川千種、
 富浦元公、山本鉄也、三膳景子、田中里子、細谷美穂 (以上24名 順不同)

科目担当講師と担当年度（東洋医療学科）～外部講師のみ～

			入学年度																
			平成 16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
科目名		講 師 名	看護 1	2	3	4	5	6	看護医療 1	2	3	4	5	6	7	8	9		
基礎分野	心理学	松 本 妙 子																	
	情報処理	田 中 環 放 送 大 学																	
	簿記	山 下 功																	
	生物学	海 藤 是 夫 杵 渕 謙二郎 小 林 巳癸彦																	
	中国古代史	岩 本 篤 志																	
	英語	渋谷 啓 放 送 大 学																	
	中国語 I	小 池 郁 代																	
	保健体育	岡 野 崇 彦																	
	統計学	上西園 武 良																	
	日本語表現法	放 送 大 学																	
	基礎薬理学	桑 島 治 博																	
	専門基礎分野	解剖学Ⅰ A	笹 川 一 郎																
解剖学Ⅰ B		石 山 巳喜夫																	
		熊 倉 雅 彦																	
		前 田 信 吾																	
解剖学Ⅱ A		桑 島 治 博																	
〃		吉 村 健 子																	
解剖学Ⅰ A・B,Ⅱ A・B		西 野 幾 子																	
生理学Ⅰ A・B		石 塚 健 一																	
生理学Ⅱ A		石 塚 健 一																	
		川 寄 圭 祐																	
基礎運動学		星 野 浩 通																	
基礎分野		スポーツ医学	渡 辺 好 博																
	佐 藤 舜 也																		
	衛生学・公衆衛生学	吉 田 眞 夢																	
		加 藤 豊 広																	
		三 宅 久 枝																	
		平 田 恒 彦																	
	細菌学	斎 藤 奨 彦																	
平 田 恒 彦																			
三 上 正 人																			
病理学概論Ⅰ,Ⅱ		斎 藤 奨 彦																	
基礎分野	病理学概論Ⅰ	阿 部 達 也																	
	病理学概論Ⅱ	許 波																	

			入学年度														平成											
			16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	看護	医療									
科目名			講 師 名		回生	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7	8	9								
専門基礎分野	リハビリテーション医学Ⅰ,Ⅱ	高 橋 洋															(Ⅱ)											
	関係法規	吉 田 眞 夢																										
専門分野	東洋医学概論Ⅱ,ⅡB	榎 本 定 夫										(Ⅱ)	(Ⅱ)															
	東洋医学概論ⅡA	榎 本 定 夫																										
	経絡経穴概論ⅠA・B	阿 部 正 之																										
		新 村 孝 雄																										
	臨床入門はり実技Ⅰ	榎 本 定 夫																										
	臨床入門きゅう実技Ⅰ,Ⅱ	田 村 宏 樹																										
	基礎実習きゅう実技Ⅰ,Ⅱ	田 村 宏 樹																										
		新 村 孝 雄																										
	応用実習はり実技Ⅰ	阿 部 正 之																										
	応用実習はり実技ⅠA,ⅡB	阿 部 正 之																										
	応用実習はり実技ⅡB	阿 部 正 之																										
	応用実習きゅう実技Ⅱ	田 村 宏 樹																										
	鍼灸院経営学	榎 本 定 夫																										
		内 田 智 康																										
接遇・マナー	吉 田 眞 夢																											
古典	吉 田 眞 夢																											
実践分野	美容鍼灸・鍼灸治療*1	西 條 信 義																										
	スポーツ・機能 訓練鍼灸学*1	高 橋 洋																										
		松 林 義 人																										
		佐 藤 裕 子																										
		相 模 幸																										
	経絡治療・経筋治療*1	斉 藤 義 昭																										
	実践はりきゅう学	加 藤 豊 広																										
		内 田 智 康																										
		遠 藤 幸 男																										
		佐 藤 千恵美																										
		中 澤 義 則																										
		近 千 明																										
		平 井 アスカ																										
	中国語Ⅱ	小 池 郁 代																										
介護予防運動指導実習	大 東 俊 彦																											
	立 岩 俊 哉																											

*1 H27よりカリキュラムの変更により実践はりきゅう学から科目が細分化され、科目名が変更となった。

学生の入学状況（開校後の15年間）

年 度	回 生	看 護 学 科			東 洋 医 療 学 科		
		志願者数	受験者数	入学者数	志願者数	受験者数	入学者数
平成 16	1	99	92	44			
17	2	139	133	44			
18	3	96	91	44			
19	4	63	59	43			
20	5	56	55	42			
21	6	101	93	42			
22	校名変更 1	221	205	44	6	6	6
23	2	228	194	44	7	7	6
24	3	321	285	44	31	31	16
25	4	212	196	44	4	4	3
26	5	184	175	44	13	12	10
27	6	133	129	43	8	8	7
28	7	89	80	44	5	5	3
29	8	81	79	43	5	5	4
30	9	68	64	42	6	6	5

（注） ・ 平成16～19年度までは、一次試験（筆記）と二次試験（面接）の2日間実施。

・ 平成22年度より東洋医療学科増設。

（参考） ・ 平成19年度に看護リハビリ新潟保健医療（旧新潟保健医療）専門学校、平成20年度に上越看護専門学校、平成27年度に新潟看護医療専門学校村上校、平成29年度に新潟医療技術専門学校が開校。

新潟看護医療専門学校 看護学科

●新潟県内

木戸病院
桑名病院
新潟臨港病院
新潟南病院
佐潟荘
下越病院
源川産婦人科クリニック
西新潟中央病院
新潟大学医歯学総合病院
燕労災病院
亀田第一病院
城北クリニック
信楽園病院
済生会三条病院
新潟市民病院
新潟脳外科病院
新潟中央病院
済生会新潟第二病院
新潟信愛病院
白根大通病院
新潟白根総合病院
新潟西蒲中央病院
白根緑ヶ丘病院
新潟西蒲メディカルセンター病院
富永草野病院
新潟医療センター
立川総合病院
新潟労災病院
新潟病院
河渡病院
新潟県立吉田病院
県立十日町病院
県立中央病院
県立六日町病院
県立小出病院
県立坂町病院
長岡赤十字病院
村上総合病院
豊栄病院
刈羽郡総合病院
三条総合病院
長岡中央総合病院
岩室リハビリテーション病院
南浜病院
佐渡総合病院
魚沼基幹病院
中条中央病院

●栃木県

大田原赤十字病院

●長野県

長野市民病院

●福島県

総合南東北病院
大原総合病院

●東京都

三井記念病院
江東病院
東京都済生会中央病院
日本歯科大学附属病院
せんぼ東京高輪病院
九段坂病院
池上総合病院

●千葉県

亀田総合病院

●埼玉県

戸田中央病院

●宮城県

宮城県立こども病院

●山形県

鶴岡市立庄内病院
鶴岡協立病院
公立置賜総合病院

(進学)

新潟大学
新潟医療福祉大学
名古屋医専
新潟青陵大学
公立大学法人埼玉県立大学

新潟看護医療専門学校

東洋医療学科(主な就職先・開業含む)

●新潟県

植木鍼灸治療院
温穂堂
たかやま接骨院
かえで接骨院
佐野接骨院
ちひろ鍼灸接骨院
新潟県鍼灸マッサージ師会付属鍼灸マッ
サージ施術所
はり灸院いわた
もあい接骨院
Well-beヘルスプロモーションラボ
ラーカ鍼灸室
シンボ鍼灸接骨院
長谷川鍼灸院
星野はり灸整骨院
田村はり灸治療院
鍼灸院オフィス陽昇
回生鍼灸院
清明堂
東洋はり治療センター
西山鍼灸院
リンパドレナージドレナージひまわり
ほねつぎ
寺尾杏林堂

けん整骨院

心友接骨院
かるべ鍼灸接骨院
あずき治療院
あいびず整骨院・はりきゅう院
新潟名倉堂鍼灸接骨院
㈱エニーケア
中野接骨院
はり灸治療院張士堂
新潟ハリ治療院
こたけ整骨院
はりきゅう院ことり
えびす鍼灸院
二葉鍼灸療院
小池鍼灸院
澤龍堂

●北海道

松本鍼灸院

●秋田県

松岡治療院

●山形県

あきなはりきゅう治療院

●富山県

中野接骨院

●長野県

温心堂

●埼玉県

上尾本町整骨院
ハイルしんきどう治療院

●千葉県

クラシオン

●神奈川県

AMS BODY

●山梨県

浅川鍼灸接骨院

●東京都

東京天使病院
ゆらうみ鍼灸接骨院
KOKUA(株)リーフ
五健整骨院
千里堂治療院

●福井県

ハッピー治療院

国家試験合格者数

看護学科

合格率は少数第2位を四捨五入

実施回（実施年）	新 卒 者			既 卒 者		
	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率(%)	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率(%)
第96回（H19年）	40	38	95.0			
第97回（H20年）	42	37	88.1	2	2	100.0
第98回（H21年）	42	37	88.1	5	4	80.0
第99回（H22年）	34	31	91.2	6	4	67.0
第100回（H23年）	38	34	89.5	5	4	80.0
第101回（H24年）	41	40	97.6	5	3	60.0
第102回（H25年）	38	34	89.5	2	0	0
第103回（H26年）	41	39	95.1	5	3	60.0
第104回（H27年）	44	43	97.7	5	2	40.0
第105回（H28年）	40	39	97.5	4	2	50.0
第106回（H29年）	38	37	97.4	3	1	33.0
第107回（H30年）	37	35	94.6	2	2	100.0
第108回（H31年）	37	33	89.2	2	1	50.0

東洋医療学科

実施回（実施年）	新 卒 者						既 卒 者					
	受験者数(人)		合格者数(人)		合格率(%)		受験者数(人)		合格者数(人)		合格率(%)	
	はり師	きゅう師	はり師	きゅう師	はり師	きゅう師	はり師	きゅう師	はり師	きゅう師	はり師	きゅう師
第19回（H23年）	10	10	10	10	100.0	100.0	5	5	0	1	0	20.0
第20回（H24年）	3	3	3	3	100.0	100.0	2	0	0	0	0	0
第21回（H25年）	2	2	2	2	100.0	100.0	3	0	0	0	0	0
第22回（H26年）	7	7	6	7	85.7	100.0	0	0	0	0	0	0
第23回（H27年）	7	7	7	7	100.0	100.0	0	0	0	0	0	0
第24回（H28年）	5	5	5	5	100.0	100.0	0	0	0	0	0	0
第25回（H29年）	8	8	6	7	75.0	87.5	0	0	0	0	0	0
第26回（H30年）	7	7	4	5	57.1	71.4	1	0	0	0	0	0
第27回（H31年）	1	1	1	1	100.0	100.0	1	0	1	0	100.0	0

平成18年度	校旗	一流
平成19年度	演台	一台
平成20年度	花台	一台
平成21年度	司会台	一台
平成22年度	花台	一台
平成23年度	校旗	一流
平成24年度	受付用テーブル	一台
	白布	一枚
平成25年度	モバイルスクリーン	一台
平成26年度	演台	一台
平成27年度	式典幕	一枚
平成28年度	式典幕	一枚
平成29年度	受付用テーブル	一台
平成30年度	ナイチンゲール像台座	一台

春になったら

作詞：yamy・新潟看護医療専門学校 看護学科2018年度2年生

作曲：yamy

田んぼを通る いつもの景色
眠い目こすって 今日も走る
雪かきした朝 オレンジのホーム
遠くの山も 思い出になる

厳しい実習 限られた時間
また頑張ろうと 励ましあった

春になったら 新しい景色
未来に向けて 走りだそうよ
どんなことにも 負けないでいて
前を向いて 歩き出そうよ

春になったら 新しい景色
未来に向けて 走りだそうよ
どんなことにも 負けないでいて
前を向いて 歩き出そうよ

～由来～

この歌は本校が15周年を迎えるにあたり、シンガーソングライターのyamy様より本校のために、
2018年度看護学科2年生と協力し、作詞・作曲していただきました。

歌詞には、“卒業しそれぞれ別の道を歩むことになったとしても、共に過ごした仲間たち、そして本校のことを忘れないでいてほしい”という在校生の願いがこめられております。

阿部印刷株式会社
株式会社ウィザップ
鹿島建設株式会社 北陸支店
株式会社カナケン 新潟営業所
株式会社 考古堂書店
小林事務機株式会社
島津印刷株式会社
株式会社 新交企画
株式会社 ジャパンビバレッジイースト 新潟支店
有限会社 セーフティステーション
有限会社 ダムプランニング
新潟総合警備保障株式会社
株式会社 白新商会 アスクル事業部
合資会社 ほんぼ
株式会社 堀口繊維工業
源川医科器械株式会社
株式会社 水倉組 下越支店
村上印刷株式会社
株式会社 タウンホテル村上
株式会社 ホテル汐美荘
藤田写真館
他に 本校同窓会つばさ会

新潟看護医療専門学校同窓会つばさ会会則

第1章 総 則

(名 称)

第1条 本会は、新潟看護医療専門学校同窓会つばさ会（以下、「本会」という。）と称する。

(事務局)

第2条 本会の事務局を新潟市西区みずき野1-105-1、新潟看護医療専門学校内に置く。

(目 的)

第3条 本会は、会員相互の連絡、親睦及び啓発を図り、新潟看護医療専門学校（以下、「本校」という。）の発展充実に寄与することを目的とする。

(事 業)

第4条 本会は前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 会員の親睦交流に関する事業
- (2) 会員名簿及び機関紙の発行に関する事業
- (3) 本校の発展及び教育催事への協力援助に関する事業
- (4) その他必要な事業

第2章 会 員

(会 員)

第5条 本会は、次に掲げる会員をもって組織する。

- (1) 正会員 本校を卒業した者
 - (2) 準会員 本校に在学する者
- なお、準会員は卒業と同時に正会員となる。
- (3) 特別会員 本校の現職員及び旧教職員で本会の趣旨に賛同した者

(会 費)

第6条 正会員は会費を納入しなければならない。

- 2 正会員の会費は5,000円（入会金3,000円、終身会費2,000円）とする。
- 3 準会員の会費納入は不要とする。
- 4 特別会員の会費は年会費2,000円または終身会費5,000円とし、納入は任意とする。
- 5 一旦納入された会費の返還は行わない。

(住所変更の届出)

第7条 会員は氏名、住所、職業等を変更した時は速やかにその旨を事務局へ届け出るものとする。

(会員資格の喪失)

第8条 会員は次の理由によって会員資格を喪失する。

- (1) 退会したとき
- (2) 死亡したとき
- (3) 除名されたとき

(退 会)

第9条 会員は会長の承諾を得て退会することができる。

(除 名)

第10条 本会の名誉を著しく傷つけた者、又は本会の目的に反する行為が生じた場合は、除名されることがある。

第3章 組 織

(役 員)

第11条 本会に次の役員及び監事を置く。

- (1) 会長 1 名
 - (2) 副会長 2 名以内
 - (3) 会計 2 名
 - (4) 監事 2 名
 - (5) 学年幹事 各卒業年度 4 名以内
 - (6) 代表幹事 学年幹事より若干名の代表幹事を置く
 - (7) 事務局員 3 名
- 2 本会は必要に応じて本校教職員顧問を置くことができる。

(選 出)

第12条 会長、副会長、会計は、役員会の互選によるものとし、総会の承諾を得て決定する。

- 2 監事は正会員の中から会長が指名する。
- 3 学年幹事は卒業年度ごとに看護学科より 2 名、東洋医療学科より 2 名または 1 名を互選により選出する。
- 4 代表幹事は、学年幹事の中から 4 役（会長、副会長、会計、監事）の推薦により若干名を選出し、会長が委嘱する。
- 5 事務局員は、本校教職員より選出し、会長が委嘱する。
- 6 本校教職員顧問は会長が委嘱する。

(任 務)

第13条 会長は本会を代表し会務を処理する。

- 2 副会長は会長を補佐し、会長に事故等ある時は、その職務を代行する。
- 3 会計は、本会の会計を処理する。
- 4 監事は、本会の会務及び会計を監査するものとし、他の役員を兼ねることができない。
- 5 学年幹事、代表幹事は本会の会務を処理する。
- 6 事務局員は、会長と連携し実務を担当する。
- 7 顧問は、会長の諮問に応じ、助言を行うことができる。

(任 期)

第14条 役員の任期は 3 年とする。ただし、再任を妨げない。

- 2 役員に欠員が生じた場合の後任役員等の任期は、前任者の残任期間とする。

第4章 機 関

(機 関)

第15条 本会に次の機関を置く。

- (1) 総会
- (2) 役員会
- (3) 事務局

(総 会)

第16条 総会は、会長が招集し、議長となる。

- 2 総会は、3 年に 1 回開催することとし、会長が招集する。但し、必要に応じて、臨時総会を開催することができる。
- 3 総会では、事業及び収支計算について報告し承認を得る。また、事業計画や予算、役員改選、会則の制定・改廃について審議する。
- 4 総会での議事は、委任状を含め、出席者の過半数をもって決する。

(役員会)

第17条 役員会は、会長、副会長、会計、監事、代表幹事及び事務局員をもって構成し、本会の事業の実施にあたる。

- 2 役員会は、委任状を含め構成員の 3 分の 2 以上の出席をもって成立とする。
- 3 役員会の議事は、出席者の過半数をもって決する。

- 4 役員会は、原則として年1回以上開催するものとする。但し、必要に応じて随時開催することができる。
- 5 役員会は、次に掲げる事項を審議する。
 - (1) 会則の制定改廃に関する事
 - (2) 役員及び監事の選出に関する事
 - (3) 事業の計画及び実施に関する事
 - (4) 予算及び決算に関する事
 - (5) 委員会及び支部の設置に関する事
 - (6) その他会長が必要と認めた事項

(事務局員)

第18条 事務局には本校教職員より学科毎に各1名、事務職員1名計3名の事務局員を置き、会長と連携して本会活動の実務を担当する。

第5章 会 計

(会 計)

第19条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年の3月31日に終わる。

第20条 本会の経費は、入会金、会費、寄付金及びその他の収入をもってこれに充てる。

第21条 本会の収支決算及び財産は、会計監査を経て総会に報告し、その承認を得る。

第6章 雑 則

(細則及び規程)

第22条 この会則に定めるもののほか、役員会の承認を得て別に細則及び規程を設けることができる。

(会則の改廃)

第23条 この会則は、役員会の審議を経て、改廃することができる。

附 則

この会則は、平成19年4月1日より施行する。

附 則

この会則は、平成23年4月1日より施行する。

附 則

この会則は、令和元年8月1日より施行する。

編集後記

念願だった創立15周年記念誌をようやく皆様のもとにお届けすることができました。無事に記念誌の発行ができたことは、皆様からのご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

本校の歩んできた歴史を残したいという教職員の強い思いが形になり、喜びもひとしおです。本来ならば記念誌発行という一大事業は、数年間の構想を得て着手することがほとんどだと思います。

本校においては、思い立ったが吉日で、一年前の平成30年6月の職員会議で記念誌発行が承認されてから、年度内で発行するというスケジュールで作業に取りかかりました。計画から発行まで6か月という短期間のスケジュールは無謀とも思われましたが、そこは有言実行の精神で、本校教職員の誇るべきチームワークや実行力の高さが遺憾なく発揮されました。この記念誌を一つの区切りとして、15年間積み上げてきた歴史を未来につなげてもらえたら幸いです。

最後に、記念誌作成にあたり、綿密な構成力とスケジュール管理をしてくださった浦壁学校長補佐はじめご尽力いただいた編集委員に心から感謝申し上げます。

鈴木 光江

創立15周年記念誌発行、おめでとうございます。また、本誌発行に際し、数多くの皆様からご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

皆様からご寄稿いただいた文章を拝読させていただき、これほど多くの皆様に支えられ本校の今があるという事実にとただただ驚嘆するばかりです。「人に歴史あり」とは言いますが、「人に限らず、全ての物事が同様である」ということを痛感いたしました。

私にとって記憶や歴史は書類のようなもので、生きた分だけ蓄積していくため、必要なものは大切に保管し、不要となったものは適宜破棄していく、そのような印象があります。しかし、残念なことに整理整頓が苦手な私は、年々散らかっていく記憶の引き出しから対象を探し出すことが困難になり、「あれだよ、あれ！なんだっけなあ？」などと口にすることが増えてきました。15年間積み上げてきた歴史そして大切な記憶の数々を、忘却の彼方へ追いやってしまうことのないよう、この記念誌が、手に取った方々の記憶を探し出すための道標、そして宝の地図となることを願っております。

玉川 史記

本学園の広報誌、“ゆめ”に代わるかたちで記念誌の発行が決まり、6名ほどで記念誌作成委員会がスタートしました。丁度、手元に他校の記念誌があり、それを参考にさせていただき、目で見ても15年の移り変わりがわかるように「写真で見る15年の歩み」をメインに編集することになりました。

しかし、実習が始まると先生方は学校におられる日が少なく、適当な写真集め等に変な苦労されました。それで、予定の発行が大幅に遅れ、玉稿をお寄せいただいた方々には大変申し訳なく思っておりますが、何とか当初の計画通り編集が終了しホッとしております。

ともかく今回の編集を担当し、如何に資料の整理・保管が大切かを痛感しました。特に苦労したのは歴代学校職員と科目担当講師でした。載せるからにはなるべく正確なものと考え、本校事務局や法人本部事務局のご協力を得て何とかまとめましたが、不正確な点はお許しください。この15周年記念誌が、今後の令和時代の本校教育活動に少しでも役立てば幸いです。

最後に、お忙しいなかご寄稿いただいた皆様方、資金面で格別のご協力をいただきました協賛企業様や本校同窓会「つばさ会」そして、原稿の遅れなど何かとご迷惑をおかけした阿部印刷さんに衷心より厚くお礼と感謝を申し上げます。

浦壁 英紀

(編集委員) 鈴木 光江(代表)、浦壁 英紀、相場 奈美、鈴木 由美
原田 慎司、宮下 好直、玉川 史記

創立15周年記念誌

発 行 平成31年 3 月31日

発 行 者 的場 已知子

発 行 所 新潟看護医療専門学校

〒950-2264 新潟県新潟市西区みずき野1-105-1

TEL 025-264-3355

FAX 025-264-3356

印 刷 所 阿部印刷株式会社

〒959-1704 新潟県五泉市村松甲2096番地

TEL 0250-58-5115

FAX 0250-58-5750

